



HIC-SF1200A

取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1.3 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、当社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第 1 版	2024 年 8 月 1 日	新規作成
第 1.1 版	2024 年 9 月 26 日	ご使用上の注意事項 見直し
第 1.2 版	2024 年 10 月 21 日	ユーザ名とパスワード設定 注意事項追記
第 1.3 版	2025 年 7 月 15 日	基本情報の見直し

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、一般事務用、通常の産業等の一般的用途を想定した製品であり、ハイセイフティ用途^{*}での設備や機器としての使用またはこれらに組込んだ使用は意図されておりません。これらの設備や機器、システムなどに本製品を使用され、本製品の故障等により、人身事故、火災事故、社会的な損害が生じても当社はいかなる責任も負いかねます。お客様が、本製品をハイセイフティ用途に使用される場合は、必要な安全性を確保する措置を施す等十分な配慮をお願いします。

^{*}：極めて高度な信頼性や安全性が要求され、機器の故障、誤動作により、信頼性や安全性が確保されない場合、生命、身体や財産等に損害を及ぼす恐れがある用途
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粹経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を掃除する時は、柔らかい乾いた布で汚れをふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をご使用ください。
- 太陽光などの非常に明るい被写体にカメラを向けるのは避けてください。イメージセンサが損傷する可能性があります。
- 本製品を使用する場合、Microsoft、Apple、Googleの関連コンテンツが含まれます。本ユーザーマニュアルの写真とスクリーンショットは、当社製品の使用方法を説明するためだけに使用しています。Microsoft、Apple、Googleに関連する商標、ロゴおよびその他知的財産の所有権は、上記の企業に帰属するものとします。

免責事項

- インターネットにアクセスできる製品に関しては、製品の使用は完全にお客様自身の責任で行われるものとします。当社は、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス検査、その他のインターネットセキュリティリスクにより生じた異常動作、プライバシー漏えいその他の損害について、一切責任を負わないものとしますが、必要に応じてタイムリーな技術サポートを提供します。
- 監視法は国によって異なります。監視目的で本製品を使用する前に、お住まいの地域のすべての法律を確認してください。私たちは、違法な操作によって生じるいかなる結果についても責任を負いません。

サイバーセキュリティに関する推奨事項

- 強力なパスワードを使用します。パスワードには、少なくとも 8 文字、または文字、数字、大文字と小文字の組み合わせを使用する必要があります。
- デバイスのパスワードを定期的に変更して、承認されたユーザのみが system にアクセスできるようにします（推奨時間は 90 日です）。
- サービスのデフォルトポート(HTTP-80、HTTPS-443など)を変更して、部外者がアクセスできるリスクを軽減することをお勧めします。
- ルータのファイアウォールを設定することをお勧めします。しかし、いくつかの重要ポート(HTTPポート、HTTPSポート、データポートなど)は閉じることができません。
- デバイスを直接公衆ネットワークに接続することはお勧めしません。公衆ネットワークに接続する必要がある場合は、ルータを介しそれに対応するファイアウォールポリシーを設定してください。
- SNMP の v1 および v2 機能を使用することは推奨されません。
- WEBクライアントアクセスのセキュリティを強化するために、HTTPSを有効にするTLS証明書を作成してください。
- ブラックリストとホワイトリストを使用してIPアドレスをフィルタリングします。これにより、指定された IP アドレスを除くすべての人がシステムにアクセスできなくなります。
- 複数のユーザを追加する場合は、ゲストアカウントの機能を制限してください。
- UPnP を有効にすると、ルータまたはモデムのポートの転送が自動的に試行されます。ユーザにとっては便利な機能ですが、システムが自動的にポートを転送するためデータ漏洩のリスクが高まります。UPnP機能を必要としない場合は、無効に設定することをお勧めします。
- ログを確認してください。権限のないユーザによってデバイスがアクセスされたかどうかを知りたい場合は、ログで確認できます。システムログには、システムのログインに使用された IP アドレスとアクセスされた IP アドレスが表示されます。

規制情報

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A



RoHS

製品は、電気および電子機器における特定の有害物質の使用の制限に関する指令 EU RoHS 指令 2011/65/EU および修正指令 EU 2015/863 に従って設計され、製造されています。

2012/19/EU(WEEE 指令): 廃電・電子機器に関する指令(WEEE 指令)。WEEE の環境管理を改善するためには、寿命の末に電子機器の回収、処理、リサイクルの改善が不可欠です。したがって、この記号でマークされた製品は、責任ある方法で廃棄する必要があります。

指令 94/62/EC: この指令は、包装および包装廃棄物および環境保護の管理を目的としています。本書に記載されている製品の包装・包装廃棄物は、適切なリサイクルと環境保護のために、指定された収集ポイントで廃棄する必要があります。

REACH(EC1907/2006): REACH は化学物質の固有特性をより適切かつ早期に同定することで、人の健康と環境の高いレベルの保護を確保することを目的とした化学物質の登録、評価、認可、制限に関するものです。本書の製品は、REACH の規則および規則に準拠しています。REACH の詳細については、**DG GROWTH** または **ECHA** のウェブサイトをご覧ください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後はいつでも見られる所に保管してください。

尚、本書のメニュー画面は Edge でアクセスした HIC-SF1200A の画面を採用しファームウェアバージョンは、5.2.0（56761）で作成しています。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

お買い上げになった機器に当てはまらない注意事項もありますが、ご了承ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

使用上の注意



警告



●本機に乗らない！

倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。



●本機の上に重いものを置かない！

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。



●移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



●長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く！

火災の原因となることがあります。



●専用 AC アダプタ以外は使用しない！

定格外の AC アダプタを使用すると、火災・感電の原因になることがあります。

●電源コードを傷つけない！ 加工しない！ 無理に曲げない！ ねじらない！
引っ張らない！ 加熱しない！

コードが破損して火災・感電の原因となります。



●雷が鳴り出したら、同軸コネクタ/ケーブルや電源プラグに触れない！

感電の原因になります。



●指定された消費電力（W）を越える装置は接続しない！

火災の原因となります。本機の AC アウトレットが供給できる電力（W）は AC アウトレット付近または取扱説明書に表示してあります。



●レンズで太陽・照明などをのぞかない！

強い光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



● **本機のケース・裏パネル等はずさない!**

内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または営業マンにご依頼ください。



● **本機の上に水などの入った容器を置かない!**

こぼれて中に入ると、火災・感電の原因になります。



● **風呂、シャワー室などの水場では使用しない!**

火災・感電の原因となります。



● **本機の上に小さな金属物を置かない!**

中に入ると、火災・感電の原因となります。



● **表示された電源電圧以外は使用しない!**

火災・感電の原因となります。



● **本機に水を入れたり、濡らしたりしない!**

火災・感電の原因になります。
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。



● **本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない! 落とし込まない!**

火災・感電の原因となります。



● **本機を改造しない!**

火災・感電の原因となります。

設置について



警告



● **不安定な場所に置かない!**

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



● **電源コードの上に重いものを置かない! 本機の下敷きにしない!**

コードが傷ついて、火災・感電の原因になります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



- **水場に設置しない！**
火災・感電の原因となります。



- **指定された機器以外とは接続しない！**
火災・感電の原因となります。



- **本機の固定は工事専門業者に依頼を！**
本機を固定する場合は、指定された方法できちんと固定しないと、落ちたり、倒れたりして、火災・感電・けがの原因になります。特に、壁や天井に固定する場合は、必ず工事専門業者にご依頼ください。なお、取付け費用については、販売店または営業マンにご相談ください。



- **湿気やほこりの多い場所に置かない！**
火災・感電の原因となることがあります。



- **調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たる場所に置かない！**
火災・感電の原因となることがあります。



- **本機の通風孔をふさがない！**
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。風通しの悪い狭い所に押し込む。
 - ・じゅうたんや布団の上に置く。テーブルやクロスなどを掛ける。



- **電源コードを熱器具に近づけない！**
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！**
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない！**
感電の原因となることがあります。

異常時の処理について



警告



- 煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙が出なくなるのを確認して、販売店または営業マンに修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



- 本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンにご連絡ください。



- 本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンにご連絡ください。



- 本機が故障した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンに修理をご依頼ください。



- 本機を落としたり、ケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンにご連絡ください。



- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）場合は、交換を依頼する！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンに交換をご依頼ください。

お手入れについて



注意



●お手入れの際は安全のため、スイッチを切り電源プラグを抜く！

感電の原因となることがあります。



●一年に一度くらいは、販売店または営業マンに内部の掃除の相談を！

本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災・故障の原因になることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

なお、掃除費用については販売店または営業マンにご相談ください。



注意

本パッケージに含まれる内容に損傷、不足、不適當なものがあつた場合、お住まいの地域の販売店までご連絡ください。本製品の不正改造を行うと保証の対象外となります。

その他



通知

- 本書に記載された情報は予告なしに変更される場合があります。
- 本書に含まれる情報は、あくまで参考用とみなされます。



通知

- インターネットを経由する機能については、お客様のインターネット環境に合わせた設定が必要です。
- お客様のインターネット環境の変更が必要となる場合もあります。

目次

1. はじめに	15
1.1 製品概要	15
1.2 特徴	15
1.3 監視アプリケーション	16
1.4 梱包物一覧	16
1.5 製品外観	17
1.6 カメラの設置例	18
2. ネットワーク接続	19
2.1 LAN	19
2.1.1 IP-Tool によるアクセス	19
2.1.2 ブラウザから直接アクセス	24
2.2 WAN	25
3. ライブ画面	27
4. 設定ホーム	33
4.1 システム設定	34
4.1.1 基本情報	35
4.1.2 日付と時間	36
4.1.3 ローカル設定	38
4.1.4 ストレージ	39
4.1.5 Fisheye パラメータ（魚眼パラメータ）	47
4.2 画像設定	48
4.2.1 画質調整	49
4.2.2 映像/音声	53
4.2.3 OSD	56
4.2.4 プライバシーマスク	57
4.2.5 ROI 設定	58
4.3 アラーム設定	59
4.3.1 モーション検出	60
4.3.2 異常	67
4.3.3 アラーム入力	71

4.3.4	アラーム接点出力	72
4.3.5	アラームサーバ	76
4.4	イベント設定	77
4.4.1	ターゲットカウント（ライン通過カウント）	78
4.4.2	ラインクロス（ライン越え検知）	82
4.4.3	領域に入る（エリア侵入検知）	86
4.4.4	領域を出る（エリア退出検知）	90
4.4.5	エリア侵入検知（エリア内活動検知）	94
4.4.6	集密度（群衆密度）	98
4.4.7	ヒートマップ	101
4.5	ネットワーク	104
4.5.1	TCP/IP	105
4.5.2	ポート	108
4.5.3	サーバ	109
4.5.4	ONVIF	111
4.5.5	DDNS	112
4.5.6	SNMP（未サポート）	115
4.5.7	802.1X	118
4.5.8	RTSP	119
4.5.9	RTMP	121
4.5.10	UPnP	124
4.5.11	Email	125
4.5.12	FTP	127
4.5.13	HTTP POST	129
4.5.14	HTTPS	130
4.5.15	P2P	133
4.5.16	QoS	134
4.6	セキュリティ設定	135
4.6.1	ユーザ	135
4.6.2	オンラインユーザ	139
4.6.3	ブロックと許可リスト	140
4.6.4	セキュリティ管理	141
4.7	メンテナンス	144
4.7.1	バックアップと復元	145
4.7.2	再起動	147
4.7.3	アップグレード	148

4.7.4	操作ログ	150
4.7.5	デバッグモード（工場メンテナンス用）	151
5.	チャート	152
6.1	ターゲットカウント（ライン通過カウント）	152
6.2	ヒートマップ	154
6.	検索	155
6.1	録画検索	156
6.1.1	SD カード録画（動画）	156
6.2	画像検索	158
6.2.1	SD カード画像（静止画）	158
7.	製品仕様	159
8.	困ったときには	165
◆	パスワードを忘れたときの対処方法	165
●	リセットボタンを操作して初期化する。	165
●	IP Tool で初期化する。	166
◆	本機から YouTube Live 配信設定手順	167
◆	本体の電源が入らない	172
◆	RJ-45 ポートでリンクが確立しない	172
◆	IE ブラウザ経由でデバイスを接続できない	172
◆	IP-Tool でデバイスを見つけられない	173
◆	プラグインをインストールしたが Edge の IE 互換モードで映像を表示できない。	173
◆	プラグインをアンインストールしたい	173
◆	IE が ActiveX コントロールをダウンロードできない	174
◆	音が聞こえない	174
9.	製品保証	175

1. はじめに

1.1 製品概要

本モデルは、1/1.7"12 メガピクセル CMOS センサーを使用し、最大 9 メガピクセルの 360 度魚眼モード撮影と 12 メガピクセルのパノラマ撮影が可能な全方位ネットワークカメラです。360 度の魚眼画像と 180 度パノラマ画像、90°画像を同時に出力することができ、1 台であらゆる視点からの監視に対応しています。

ディープラーニング推論エンジンによる「人間」「車両」「オートバイ/自転車」の認識機能を搭載し、人物や車両の不正な侵入をリアルタイムで検知し迅速に通知します。進化したアルゴリズムにより、誤検知を最小限に抑え、高い信頼性を実現しています。※「車両」「オートバイ/自転車」の検出は壁面モードのみ

オートホワイトバランス機能、逆光補正、自動絞り機能、自動電子シャッター機能など、豊富な機能を装備し、屋外にも設置可能なネットワークカメラです。

H.264/H.265 の画像圧縮方式に対応しており、高画質および高データ圧縮率を実現しています。

PoE 機能も搭載しており、PoE ポート内蔵の NVR と組み合わせることで、プラグ & プレイの接続が可能です。

1.2 特徴

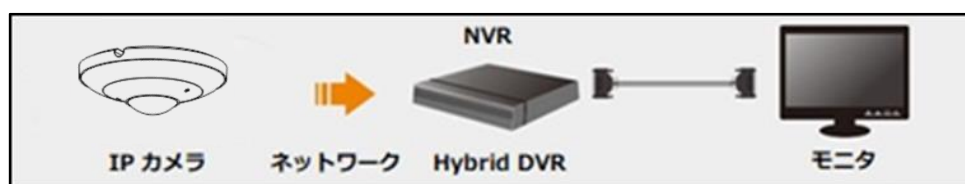
- 1/1.7" 12 メガピクセル CMOS センサーを搭載し、高解像度・高画質を実現
- PoE 給電対応
- 赤外線 LED を装備し、夜間の照明のない環境でも撮影可能
- H.264/H.265/MJPEG 対応（H.264 よりも更に圧縮率を高めた H.265/H.265+ にも対応）
- 360 度魚眼、180 度パノラマ、120 度/90 度（デジタル PTZ 対応）の異なる画角の映像を 9 系統のストリーミングで同時配信可能
- WDR 機能、BLC 機能により、逆光等の明暗差が大きな被写体でも、最適な画質に調整
- ディープラーニング推論エンジンによる「人間」「車両」の検出
- 多彩なスマート検知機能やカウント機能に対応
- Youtube Live に配信可能な、RTMP プロトコルに対応
- ブラウザ接続は、Microsoft Edge、Google Chrome、Fire Fox などに対応
- MicroSD カードへの録画対応（動画及び静止画）、録画スケジュール可能
（※Edge/Chrome/FireFox では SD カード録画のダウンロードはできません。）
- モーション検知、妨害検知、プライバシーマスク、メール送信、DDNS 等豊富な機能を装備
- 多彩な外部 I/F を装備（アラーム入出力、音声入出力（本体にマイクロフォン内蔵））
- 専用 NVR や VMS での、多彩な映像表示パターンとデジタル PTZ 制御に対応
- IP67 規格対応の防塵・防水構造

1.3 監視アプリケーション

カメラとコンピュータを LAN で接続



カメラと NVR を録画装置で接続



カメラと CMS（監視ソフトウェア）を接続



1.4 梱包物一覧

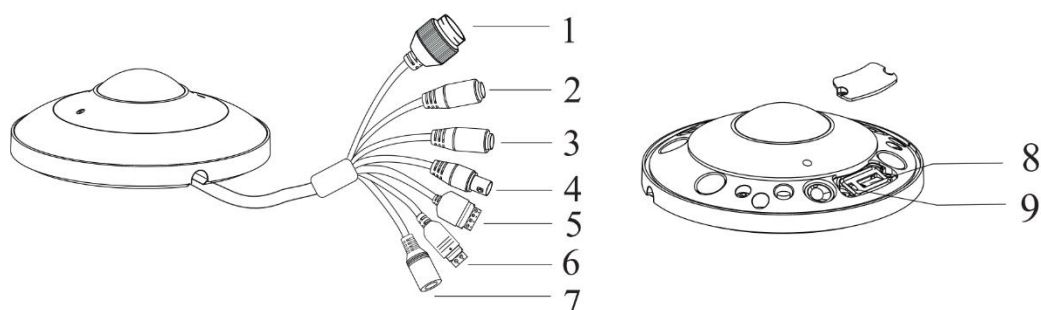
ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

● HIC-SF1200A

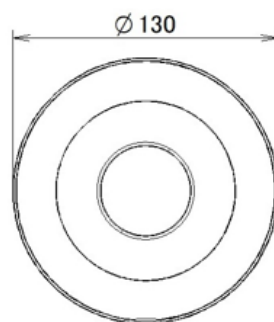
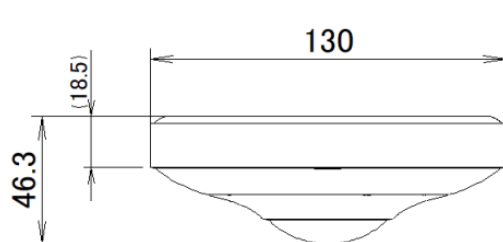
名 称	数 量
本体	1 台
ネジ、アンカー（各 3 本）	1 式
レンチ	1 本
ドリルテンプレート	1 枚
クイックマニュアル	1 枚

1.5 製品外観

● スマート PTZ カメラ HIC-SF1200A



#	表 示	説 明
1	Ethernet	LAN ケーブル接続(10Mbps/100Mbps) ※PoE 対応
2	MIC	オーディオ入力 (LINE) (3.5mm)
3	HP	オーディオ出力 (3.5mm)
4	VIDEO	アナログ映像出力 (CVBS)
5	ALARM	アラームの入力/出力 1 : ALARM COM、2 : ALARM OPEN 3 : ALARM INA、4 : ALARM GND
6	RS485	RS485 制御コントローラに接続
7	POWER	DC12V 入力
8	SD カードスロット	レンズ横の蓋 (ネジ 2 本) を外してメモリカード (Micro SD/SDHC/SDXC) をスロットに挿入します。SD カードに録画、スナップショットの保存を行います。 (※Edge/Chrome/FireFox では SD カード録画のダウンロードはできません。)
9	リセット	カメラの電源を入れた後、リセットボタンを 10 秒以上押し続けて、工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。



単位 : mm

1.6 カメラの設置例

本製品の設置方法について説明します。以下の注意点をご確認の上、設置してください。

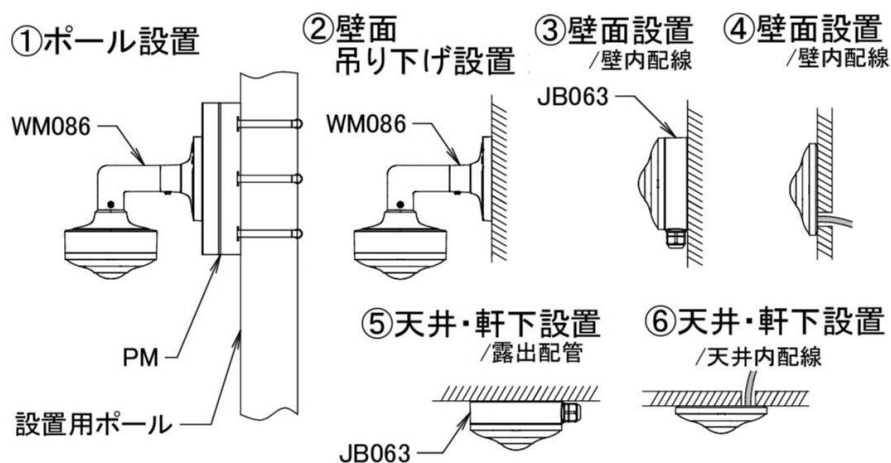
注 1 壁または天井がカメラの 3 倍の重量に耐えられる強度であることを確認してください。

注 2 カメラは乾燥した場所に設置してください。下部ドームまたはカバーを取り外す場合、4 時間以内に元に戻してください。

注 3 取り付けが完了するまで保護フィルムを剥がさないでください。

● 全方位カメラ HIC-SF1200A

- ① 天井面に直接設置する場合は、付属のドリルテンプレートなどを使い、ネジ穴 3 つと、ケーブル穴 1 つ（壁面にケーブルを通す場合）を開けます。付属の取付けねじで固定します
- ② 壁面などに設置する場合は、オプションの壁面取付けアームを使用します。



2. ネットワーク接続

LAN または WAN 経由で IP カメラを接続します。詳細は次のとおりです。

2.1 LAN

LAN では、IP カメラへのアクセス方法は 2 つあります。

2.1.1 IP-Tool によるアクセス


ネットワーク接続：

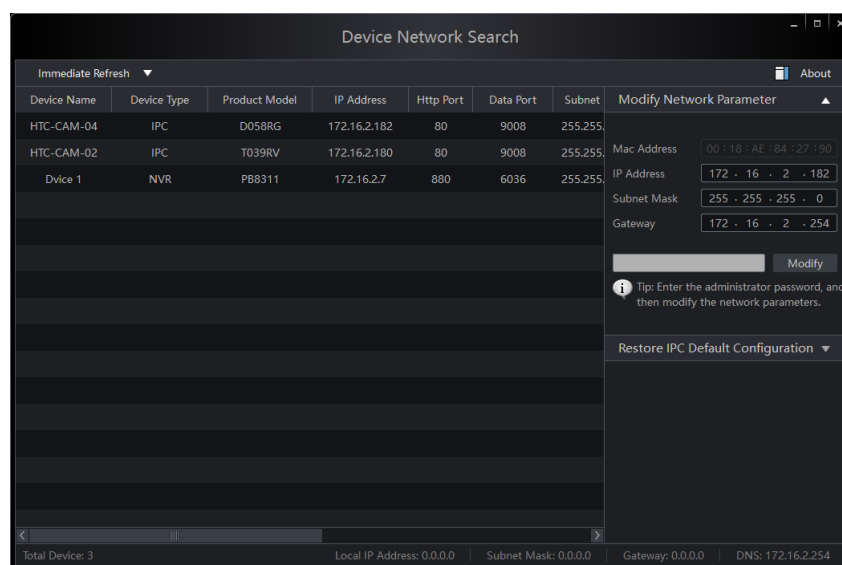


- ① IP-Tool を CD から PC(コンピュータ)にインストールしておきます。

IP-Tool のダウンロードは以下 URL からお願いします。（他のカメラのリンク先の IP-Tool でも使用できます。）

<https://hytec.co.jp/products/video/sf1200a.html>

- ② PC と IP カメラが LAN で接続されていることを確認します。
- ③ デスクトップ上にある IP-Tool アイコン  をダブルクリックすると、IP-Tool が起動し、ネットワークに接続されたカメラを自動的にサーチしてリストアップします。



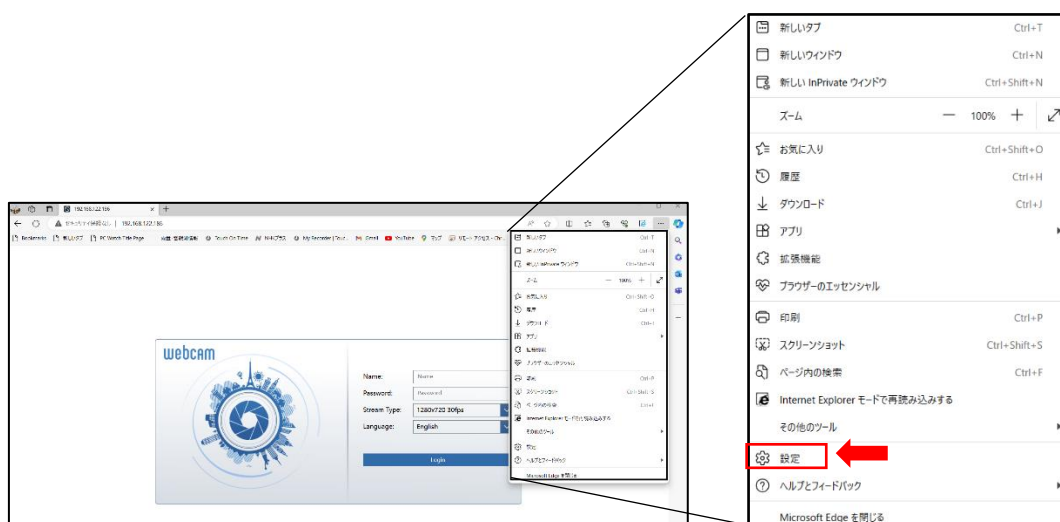
- ④ IP アドレスを変更します。本機のデフォルト IP アドレスは 192.168.226.201 です。リストのカメラをクリックすると、右手にネットワーク情報を表示します。ネットワークアドレスがコンピュータのローカルネットワークセグメントと同じであることを確認します。同じでない場合は、カメラの IP アドレスとゲートウェイを変更する必要があります。

例：コンピュータの IP アドレスが 172.16.2.4 である場合、カメラの IP アドレスを 172.16.2.X に設定します。変更後、管理者のパスワードを入力し、[Modify] ボタンをクリックして変更します。

管理者のデフォルトパスワードは **“123456”** です。（カメラの管理者パスワードです。）

- ⑤ リスト内のカメラをダブルクリックすると、ブラウザ（Edge）がポップアップして IP カメラに接続します。まず、IE モードで接続するための設定を行います。

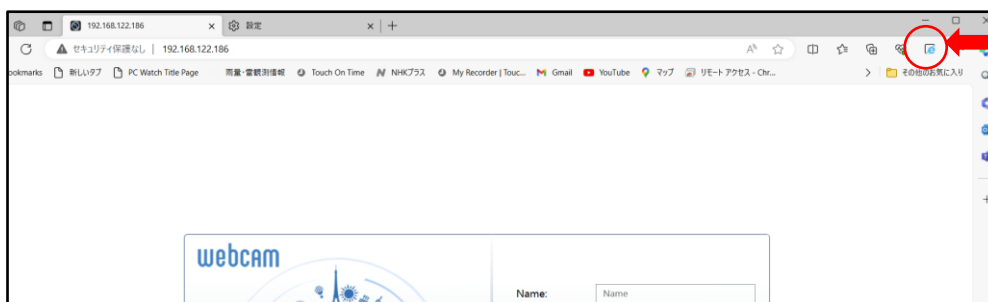
- 1) 右上の「…」をクリックし「設定」をクリックします。



- 2) 「既定のブラウザ」をクリックし「Internet Explorer でサイトの再読み込みを許可」を『許可』に設定します。



- 3) Internet Explorer のリロードタブアイコンをクリックして、IE モードに切り替えます。



- 4) 「このページは～」のメッセージが表示されるので、今後もこのサイトを IE 互換モードで開く場合は「次回、このページを Internet Explorer モードで開く」を有効に設定します。
IE 互換モードで開いたら「Internet Explorer モードになっています～」のメッセージはそのまま表示させます。



- 5) 続いて、プラグインのインストールを行います。

プラグインのインストールを促すメッセージが表示されたら、[Here](#) をクリックしてダウンロードします。

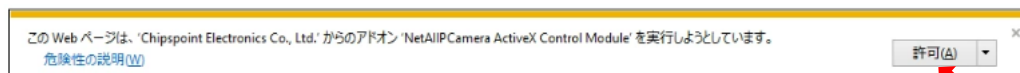


『保存』をクリックしてダウンロードフォルダにダウンロードします。



- 6) ダウンロードが完了したら、一度ブラウザを閉じて、ダウンロードしたプラグインをインストールします。インストールが完了したら、IP-Tool からカメラを選択（ダブルクリック）して、Edge（IE 互換モード）を起動してカメラに接続します。

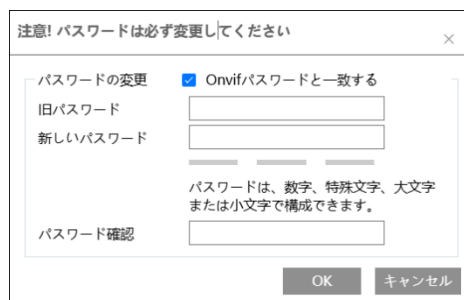
ブラウザの下端にアドオンの実行に関するメッセージが表示されるので『許可』をクリックします。



⑥ 名前とパスワードを入力します。言語は日本語を選択し、ログインします。

デフォルトの名前は “admin”、デフォルトパスワードは “123456” です。
カメラのバージョンが 5.2.0 以降の場合、プラグイン不要の Edge でアクセスができます。

- ⑦ デフォルトのパスワード変更を要求されます。セキュリティのために、デフォルトパスワードの変更をお勧めします。パスワードを変更する場合は、旧パスワードと新しいパスワード、パスワード確認を入力します。変更しない場合は、そのまま[キャンセル]をクリックします。



カメラにログインするときのパスワードと Onvif 接続したときのパスワードを別々に設定することができます。「Onvif パスワードと一致する」にチェックを入れてパスワードを設定するとカメラにログインするときのパスワードと Onvif 接続したときのパスワードが同じになります。「Onvif パスワードと一致する」にチェックを入れない場合、Onvif 接続のパスワードは変更されないので注意してください。

何もチェックをいれずに「キャンセル」をクリックすると、カメラにログインするときのパスワードと Onvif 接続したときのパスワードは変更されずデフォルトパスワードの“123456”のままカメラにログインします。

ログインに成功しプラグインのインストールに成功していると、カメラのライブ画像を表示することができます。

IE 互換モードで画像表示するときはプラグインのインストールは必須です。

2.1.2 ブラウザから直接アクセス

カメラのデフォルトネットワーク設定は次の通りです。カメラに初めてログインするときは、下記のデフォルト設定を使用してください。

IP アドレス : 192.168.226.201	サブネットマスク : 255.255.255.0
ゲートウェイ : 192.168.226.1	HTTP ポート : 80
データポート : 9008	

LAN ケーブルを使用して、カメラとコンピュータを直接接続します。



- ① PC の IP アドレスを手動で設定し、IP カメラのデフォルト設定と同じネットワークセグメントにする必要があります。コントロールパネルを開き、ネットワークと共有センター ⇒ アダプタの設定の変更 ⇒ イーサネットを開きます。（例：Windows10）
- ② イーサネットのプロパティから[インターネット プロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]を開きます。
PC の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを入力し、[OK]をクリックします。
- ③ ブラウザを開き、IP カメラのデフォルト IP アドレスを入力します。
- ④ カメラに接続したら、前節「2.1.1 2.1.1IP-Tool によるアクセス」の⑤以降と同操作を行います。

2.2 WAN

WAN からルータを介してカメラにアクセスできるようにします。

ネットワーク接続：



- ① カメラがローカルネットワークで接続されていることを確認し、LAN 経由でカメラにログインします。
- ② 設定>ネットワーク>ポートメニュー「4.5.2 ポート」に移動して、ポート番号を設定します。

HTTPポート	<input type="text" value="80"/>
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>
データポート	<input type="text" value="9008"/>
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>
ロングポーリングポート	<input type="text" value="8080"/> <input checked="" type="checkbox"/> 有効
WebSocketポート	<input type="text" value="7681"/>

- ③ 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー「4.5.1 TCP/IP」に移動して、IP アドレスを設定します。
[以下の IP アドレスを使う]を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定	
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する <input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使う	
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/> <input type="button" value="テスト"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>
優先DNSサーバ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>
代替DNSサーバ	<input type="text" value="8.8.8.8"/>

④ ルータでポートフォワーディングを設定します。

ポートフォワーディングの手順はお使いのルータのマニュアルでご確認ください。

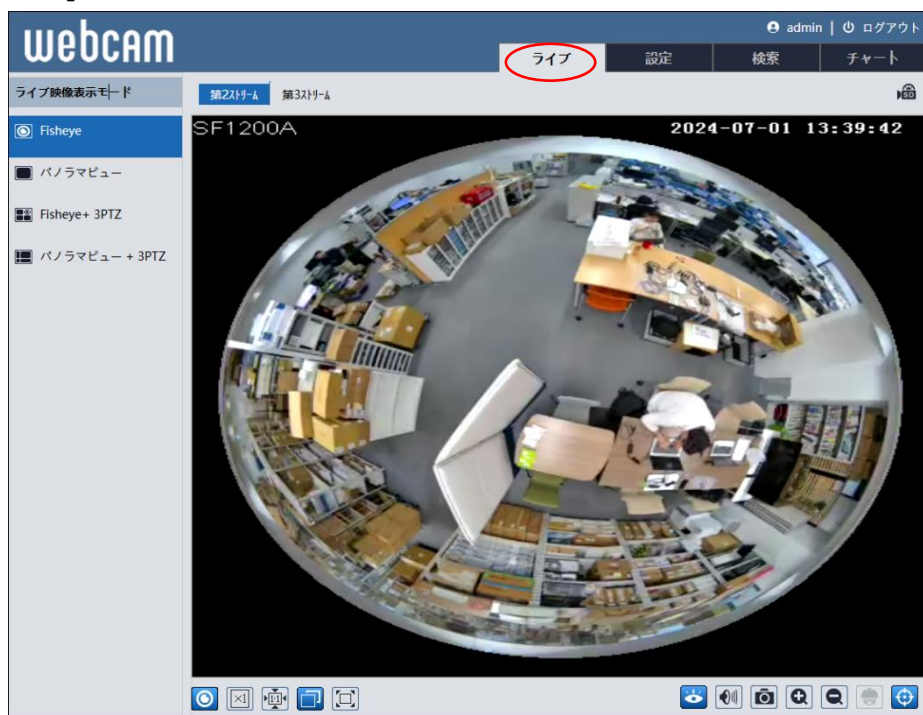
- ・クライアントからの接続方法によって、フォワーディングするポートが異なります。
- ・Edge(IE 互換モード)での接続→HTTP ポート&データポート
- ・Edge/Chrome(プラグイン無し)での接続→HTTP ポート&データポート& WebSocket ポート
- ・スマホアプリでの接続→HTTP ポート&データポート
- ・CMS/VMS での接続→データポート
- ・Onvif 接続→HTTP ポート&RTSP ポート
- ・RTSP 接続→RTSP ポート

⑤ ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。

例 : <http://192.168.226.180:880>

3. ライブ画面

右上の[ライブ]タブを開きます。



ライブ画面(左上)の説明

再生するライブ画面の画質を、第 1 ストリーム / 第 2 ストリーム / 第 3 ストリーム から選択します。

※Edge、Chrome、Firefox でアクセスした場合、第 1 ストリームを表示するには解像度を 1080x1080 以下に設定する必要があります。各ストリームの設定は、「4.2.2 映像/音声」で行います。

ライブ画面(左下)のアイコン説明

アイコン	説明	アイコン	説明
	ライブビューモード選択※1		等倍表示 (1 : 1)
	オリジナルアスペクト比		ウィンドウに合わせる
	フルスクリーン (全画面表示) ※2		

※1 をクリックしてライブビューモードを選択します。

※2 フルスクリーンモードの終了方法は、キーボードの Esc キーを押します。

ライブ画面(右上)のアイコン説明 ※3

アイコン	説明	アイコン	説明
	モーション検出のアラーム表示		アラーム入力のアラーム表示
	ラインクロスのアラーム表示		領域に入るのアラーム表示
	領域を出るのアラーム表示		ターゲットカウントのアラーム表示
	未サポート		エリア侵入検知のアラーム表示
	アラーム接点出力		SD カードの有無を表示※4

※3 各検出アラームが有効になっている場合のみアイコンを表示し、無効時は表示されません。検出された場合、アイコンが赤く点滅します。

※4 SD カードは挿入されるとアイコンが表示され、録画・画像保存時に赤く点灯します。

ライブ画面(右下)のアイコン説明

アイコン	説明	アイコン	説明
	ライブビューのオン/オフ		アラーム接点出力のオン/オフ
	双方向音声のオン/オフ		スピーカのオン/オフ
	スナップショット※5		手動録画のオン/オフ※6
	ズームイン/ズームアウト		PTZ 制御のオン/オフ※7
	ルール情報のオン/オフ※8		

※5 スナップショットは、「4.1.3 ローカル設定」の「静止画保存のパス」のフォルダに保存されます。

《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス 》

 << Program Files > NetAllIPCamera > picture > 172.16.2.180

ブラウザは Internet Explorer を使う必要があります。Edge の IE モードでは動作しません。

※6 録画は、「4.1.3 ローカル設定」の「録画保存のパス」のフォルダに保存されます。

《 録画保存のパス > video > IP アドレス 》

 << Program Files > NetAllIPCamera > video > 172.16.2.180

ブラウザは Internet Explorer を使う必要があります。Edge の IE モードでは動作しません。

※7 PTZ をオンにすると、以下のアイコンが画面の右側に表示されます。



アイコン	説明	アイコン	説明
	カメラの向きを左上へ移動		カメラの向きを右上へ移動
	カメラの向きを上へ移動		カメラの向きを下へ移動
	カメラの向きを左へ移動		カメラの向きを右へ移動
	カメラの向きを右下へ移動		カメラの向きを左上へ移動
	カメラの移動を停止		移動速度調整
	ズームアウト（広角）		ズームイン（望遠）
	クルーズ		プリセット

プリセット、クルーズをクリックすると、それぞれの登録したリストが表示されます。登録については 32 ページを参照してください。

プリセットの場合は、リストの各行の横のアイコンをクリックすると動作します。

アイコン	説明
	現在の位置を保存します。
	保存されている方向にカメラを移動します。
	設定を削除します

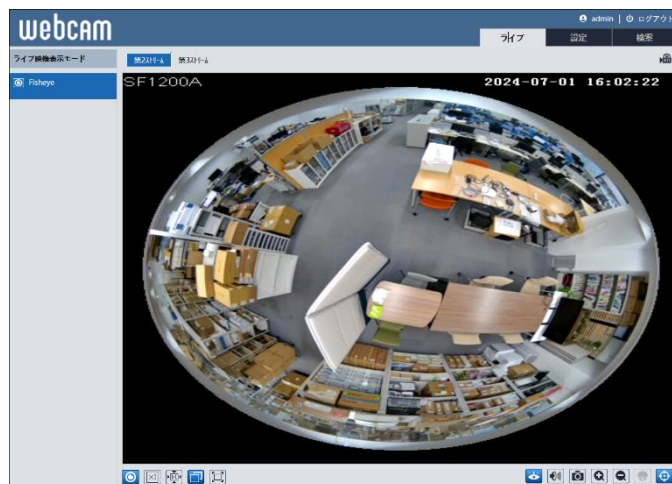
クルーズの場合は、リストをクリックして選択後、リストの上部にあるアイコンをクリックすると動作します。

アイコン	説明
	動作を開始します。
	動作を停止します。

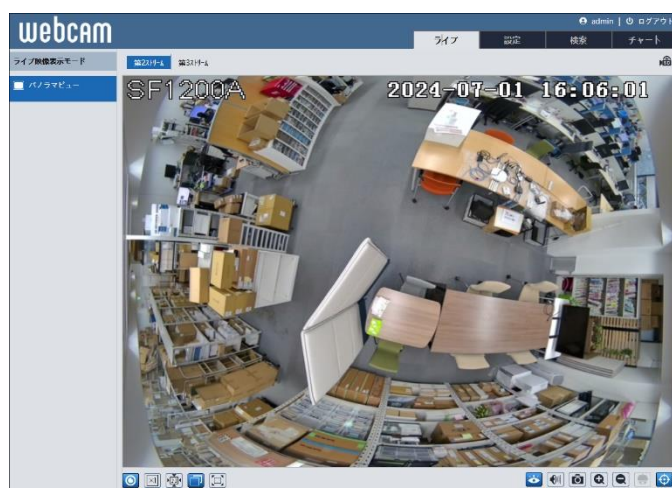
※8 イベント設定で設定した検出ラインやエリアの表示、非表示を切り替えることができます。

各種ライブ映像表示モードについて

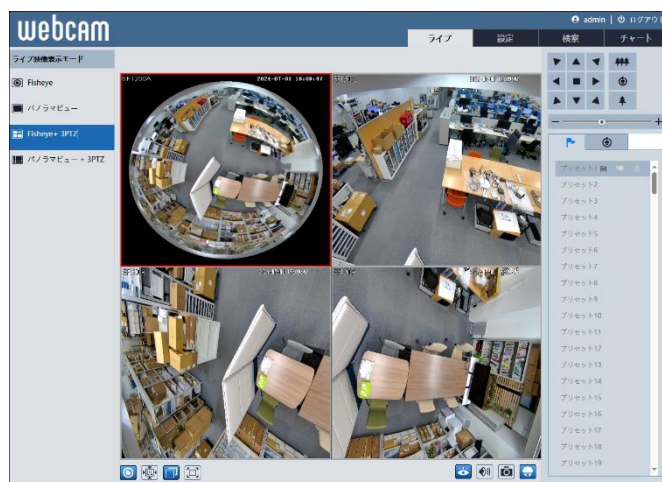
●フィッシュアイモード



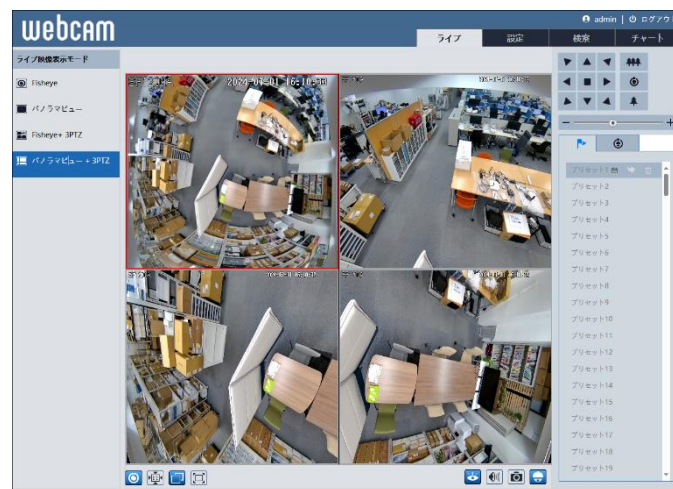
●パノラマモード



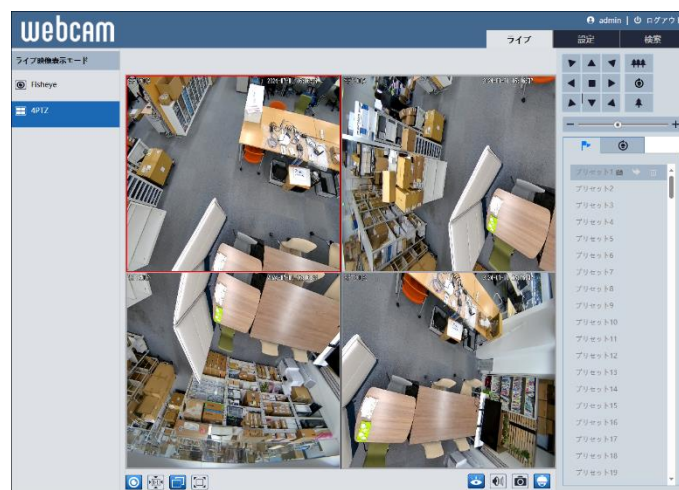
●フィッシュアイ+ 3 PTZ モード



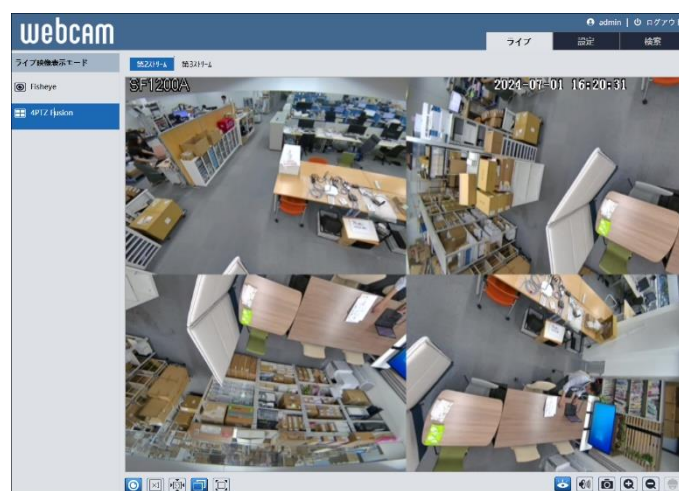
● パノラマ + 3 PTZ モード



● 4 PTZ モード



● 4 分割モード (PTZ 操作はできません)



「フィッシュアイ+3PTZ モード」または「パノラマ+ 3PTZ モード」または「4PTZ モード」では、PTZ ウィンドウを選択し、PTZ パネルから制御することにより、さまざまな方向の映像を表示できます。

注意：「4 分割モード」では PTZ 操作はできません。



をクリックしてコントロール パネルを表示します。コントロール・パネルの説明は以下のとおりです。

アイコン	説明	アイコン	説明
	カメラの向きを左上へ移動		カメラの向きを右上へ移動
	カメラの向きを上へ移動		カメラの向きを下へ移動
	カメラの向きを左へ移動		カメラの向きを右へ移動
	カメラの向きを右下へ移動		カメラの向きを左下へ移動
	カメラの移動を停止		移動速度調整
	ズームアウト（広角）		ズームイン（望遠）
	クルーズ（自動巡回）		プリセット

●プリセット

プリセットを登録したいときは、プリセット番号を選択し、をクリックして保存します。

プリセットを呼び出したいときは、プリセット番号を選択し、をクリックして呼び出します。

プリセットを削除したいときは、プリセット番号を選択し、をクリックして削除します。

●クルーズ（※事前にプリセットを登録する必要があります。）

クルーズを登録したいときは、クルーズ番号を選択し、をクリックします。クルーズ名を入力し、プリセットを追加していきます。最後に OK をクリックしてクルーズを保存します。

クルーズを再生したいときは、クルーズ番号を選択し、をクリックしてクルーズを開始します。をクリックしてクルーズを停止します。

クルーズを削除したいときは、クルーズ番号を選択し、をクリックして削除します。

4. 設定ホーム

右上の[設定]タブを開きます。



または



イベント設定メニューは Fisheye パラメータの設定により異なります。

4.1 システム設定

基本情報、日付と時間、ローカル設定、ストレージ、魚眼パラメータなどのサブメニューがあります。

<div>  システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ Fisheyeパラメータ </div> <div>  画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 </div> <div>  アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ </div> <div>  イベント設定 ターゲットカウント ラインクロス 領域に入る 領域を出る エリア侵入検知 集密度 ヒートマップ </div> <div>  ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加... </div> <div>  セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理 </div> <div>  メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ デバッグモード </div>	<div> 設定ホーム ▶ システム設定 </div> <div> システム設定 <ul style="list-style-type: none"> 基本情報 <div>デバイス名称や製品型名、ソフトウェアバージョン等、基本的な情報を表示します</div> 日付と時間 <div>本機の日付と時間を設定します。</div> ローカル設定 <div>このPCでのファイルの保存先等を設定します。</div> ストレージ <div>SDカードのフォーマットや、SDカード記録に関する項目を設定します。</div> Fisheyeパラメータ <div>Fishカメラのストリームモードとインストールパラメータを設定します。</div> </div>
---	---

4.1.1 基本情報

デバイス名や製品モデル、ソフトウェアバージョン、MAC アドレスなど、基本的な情報を表示します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 基本情報	
デバイス名	IPC
モデル名	ENC3111A
ブランド	Customer
ソフトウェアバージョン	5.2.0.56761B240417.IF1.U1(13A11)
ソフトウェア作成日	2024/04/17
Onvifバージョン	23.12
MAC	00:0f:3a:a8:1f:dc
デバイスID	I1FDC8AOYZQM
このマシンについて	表示
プライバシーに関する声明	表示
Open Source Software Licenses View	表示
	

P2P 機能を有効にしたあと（ネットワーク設定→P2P）、モバイルアプリを使用してこの QR コードを読みこむと簡単にデバイスを追加することができます。

※ デバイス名の変更は、「4.2.3 OSD」の[デバイス名]にて変更できます。

[このマシンについて]項がある場合、[表示]をクリックすると、マシンの詳細バージョンが確認できます。

このマシンについて	
ハードウェアバージョン	1.5
Hardware ID	3161963FB8411630F24239921C956C39
画像バージョン	209.414.0004
ドライバーバージョン	00027019
Web Version	17688
<div style="text-align: right;">OK</div>	

「プライバシーに関する声明」項がある場合、「表示」をクリックすると、プライバシーの取扱いに関する記述を確認できます。

4.1.2 日付と時間

デバイスの日付と時間の設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 日付と時間

日時合わせ サマータイム

タイムゾーン: GMT+09 (東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、沖縄) ▼

日時調整モード

☒ NTPサーバに同期

NTPサーバ: time.windows.com 更新間隔 1440 分

☐ 手動で設定

時間設定: 2024/07/02 15:27:53 ☐ コンピューターの現地時間と同期する

保存

➤ 日時合わせ

[日時合わせ]タブを開き、タイムゾーンの設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 日付と時間

日時合わせ サマータイム

タイムゾーン: GMT+09 (東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、沖縄) ▼

日時調整モード

☒ NTPサーバに同期

NTPサーバ: time.windows.com 更新間隔 1440 分

☐ 手動で設定

時間設定: 2024/07/02 15:27:53 ☐ コンピューターの現地時間と同期する

保存

表示	説明
タイムゾーン	日本のタイムゾーンは、「GMT+09（東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、沖縄）」です。
日時調整モード	NTPサーバに同期させる または 手動で設定（コンピュータの時間と同期させるときはチェックを入れる）から選択します。 注： NTPサーバにネットワーク経由で接続できる必要があります。事前に接続確認してください。

※ SD カードに録画している場合、時計の時間を遅らせると、遅らせた時間分の録画は消去されます。

➤ サマータイム

[サマータイム]タブを開き、設定します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 日付と時間

日時合わせ **サマータイム**

☒ サマータイム

☒ 自動サマータイム

☐ 手動サマータイム

開始時間 1月 最初 日曜日 00 時間

終了時間 2月 最初 月曜日 00 時間

オフセット時間 120 分

保存

表示	説明
サマータイム（DST）	サマータイムを設定するには、[サマータイム]にチェックを入れ、自動または手動を選択します。手動を選択した場合、開始時間と終了時間、オフセット時間を設定します。

4.1.3 ローカル設定

※Edge の IE モードでアクセスした場合、以下のメニュー表示をしますが設定することはできません。

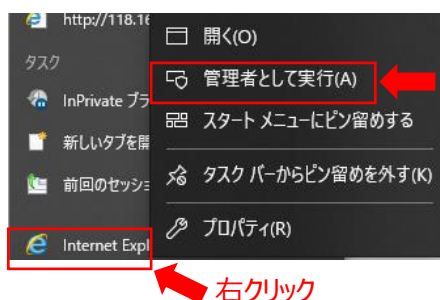
設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ローカル設定

静止画保存のパス	C:\Program Files\NetIPCamera\Picture	保存先変更
録画保存のパス	C:\Program Files\NetIPCamera\Record	保存先変更
録画音声の設定	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	
ビットレートを表示	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	
ローカスマート静止画保存ストレージ	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF	

保存

表示	説明
静止画保存のパス ※注意	スナップショット画像を PC 内のフォルダに保存します。 保存先変更をクリックして保存先フォルダを指定します。
録画保存のパス ※注意	録画ビデオを PC 内のフォルダに保存します。 保存先変更をクリックして保存先フォルダを指定します。
録画音声の設定 ※注意	録画ビデオに同時に音声を録画するかを指定します。
ビットレートを表示	ライブ画面にビットレートを表示することができます。 有効(ON)または無効(OFF)を選択します。
ローカスマート静止画保存 ストレージ ※注意	スマート検知で撮影したスナップショット画像を PC 内のフォルダに保存します。

※注意 この項目は、Internet Explorer を使ったとき表示します。また、Internet Explorer は必ず管理者権限で起動してください。Edge の IE モードではメニュー表示はしますが、設定を保存できません



※プラグインフリー（Edge、Chrome、Firefox）でアクセスした場合、「ビットレートを表示」の項目のみ表示します。

4.1.4 ストレージ

SD カードのフォーマットや、写真・録画ファイルの保存に関する項目などを設定します。



SD カードを取付けてないときは「カードがありません」と表示します。

設定するときは、SD カードをカメラに取付ける必要があります。（最大 256GB）

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ		
管理 録画 写真撮影 FTPスナップショット		
写真保存領域のサイズ	6088 MB	
残りの写真保存容量	6086 MB	
録画保存領域のサイズ	54720 MB	
残りの録画容量	54720 MB	
状態	正常	
写真保存領域	10	%
録画保存領域	90	%
割り当て比率の変更を反映させる場合はフォーマットを実行してください。フォーマットすると記録されたデータは削除されます。		
<div>カード取り出し フォーマット</div>		

➤ 管理

[管理]タブを開き、SD カードの容量を表示・設定します。

SD カードをカメラに取付けると、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。SD カードに録画や画像が保存されると、アイコン  は赤く点灯します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ

管理 録画 写真撮影 FTPスナップショット

写真保存領域のサイズ

6088 MB

残りの写真保存容量

6086 MB

録画保存領域のサイズ

54720 MB

残りの録画容量

54720 MB

状態

正常

写真保存領域

10

%

録画保存領域

90

%

割り当て比率の変更を反映させる場合はフォーマットを実行してください。フォーマットすると記録されたデータは削除されます。

カード取り出し

フォーマット

表示	説明
写真保存領域のサイズ	SD カード内の写真を保存できる容量を表示します。
残りの写真保存容量	写真を保存できる、残りの空き容量を表示します。
録画保存領域のサイズ	SD カード内の録画を保存できる容量を表示します。
残りの録画容量	録画できる、残りの空き容量を表示します。
状態	SD カードの状態を表示します。
写真保存領域 ※	SD カードの全容量に対して、写真を保存できる割合を設定します。
録画保存領域 ※	SD カードの全容量に対して、録画を保存できる割合を設定します。
カードの取り出し	カメラから SD カードを取り出すときにクリックしてください。 取り出しをクリックする前に SD カードを取り出すとファイル破損の原因となる可能性があります。 注意：カードの取り出しをクリックすると「取り出し成功」と表示します。SD カードを再認識させるには物理的に SD カードを抜き差しする必要があります。
フォーマット	SD カードを初期化します。フォーマットを行うと、SD カード内のデータはすべて削除されます。

※写真と録画の保存割合を適用するには、フォーマットする必要があります。フォーマットを行うと、SD カード内のデータはすべて削除されます。

➤ 録画

[録画]タブを開き、SD カードへの録画に関する設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ

管理 **録画** 写真撮影 FTPスナップショット

録画パラメータ

録画ストリーム

プリ録画時間 (H264,H265,MJPEG)

上書きする

設定された時間で実行

☐ スケジュール記録有効

☐ 削除 ☒ 追加 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア

一週間の日程

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
月	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
火	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
水	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
木	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
金	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
土	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								

休日設定とスケジュール

日付 +
-

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア

保存

録画パラメータ

表示	説明
録画ストリーム	録画を行うストリームを選択します。 解像度や画質などの設定は「4.2.2 映像/音声」で設定します。
プリ録画時間	“プリ録画なし”を選択した場合、「イベント発生中の時間+アラーム持続期間」の映像を録画します。 “3 秒”または“6 秒”を選択した場合、イベント発生の 3 秒または 6 秒前の映像から録画を行います。
上書きする	SD カードの空き容量が無くなったとき、上書き録画を行うか選択します。

※ イベントによる録画は、「4.3 アラーム設定」や「4.4 イベント設定」の連携するアラーム出力で、
[SD カード録画]が有効(チェックあり)のときに実行されます。

設定された時間で実行

表示	説明
スケジュール記録有効	チェックを入れると、スケジュールによる録画を行います。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

- 削除 : 録画を無効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)
- 追加 : 録画を有効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)
- 手動入力 : [削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。
- 全領域を選択 : 0 時～24 時の時間帯すべてを選択します (選択されると緑になります)
- 領域反転 : 設定されているタイムラインを反転します。
- クリア : タイムラインがクリアされます。(削除された状態 (白) となります)
- 設定を適用する : 別の曜日にスケジュールをコピーします。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムライン上でスケジュールを設定します。

削除するときは、日付を選択してから  をクリックします。

※注意 :  をクリックするまでスケジュールが保存されません。

➤ 写真撮影

[写真撮影]タブを開き、SD カードに保存する静止画に関する設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ

管理 録画 **写真撮影** FTPスナップショット

写真撮影パラメータ

画像フォーマット

解像度

画質

イベント発生に連動

スナップショット間隔 秒

撮影枚数

設定された時間で実行

☐ 有効にする

スナップショット間隔 秒

☐ 削除 ☒ 追加 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア

一週間の日程

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
月	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
火	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
水	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
木	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
金	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
土	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								

休日設定とスケジュール

日付 +
-

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア

写真撮影パラメータ

表示	説明
画像フォーマット	フォーマットを選択します。
解像度	スナップショットの解像度を選択します。
画質	画質を高い/中/低いから選択します。

※スナップショット解像度の設定は、「4.2.2 映像/音声」で行います。

イベント発生に連動

表示	説明
スナップショット間隔	「イベント発生中の時間+アラーム持続期間」の時間内で、何秒間隔でスナップショットを撮影し、SD カードに保存するか設定します。
撮影枚数	スナップショット間隔で、最大何枚のスナップショットを撮影するか設定します。


※「4.3 アラーム設定」や「4.4 イベント設定」の連携するアラーム出力で、[写真をSDカードに保存]が有効(チェックあり)のときに実行されます。

SD カードへのスナップショット保存例

[例 1] アラーム持続期間：20 秒、スナップショット間隔：5 秒、撮影枚数：3 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、その後 5 秒間隔で 1 枚ずつ撮影され、計 3 枚(最大)のスナップショットが保存されます。

アラーム持続期間	20秒	
スナップショット間隔	5	秒
撮影枚数	3	




	時間	タイプ
1	08:23:49	■
2	08:23:44	■
3	08:23:39	■

※ここでは、イベント発生時、発生から 5 秒後、10 秒後のスナップショットを保存しています。

[例 2] アラーム持続期間：3 秒、スナップショット間隔：5 秒、撮影枚数：2 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、3 秒でアラーム持続期間が終了したため、5 秒後のスナップショットは撮影されず、発生時の 1 枚のみ保存されます。

アラーム持続期間	3秒	
スナップショット間隔	5	秒
撮影枚数	2	



	時間	タイプ
1	08:31:47	■

※アラーム持続期間が終了した時点で、それ以降のスナップショットは保存されません。

設定された時間で実行

表示	説明
有効にする	チェックを入れると、スケジュールによる写真の保存を行います。
スナップショット間隔	有効の時間帯で何秒間隔の写真を保存するのか設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

削除 : 写真保存を無効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加 : 写真保存を有効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力 : [削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

全領域を選択 : 0 時～24 時の時間帯すべてを選択します。(選択されると緑になります)


領域反転 : 設定されているタイムラインを反転します。


クリア : タイムラインがクリアされます。(削除された状態 (白) となります)


設定を適用する : 別の曜日にスケジュールをコピーします。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムライン上でスケジュールを設定します。

削除するときは、日付を選択してから  をクリックします。

※注意 :  をクリックするまでスケジュールが保存されません。

現在、Windows の仕様により、Internet Explore を起動することができないことがあります。

SD カードに録画した動画のデータをダウンロードするには HCMS ソフトウェアをご利用ください。ただし、スナップショット画像は HCMS からは一切扱えません。HCMS については、営業担当またはサポートまでお問合せください。

➤ FTP スナップショット

[FTP スナップショット]タブを開き、FTP サーバにスナップショットをアップロードする設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ

管理 録画 写真撮影 FTPスナップショット

☒ 有効にする

サーバアドレス (FTPサーバなし)

スナップショット間隔 60 秒

保存

表示	説明
有効にする	チェックを入れると、スケジュール設定に従い、FTP サーバにスナップショットをアップロードします。
サーバアドレス	あらかじめ設定した FTP サーバを選択します。
スナップショット間隔	有効の時間帯で何秒間隔の写真を保存するのか設定します。

※FTP サーバの設定は、「4.5.12 **FTP**」で行います。

4.1.5 Fisheye パラメータ（魚眼パラメータ）

ライブ画像をどのように表示するか設定します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ Fisheyeパラメータ

ストリームモード Fisheye+パノラマビュー ▼

設置状態 天井/下向き ▼

注意：設置方式を変更するとライブプレビュー、画像エフェクト、PTZモード、プリセットなどに影響します。

保存

表示	説明
ストリームモード	5 種類の表示方法から選択します。 ・Fisheye ・パノラマビュー ・Fisheye+パノラマビュー+3 画面 PTZ ・Fisheye または 4 画面 PTZ ・Fisheye+4PTZ Fusion
設置状態	カメラを設置する場所を、壁（垂直）、机上（上向き）、天井（下向き）から選択します。

※注意：ストリームモードまたは設置状態を変更するとカメラは再起動します。

ストリームモードによってライブ映像が変わります。

実際のライブ映像表示は各種ライブ映像表示モードについて（30 ページ）を参照してください。

●フィッシュアイを選択した場合



●Fisheye+パノラマビュー+3 画面 PTZ を選択した場合



4.2 画像設定

画質調整、映像/音声、OSD、プライバシーマスク、ROI 構成などのサブメニューがあります。

<div>  システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ Fisheyeパラメータ </div> <div>  画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 </div> <div>  アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ </div> <div>  イベント設定 ターゲットカウント ラインクロス 領域に入る 領域を出る エリア侵入検知 集密度 ヒートマップ </div> <div>  ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加... </div> <div>  セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理 </div> <div>  メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ デバッグモード </div>	<div> 設定ホーム ▶ 画像設定 </div> <div>  画像設定 </div> <ul style="list-style-type: none">  画質調整 <div>カメラの画質（明るさ、コントラスト、彩度など）に関するパラメータを設定します</div>  映像/音声 <div>映像、音声のIPストリームを設定します。圧縮方式、解像度、フレーム数、ビットレート等を設定します。</div>  OSD <div>OSD（オンスクリーンディスプレイ）を設定します。</div>  プライバシーマスク <div>プライバシー保護のためのマスク設定を行います。</div>  ROI構成 <div>ROI機能はデータサイズを保ったまま特定領域だけを高画質にします。</div>
---	--

4.2.1 画質調整

カメラの画質(輝度、コントラスト、彩度など)に関するパラメータを設定します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整

カメラのパラメータ

プロフィール管理

3F600H

2023/07/21 16:29:33



撮影設定

常時

輝度

50

コントラスト

50

色相

50

彩度

50

WDR

☐

128

シャープネス

☐

128

ノイズ除去

☐

128

曇り鮮明化

☐

128

BLC

オフ

フリッカレス

オフ

IR照明自動調光

オフ

ホワイトバランス

自動

昼/夜モード

自動

感度

中

切替遅延時間
(秒)

2

シャッター

1/25

ゲイン

50

初期値

取り消し

ビデオ調整

映像周波数

50HZ

IR照明

自動

画像左右反転

☐ ON

☒ OFF

画像反転

☐ ON

☒ OFF

➤ カメラのパラメータ

[カメラのパラメータ]タブを開き、常時・昼・夜のモード別に、輝度やコントラストなどを設定できます。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整

カメラのパラメータ

プロフィール管理



撮影設定

常時

輝度

50

コントラスト

50

色相

50

彩度

50

WDR

☐

128

シャープネス

☐

128

ノイズ除去

☐

128

曇り鮮明化

☐

128

BLC

オフ

フリッカレス

オフ

IR照明自動調光

オフ

ホワイトバランス

自動

昼/夜モード

自動

感度

中

切替遅延時間 (秒)

2

シャッター

1/25

ゲイン

50

初期値

取り消し

ビデオ調整

映像周波数

50HZ

IR照明

自動

画像左右反転

☐ ON

☒ OFF

画像反転

☐ ON

☒ OFF

表示	説明
撮影設定	3 パターンの撮影設定（常時、昼、夜）を行います。 それぞれに適したパラメータを以下より設定します。
輝度	カメラ画像の明るさ調整します。
コントラスト	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさの差を調整します。
色相	色味を調整します。
彩度	色の濃さを調整します。0 に調整すると白黒画像になります。
WDR	ハイライト部と暗部の両方を自動調整し、鮮明な画像に調整します。
シャープネス	シャープネスにチェックを入れ、有効にします。 画像の輪郭強調レベルを調整します。

ノイズ除去	ノイズ除去にチェックを入れ、有効にします。 映像に発生しているランダムノイズの除去レベルを調整します。値を大きくするとノイズは減りますが、画像の解像度は低下します。
曇り鮮明化	曇り鮮明化にチェックを入れ、有効にします。 雨、霧、靄、煙、ほこり等でぼやけた映像を補正します。必要に応じて適切な値を設定し、鮮明な画像を表示することができます。
BLC	逆光補正機能(BLC)の設定を、以下から選択します。 オフ : 逆光補正機能を無効にします。(デフォルト) HLC : ハイライト補正。強い光源をカバーします。 BLC : 逆光補正。逆光で陰になった部分を明るく補正します。
フリッカレス	オフ : フリッカ除去機能をオフにします。 50Hz/60Hz : 50Hz または 60Hz の照明条件でちらつきを低減します。
IR 照明自動調光	オン : IR 照明は最大で発光します。(昼でも常時点灯) オフ : IR 照明は点灯しません。
ホワイトバランス	自動、屋内、屋外を選択した場合は、環境に応じて自動的に色温度を調整します。マニュアルを選択した場合は、赤レベルと青レベルの値を設定し、手動で色温度を設定します。
昼/夜モード	自動 : 昼モードと夜モードを自動で切替えます (デフォルト) 切り替える感度 (明るさ) と、切替遅延時間を設定できます。 昼 : カラー撮影固定 夜 : 白黒撮影固定 設定された時間で実行 : 昼モード/夜モードの切り替え時間を設定できます。
感度	昼/夜モードを切替える感度を設定します。 高い・中・低いから選択します。
切替遅延時間 (秒)	昼/夜モードを切替えるときに遅延させる時間を設定します。すぐに切り替わらないようにするときは長く設定します。
シャッター	シャッター速度の上限を設定します。シャッター速度は状況に応じて自動で調整します。(設定したシャッター速度内)
ゲイン	ゲインの上限を設定します。数値が大きいほど画像が明るくなり、画像のノイズが多くなります。ゲイン値は状況に応じて自動で調整します。(設定したゲイン値内)
映像周波数	周波数 50Hz(PAL)と 60Hz(NTSC)が設定できます。 ※注意：周波数を変更するとカメラは再起動します。

画像左右反転	カメラ画像を左右反転させます。
画像反転	カメラ画像を上下反転させます。

➤ プロファイル管理

[プロファイル管理]タブを開き、昼間と夜の時間帯を指定します。

スケジュールの設定方法

「24 時間連続」と「設定された時間で実行」が選択できます。

◆ 24 時間連続：撮影設定で「常時」または「自動」を選択します。

「常時」：カメラのパラメータ設定の「撮影設定：常時」で設定したパラメータで撮影します。

「自動」：カメラのパラメータ設定「撮影設定：昼または夜」で設定した昼と夜を自動で切り替えて撮影します。また、カメラのパラメータ設定「撮影設定：昼または夜」は、カメラのパラメータ設定の昼/夜モード切り替えと連動します。

◆ 設定された時間で実行：カメラのパラメータ設定「撮影設定：昼または夜」で設定したパラメータを設定した時刻で切替えて撮影します。

タイムライン上の“”をドラッグして昼間と夜の時間帯を設定します。ブルーが昼間時間、グレーが夜時間を表します。設定が完了したら保存します。

4.2.2 映像/音声

映像、音声の IP ストリーム(圧縮方式や解像度、フレーム数、ビットレートなど)を設定します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 映像/音声

映像 音声

チャンネルID IPチャンネル1

インデックス	ストリーム名	解像度	フレームレート	ビットレートタイプ	ビットレート (Kbps)	ビデオ品質	Iフレーム間隔	ビデオ圧縮	プロファイル
1	第1ストリーム	3000x3000	15	CBR	8192	中	60	H264	High Profile
2	第2ストリーム	1440x1440	15	CBR	6144	中	60	H264	High Profile
3	第3ストリーム	960x960	15	CBR	1536	中	60	H264	High Profile

写真のストリーム 第2ストリーム サイズ(1440x1440)

☐ ビデオエンコードスライス分割

☐ ウォーターマーク (H264、H265のみをサポート)

ウォーターマーク文字

保存

➤ チャンネル ID

表示	説明
IP チャンネル 1	フィッシュアイ画像のストリームを設定します。
IP チャンネル 2	PTZ 操作できる画像またはパノラマ画像のストリームを設定します。※ 1
IP チャンネル 3	PTZ 操作できる画像のストリームを設定します。
IP チャンネル 4	PTZ 操作できる画像のストリームを設定します。
IP チャンネル 5	PTZ 操作できる画像のストリームを設定します。

※1 ストリームモードに連動して変わります。ストリームモードは、「4.1.5 Fisheye パラメータ (魚眼パラメータ)」で設定します。

➤ 映像

[映像]タブを開き、第 1/第 2/第 3 ストリームの解像度やフレームレートなどをそれぞれ設定します。

表示	説明
解像度	カメラ画像の表示解像度を設定します。
フレームレート	フレームレートを設定します。(範囲 1 ～30 フレーム：映像周波数 60Hz の場合) フレームレートが高いほど、映像は滑らかになります。
ビットレートタイプ	VBR または CBR から選択します。 VBR：可変ビットレート / CBR：固定ビットレート
ビットレート (Kbps)	CBR を選択した場合、ビットレート設定ができます。 ビットレートが高いほど、画質が向上しますが、データサイズは大きくなります。

ビデオ品質	VBR を選択した場合、ビデオ品質設定ができます。 品質が高いほど、ビットレートは高くなり、データサイズも大きくなります。 CBR のビットレート値が分からないときは VBR を選択します。
I-フレーム間隔	I-フレームの送信間隔を設定します。I フレーム間隔の時間は、I フレーム間隔 ÷ fps です。
ビデオ圧縮	H.264 / H.265 / H.264+ / H.265+ / MJPG からビデオ圧縮方式を選択します。
プロファイル	H.264/H.264+を選択した場合、プロファイルを選択します。
写真のストリーム	イベント発生時に送信する、写真のサイズ（解像度）を設定します。
ビデオエンコードスライス分割	ビデオエンコードスライス分割にチェックを入れ、有効にします。 この機能を有効にすると、低性能の PC を使用しても滑らかな画像を得ることができます。
ウォーターマーク	ウォーターマークにチェックを入れ、有効にします。 ウォーターマーク符号に透かしテキストを入力します。検索画面で、ローカルに記録されたビデオを再生する時にウォーターマークを表示できます。

➤ 音声

[音声]タブを開き、音声圧縮方式や音声入出力レベルを設定します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 映像/音声

映像 音声

☒ 有効

音声形式 G711A

音声タイプ MIC

MICボリューム 75

音声出力音量 75

保存

表示	説明
有効	音声を有効にする場合はチェックを入れます。
音声形式	音声圧縮方式を選択します。(G711A または G711U)
音声タイプ	カメラ内蔵マイクと外部 LINE 入力を選択します。
MIC ボリューム	カメラ内蔵マイクと外部 LINE 入力の入力レベルを調整します。
音声出力音量	外部音声出力の出力レベルを調整します。

★お知らせ★

RTMP で YouTube Live へ配信する場合は、必ず音声を有効にする必要があります。

また、無音で配信する場合は、LIN ボリュームを 0 に設定してください。0 に設定してもノイズが聞こえる場合は、一度有効のチェックを外して保存し、再び有効をチェックして保存すると反映されます。

4.2.3 OSD

OSD (On Screen Display) に関する設定を行います。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ OSD



OSD時間フォーマット

OSD日付フォーマット

☒ 日付時刻を画面表示する

デバイス名

☒ デバイス名を画面表示する

☐ 追加OSD1 ☐ 1行追加

☐ 追加OSD2 ☐ 1行追加

☐ 追加OSD3 ☐ 1行追加

☐ 追加OSD4 ☐ 1行追加

保存

表示	説明
時間フォーマット	12 時間形式または 24 時間形式を選択します。
日付フォーマット	[日付時刻を画面表示する]にチェックを入れ、画面表示を有効にします。 表示形式を選択します。ディスプレイ上に赤枠でタイムスタンプを表示します。 赤枠はドラッグして位置を変更できます。(時間は最後尾に表示します。) 《 YYYY : 年、MM : 月、DD : 日 を表します 》
デバイス名	[デバイス名を画面表示する]にチェックを入れ、画面表示を有効にします。 デバイス名を入力すると、ディスプレイ上に赤枠でデバイス名を表示します。赤 枠はドラッグして位置を変更できます。 ここで変更したデバイス名は、「4.1.1 基本情報」にも反映されます。
追加 OSD	チェックを入れ、追加 OSD または写真オーバーレイを有効にします。 ・ 追加 OSD を選択した場合、文字列を入力するとディスプレイ上に表示さ れるので、ドラッグして位置を変更します。 [1 行追加]にチェックを入れると、文字列をもう 1 行追加できます。 ・ 「写真オーバーレイ」を選択した場合、ロゴや文字などの画像を表示するこ とができます。保存先変更から画像を指定し、アップロードをクリックします。ファイ ル形式は JPEG 形式のみで、表示できる画像のサイズは縦 × 横が 200 ピク セル以下です。

注意
OSD に使用する文字は英数字を使用してください。
日本語を入力すると文字バケが発生します。

4.2.4 プライバシーマスク

プライバシーマスクに関する設定を行います。プライバシーマスクは最大 4 か所に設定できます。



プライバシーマスクの設定

- ① [有効]にチェックを入れ、プライバシーマスクを有効にします。
- ② [エリアを描く]をクリックし、ディスプレイ上でマウスを左クリックしながらドラッグしてプライバシーマスクを作図します。最大 4 か所まで設定できます。
- ③ [作図終了]をクリックすると、プライバシーマスクの作図を終了します。
- ④ [クリア]をクリックすると選択したプライバシーマスクを削除します。
- ⑤ [保存]をクリックして、設定したプライバシーマスクを保存します。


4.2.5 ROI 設定

ROI（Region of Interest）に関する設定を行います。

ROI は、設定した領域の画像をほかの領域より高精細にします。



ROI の設定

- ① [有効]にチェックを入れ、ROI を有効にします。
- ② [エリアを描く]をクリックし、ディスプレイ上でマウスを左クリックしながらドラッグして ROI 領域を描画します。ROI 領域は 8 か所まで設定できます。
- ③ [作図終了]をクリックすると、ROI 領域の描画を終了します。
- ④ [クリア]をクリックすると ROI 領域を消去します。
- ⑤ スライドの  をドラッグして ROI レベルを調整します。
- ⑥ [保存]をクリックして、設定した ROI 領域を保存します。

4.3 アラーム設定

モーション検出、異常、アラーム入力、アラーム接点出力、アラームサーバ などのサブメニューがあります。




<div>  システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ Fisheye/パラメータ </div> <div>  画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 </div> <div>  アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ </div> <div>  イベント設定 ターゲットカウント ラインクロス 領域に入る 領域を出す エリア侵入検知 集密度 ヒートマップ </div> <div>  ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加... </div> <div>  セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理 </div> <div>  メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ デバッグモード </div>	<div> 設定ホーム ▶ アラーム設定 </div> <div> アラーム設定 <ul style="list-style-type: none"> モーション検出 <div>動体検出の検出エリアの設定や、感度、連携動作、動作スケジュールを設定します。</div> 異常 <div>アラームのパラメータを設定して異常アラームに連動させる設定も行います。</div> アラーム入力 <div>アラーム入力設定と連動スケジュールを設定します。</div> アラーム接点出力 <div>アラーム出力を設定します。</div> アラームサーバ <div>アラームサーバを設定します。</div> </div>
--	---

4.3.1 モーション検出

モーション検出は、画像の中の動きを検出して通知する機能です。エリア設定や感度、連携アラーム、スケジュールを設定します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、モーション検出のアラームを設定します。

表示	説明
有効	モーション検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 モーションを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
アラーム持続期間	モーションアラームの持続時間を設定します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコン  が赤く点滅しています。 1 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	モーション検出では、以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、次の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

連携するアラーム出力

連携するアラーム出力は、「4.3.3 アラーム入力」と「4.4 イベント設定」の各種検知機能との共通設定項目です。

◆ アラーム接点出力

[アラーム接点出力]にチェックを入れると、カメラに接続している外部リレー出力がトリガーされます。

アラーム出力に関する設定は、「4.3.4 アラーム接点出力」で行う必要があります。

◆ 写真をSDカードに保存

チェックを入れると、検出時に画像をキャプチャしSDカードに保存します。

キャプチャ画像の解像度は「4.2.2 映像/音声」の写真のストリームで設定します。


SDカードへの画像保存に関する設定は、「4.1.4 ストレージ」の「写真撮影」で行う必要があります。

SDカードへのスナップショット保存例

[例 1] アラーム持続期間：20 秒、スナップショット間隔：5 秒、撮影枚数：3 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、その後 5 秒間隔で 1 枚ずつ撮影され、計 3 枚(最大)のスナップショットが保存されます。

アラーム持続期間	20秒	
スナップショット間隔	5	秒
撮影枚数	3	




	時間	タイプ
1	08:23:49	■
2	08:23:44	■
3	08:23:39	■

※ここでは、イベント発生時、発生から 5 秒後、10 秒後のスナップショットを保存。

[例 2] アラーム持続期間：3 秒、スナップショット間隔：5 秒、撮影枚数：2 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、アラーム持続期間が 3 秒で終了したため、5 秒後のスナップショットは撮影されず、発生時の 1 枚のみ保存されます。

アラーム持続期間	3秒	
スナップショット間隔	5	秒
撮影枚数	2	



	時間	タイプ
1	08:31:47	■

※アラーム持続期間が終了した時点で、それ以降のスナップショットは保存されません。

◆ SD カード録画

チェックを入れると、検出時のビデオが SD カードに保存されます。

SD カードへの録画に関する設定は、「4.1.4 ストレージ」の「録画」で行う必要があります。

◆ メールを送信

[メールを送信]にチェックを入れると、E メールによる通知が有効になります。

通知メールの送信先をリストから選択し、メールの件名と内容を入力します。検出時の写真を添付する場合は[写真添付]にチェックを入れます。

<input checked="" type="checkbox"/> メールを送信		
Receiver Name	メールの送信先	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/> 佐藤	AA***@*****.jp	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input type="checkbox"/> 鈴木	BBB***@*****.jp	<input type="checkbox"/> 写真添付
<input type="checkbox"/> 高橋	CCC***@*****.com	<input type="checkbox"/> 写真添付
メールの件名	<input type="text"/>	
メールの内容	<input type="text"/>	

E メール通知の送受信に関する設定は、「4.5.11 Email」で事前に行う必要があります。

◆ FTP ファイル転送

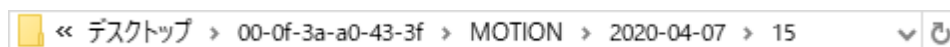
チェックを入れると、FTP サーバへのファイル転送が有効になります。

FTP サーバをリストから選択し、検出時の写真を添付する場合は[写真添付]にチェックを入れます。

<input checked="" type="checkbox"/> FTPファイル転送		
サーバ名	サーバアドレス	
<input checked="" type="checkbox"/> FTP SERVER	172.***.***.3	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付

FTP サーバに関する設定は、「4.5.12 **FTP**」で事前に行う必要があります。

ログファイルとスナップショットは、《 指定フォルダ > MAC アドレス > イベント名 > 日付 > 時間 》に保存されます。



(1) 写真添付なしの場合

イベント発生時に、ログファイルが転送されます。

(2) 写真添付ありの場合

イベント発生時に、ログファイルとスナップショット 1 枚が転送されます。アラーム持続期間(5 秒)が経過後、スナップショット 1 枚が転送されます。

名前	日付時刻	種類	サイズ
MOTION_20200221103150.txt	2020/04/23 9:33	テキストドキュメント	1 KB
MOTION_20200221103150_163.jpg	2020/04/23 9:33	JPG ファイル	47 KB
MOTION_20200221103155_97.jpg	2020/04/23 9:33	JPG ファイル	48 KB

(3) イベント発生時間がアラーム持続期間を超える場合

イベント発生時に、ログファイルとスナップショット 1 枚が転送されます。アラーム持続期間を経過するごとにスナップショット 1 枚が転送されます。

[例] イベント発生時間：25 秒、アラーム持続期間：10 秒の場合

イベント発生時に「ログファイル」と「スナップショット 1 枚」、

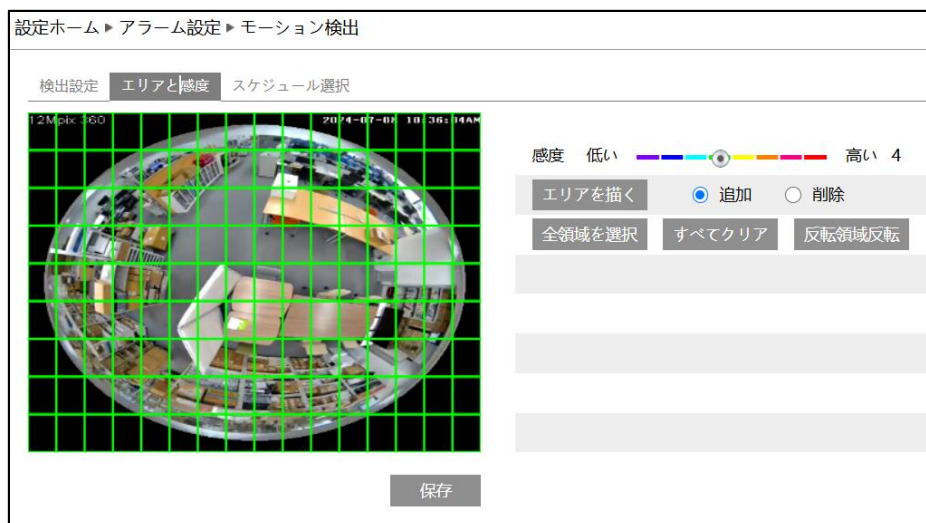
1・2 回目のアラーム持続期間経過後に「スナップショット 1 枚ずつ(計 2 枚)」、

3 回目のアラームの途中でイベントが終了し、アラーム持続期間経過後に「最後のスナップショット 1 枚」

名前	日付時刻	種類	サイズ
SENSOR1_20200221111800.txt	2020/04/23 10:20	テキストドキュメント	1 KB
SENSOR1_20200221111800_127.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	34 KB
SENSOR1_20200221111810_195.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	30 KB
SENSOR1_20200221111820_120.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	28 KB
SENSOR1_20200221111830_140.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	29 KB

➤ エリアと感度

[エリアと感度]タブを開き、モーション検出エリアと感度を設定します。



モーション検出エリアの設定

- (1) [エリアを描く] をクリックし、[追加]を選択してディスプレイ上でマウスをドラッグすると検出エリアを描画できます。[削除]を選択して検出エリア上でマウスをドラッグすると、検出エリアを一部分削除できます。



- (2) [作画終了] をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- (3) [全領域を選択] をクリックすると、全領域が検出エリアとなります。[すべてクリア] をクリックすると、検出エリアがすべて削除されます。[反転領域反転] をクリックすると、検出エリアと未検出エリアが反転します。
- (4) 感度を設定します。数値が大きいほど感度は高くなります。



- (5) [保存] をクリックし、検出エリアを保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、モーション検出のスケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ モーション検出

検出設定 エリアと感度 **スケジュール選択**

○ 削除 ● 追加 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア

一週間の日程

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
月	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
火	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
水	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
木	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
金	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								
土	00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア																								

休日設定とスケジュール

日付 07-08 + -

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00 設定を適用する 手動入力 全領域を選択 反転領域反転 クリア

保存

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程


日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

- 削除 : 録画を無効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)
- 追加 : 録画を有効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)
- 手動入力 : [削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。
- 全領域を選択 : 0 時～24 時の時間帯すべてを選択します (選択されると緑になります)
- 領域反転 : 設定されているタイムラインを反転します。
- クリア : タイムラインがクリアされます。(削除された状態 (白) となります)
- 設定を適用する : 別の曜日にスケジュールをコピーします。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムライン上でスケジュールを設定します。

削除するときは、日付を選択してから  をクリックします。

※注意：  をクリックするまでスケジュールが保存されません。

4.3.2 異常

異常アラーム関連のパラメータ、連動アラームを設定します。

➤ SD カードフル

[SD カードフル]タブを開き、SD カードの容量が一杯になったときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー IPアドレスの競合 LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム持続期間 20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	SD カードの容量が一杯になったときに通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム持続期間	アラームの持続時間を設定します。 1 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	SD カードフルでは、以下の 3 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ SD カードエラー

[SD カードエラー]タブを開き、SD カードへの書き込みにエラーが生じたときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー IPアドレスの競合 LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム持続期間 20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	SD カードへの書き込みにエラーがあることを通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム持続期間	アラームの持続時間を設定します。 1 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
アラーム出力トリガー (連携するアラーム出力)	SD カードエラーでは、以下の 3 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.3.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ IP アドレスの競合

[IP アドレスの競合]タブを開き、IP アドレスが競合したときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー **IPアドレスの競合** LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム持続期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

保存

表示	説明
有効	IP アドレスの競合を検出されたとき通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム持続期間	アラームの持続時間を設定します。 1 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	IP アドレスの競合エラーでは、以下のアラームを設定できます。 アラーム接点出力 ※各アラームの説明は、4.3.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ LAN ケーブル接続不良

[LAN ケーブル接続不良]タブを開き、ネットワーク接続にエラーが生じたときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー IPアドレスの競合 **LANケーブル接続不良**

☒ 有効

アラーム持続期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

保存

表示	説明
有効	LAN ケーブル接続不良を通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム持続期間	アラームの持続時間を設定します。 1 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
アラーム出力トリガー (連携するアラーム出力)	LAN ケーブルの接続不良では、以下のアラームを設定できます。 アラーム接点出力 ※各アラームの説明は、4.3.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

4.3.3 アラーム入力

センサーアラームの関連パラメータ、連動アラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム入力

検出設定 スケジュール選択

☒ 有効

接点形式 N.O. ▼

センサー名

アラーム持続期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

☐ 昼/夜の切り替えとの連動

保存

表示	説明
有効	アラーム入力があるときに通知する場合は、チェックを入れます。
接点形式	接点形式を選択します。 N.O. : A 接点。通常 = OFF N.C. : B 接点。通常 = ON
センサー名	表示するセンサー名を設定します。 <>などの文字は使用できません。
アラーム持続期間	アラームの持続時間を設定します。 1 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	アラーム入力では、以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送、昼/夜の切り替えとの連動 ※各アラームの説明は、4.3.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]はモーション検出、アラーム入力とイベントの各種検知機能での共通設定項目です。

4.3.1 節のモーション検知の[「スケジュール選択」](#)を参照してください。

4.3.4 アラーム接点出力

センサーアラームの出力についての関連パラメータを設定します。次の 4 つのアラーム出力モードから選択します。アラーム連動、手動操作、昼/夜の切替えとの連動、設定された時間で実行。

➤ アラーム連動

イベントの検出(モーション検出やラインクロス)に連動して、アラームを出力します。

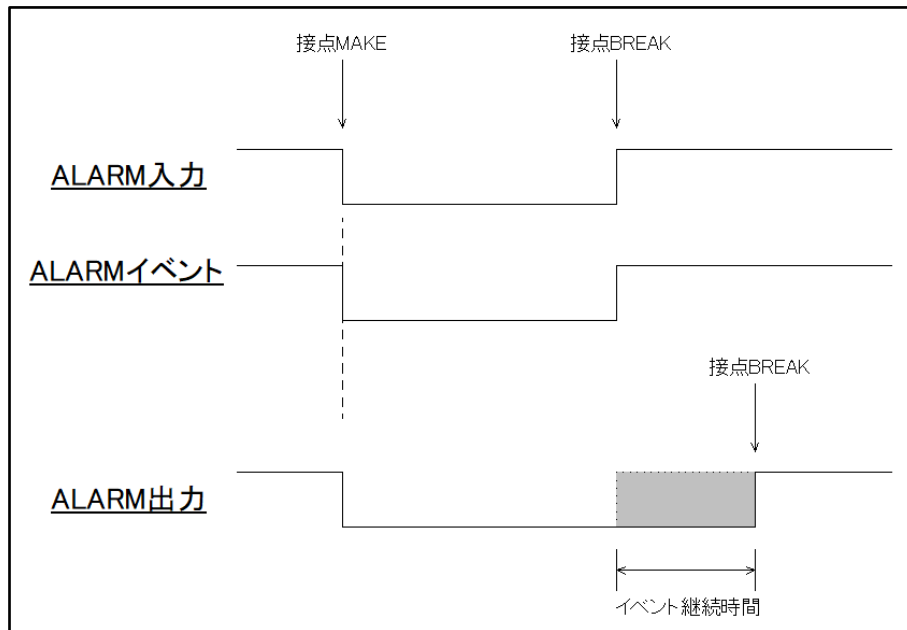
アラーム出力を行う場合、各イベントの設定で[アラーム接点出力]にチェックを入れる必要があります。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード	アラーム連動 ▼
アラーム出力名	alarmOut1
アラーム持続期間	20秒 ▼
接点形式	N.C. ▼

保存

表示	説明
アラーム出力モード	アラーム連動を選択します。
アラーム出力名	アラーム出力名を設定します。 例：alarmOut1
アラーム持続期間	アラームの持続時間を設定します。 イベントのアラーム持続時間が終了した後の、アラーム出力によるアラーム持続時間を設定します。1 秒～2 分、常時から選択します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点。通常 = OFF N.C. : B 接点。通常 = ON
保存	設定を保存します。



➤ 手動操作

手動でアラーム接点出力の ON/OFF を操作します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード 手動操作

接点形式 N.C.

手動操作 ON OFF

保存

表示	説明
アラーム出力モード	手動操作を選択します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点。通常 = OFF N.C. : B 接点。通常 = ON
手動操作	ON または OFF をクリックしてアラーム接点出力を切り替えます。 ※カメラ内部でリレーの動作音が確認できます。
保存	設定を保存します。

➤ 昼/夜の切替えとの連動

カメラが昼間モード⇔夜モードに切り替えるのと連動して、アラーム接点出力を制御します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード	昼/夜の切り替えと連動
接点形式	N.C.
昼	OFF
夜	OFF

保存

表示	説明
アラーム出力モード	昼/夜の切り替えとの連動を選択します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点。通常 = OFF N.C. : B 接点。通常 = ON
昼	昼モードの時に、アラームを ON または OFF にするのか選択します。
夜	夜モードの時に、アラームを ON または OFF にするのか選択します。
保存	設定を保存します。

➤ 設定された時間で実行

指定した時間にアラームを ON にします。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード	設定された時間で実行
接点形式	N.C.

時間範囲

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

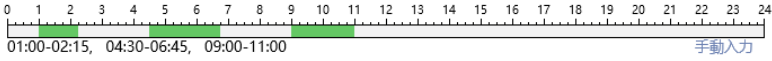
02:15-04:30, 09:45-11:45, 16:15-18:15

削除 追加

手動入力

保存

表示	説明
アラーム出力モード	設定された時間で実行を選択します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点。通常 = OFF N.C. : B 接点。通常 = ON
時間範囲	緑ラインのときに、アラームが ON になります。


	<p>削除(OFF)/追加(ON)を選択してから、手動入力をクリックして時間を指定するか、マウスをドラッグして時間を設定します。</p> 
保存	設定を保存します。

4.3.5 アラームサーバ




アラームサーバを設定します。アラームが発生すると、アラームイベントをアラームサーバに転送します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラームサーバ

サーバアドレス	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
ポート	<input type="text" value="8010"/>
ハートビート	<input type="text" value="無効にする"/>
ハートビート間隔	<input type="text" value="30"/> 秒



ハートビートとは、カメラが正常に動作していることを通知すること。また、通知の一定間隔を設定します。

表示	説明
サーバアドレス	アラームサーバ（NVMS-2.0）のアドレスを設定します。
ポート	アラームサーバ（NVMS-2.0）のポート番号を設定します。
ハートビート	カメラが正常に動作していることを通知します。
ハートビート間隔	ハートビートの通知間隔を設定します。
編集/保存	設定するとき始めに編集をクリックします。編集後、保存をクリックして設定を保存します。
 	設定したサーバアドレスを確認したいときに  をクリックします。

サーバアドレス、ポート、ハートビート、ハートビート間隔を設定します。アラームが発生すると、カメラはアラームイベントをアラームサーバに転送します。

アラームサーバが不要な場合は、この項を設定する必要はありません。

4.4 イベント設定

ターゲットカウント、ラインクロス、領域に入る、領域を出る、エリア侵入検知、集密度、ヒートマップなどのサブメニューがあります。

<div>  システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ Fisheyeパラメータ </div> <div>  画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 </div> <div>  アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ </div> <div>  イベント設定 ターゲットカウント ラインクロス 領域に入る 領域を出る エリア侵入検知 集密度 ヒートマップ </div> <div>  ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加... </div> <div>  セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理 </div> <div>  メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ デバッグモード </div>	<div> 設定ホーム ▶ イベント設定 </div> <div> イベント設定 <ul style="list-style-type: none"> ターゲットカウント ターゲットカウントは、ラインを横切る人と車両の数を数えます。 ラインクロス 指定したラインを指定方向に超えたことを検知します 領域に入る 指定されたエリアに進入する人と車両のフロー情報を計算します。 領域を出る 指定されたエリアを出る人と車両のフロー情報を計算します。 エリア侵入検知 指定した領域に外部から侵入したことを検知します。 集密度 指定した領域での群衆の密度を検知します。 ヒートマップ 特定地域の人や車両の分布情報を計算します。 </div>
---	---

※「車両」「オートバイ/自転車」の検出は壁面モードのみ

壁面モードの切り換えは、「4.1.5 Fisheye パラメータ（魚眼パラメータ）」の設置状態で設定します。

4.4.1 ターゲットカウント（ライン通過カウント）

カウントラインを設定して、ラインを IN 方向（入）、OUT 方向（出る）に通過する人、車両、オートバイ・自転車の数を、IN/OUT 別々にカウントします。

「IN-OUT＝滞在」数を自動的に計算し、滞在数の閾値を設定し、閾値を超えると通知します。

また、チャート機能では、日、週、月、年のカウントレポートを表示することができます。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定したラインを通過する人や車両、オートバイ・自転車のアラーム設定をします。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ターゲットカウント

検出設定

エリア

スケジュール選択

☒ 有効

☐ 元の画像をSDカードに保存

☐ ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット	感度	滞在しきい値
<input checked="" type="checkbox"/> 人間	<div><div></div></div> 50	<input type="text" value="0"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 車両	<div><div></div></div> 50	<input type="text" value="0"/>
<input checked="" type="checkbox"/> オートバイ/自転車	<div><div></div></div> 50	<input type="text" value="0"/>

☐ ロングコネクションでターゲット軌道をブッシュ

☐ Close Event Snapshot

カウントリセット

設定された時間で実行

オフ

マニュアル

リセット

アラーム持続期間

20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力



☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

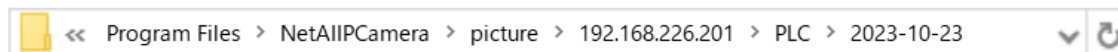
保存

表示	説明
有効	<p>ラインの通過によるカウントを有効にする場合は、チェックを入れます。</p> <p>有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。</p> <p>ライン通過を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。</p>
元の画像を SD カードに保存	<p>ラインの通過を検出時に全景（第 1 ストリーム）をキャプチャします。</p> <p>キャプチャ画像はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。</p>
ターゲット画像を SD カードに保存	<p>ラインの通過を検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。</p> <p>ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。</p>
検出対象	<p>ラインの通過を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>滞在数（IN-OUT）の閾値を設定して、閾値を超えるとアラームを発報します。</p> <p>※検出ターゲット選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間 ・車両(4 輪車かそれ以上の車輪数の車両) ・オートバイ/自転車（二輪車） <p>検出エリア内での滞在検出時間を滞在しきい値として設定します。</p> <p>※感度設定について</p> <p>ターゲットの検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u></p> <p>人間：緑色枠</p> <p>車両：紫色枠</p> <p>オートバイ/自転車：水色枠</p> <p>設定したライン：青色線</p> <p><u>検出時</u></p> <p>ターゲット：黄色枠</p> <p>ライン：赤色線</p>
ロングコネクションでターゲット軌道をプッシュ	<p>Long Pooling API を使うと、ターゲットの軌跡（移動座標）情報を連続して取得することができます。有効にすると、カメラは検出したターゲットの座標情報をプッシュ送信します。無効にすると、カウントラインを通過したターゲットの軌跡をプッシュします。</p>
Close Event Snapshot	<p>有効に設定すると、ターゲットをカウント時にキャプチャされた画像は、SD カード、ローカル PC に保存されず、NVR、モバイルアプリ、CMS/VMS などにも送信されません。</p>

カウントリセット	<p>[設定された時間で実行]で、カウントリセットの間隔を設定します。</p> <p>毎日：時間を指定します。</p> <p>毎週：曜日(日～土)と時間を指定します。</p> <p>毎月：日にち(1～31)と時間を指定します。</p> <p>オフ：カウントリセットはしません。</p> <p>マニュアル：リセット をクリックして、手動でリセットを行います。</p>
アラーム持続期間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>1 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、4.3.1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	設定を保存します。

※1:ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 ローカル設定」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PLC > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、ターゲットカウン트의検出ラインを描画します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ターゲットカウント

検出設定 **エリア** スケジュール選択

1.2Mpix 30G

2023-10-23 10:10:10

エリアを描く クリア

検出ライン

検出方向

☒ 統計

OSD

☒ スタート

☒ 終了

☒ ステイ

しきい値未満

しきい値を超えています

表示		説明
検出ライン	検出ライン	検出ラインを選択します。検出ラインは最大 1 パターン設定できます。
	検出方向	設定した検出ラインを通過する方向を設定します。 A → B、B → A
OSD	統計	画面に統計情報を表示する場合はチェックします。
	スタート、他	OSD に表示する文字を変更できます。
エリアを描く		検出ラインを画面上に描画します。
クリア		設定した検出ラインを削除します。
保存		設定を保存します。

ターゲットカウントのライン設定

- ① 検出ラインは 1 つのみ設定できます。

ラインに対する A エリアと B エリアの検出方向を設定します。

A → B : A から B を Entrance（入る）、B から A を Exit（出る）でカウントします。

A ← B : A から B を Exit（出る）、B から A を Entrance（入る）でカウントします。



- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でドラッグし検出ラインを作成します。
- ③ **クリア** をクリックすると、検出ラインが削除されます、
- ④ Entrance（入る）と Exit（出る）のカウントを表示します。右上の赤枠をドラッグすると表示位置を変更できます。
- ⑤ **保存** をクリックし、検出ラインを保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]はモーション検出、アラーム入力とイベントの各種検知機能での共通設定項目です。

4.3.1 項 モーション検知の「[スケジュール選択](#)」を参照してください。

4.4.2 ラインクロス（ライン越え検知）

設定したラインを検出対象が指定方向に通過したことを検知します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、ラインクロスによるアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ラインクロス

検出設定
エリア
スケジュール選択

☒ 有効
☐ 元の画像をSDカードに保存
☐ ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット
感度

☒ 人間
☒ 車両
☒ オートバイ/自転車

50
50
50



☐ ロングコネクションでターゲット軌道をプッシュ
アラーム持続期間
20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ 写真をSDカードに保存
☐ SDカード録画
☐ メールを送信
☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	ラインクロスを有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 ラインクロスを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
元の画像をSDカードに保存	ラインクロス検出時に全景（第1ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカルPC※1またはSDカード※2に保存されます。

ターゲット画像を SD カードに保存	<p>リンクロスで検出した全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。</p> <p>ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。</p>
検出対象	<p>リンクロスを検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>※検出ターゲット選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間 ・車両(4 輪車かそれ以上の車輪数の車両) ・オートバイ/自転車 (二輪車) <p>※感度設定について</p> <p>ターゲットの検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u></p> <p>人間：緑色枠</p> <p>車両：紫色枠</p> <p>オートバイ/自転車：水色枠</p> <p>設定したライン：青色線</p> <p><u>検出時</u></p> <p>ターゲット：黄色枠</p> <p>ライン：赤色線</p>
ロングコネクションでターゲット軌道をプッシュ	<p>Long Pooling API を使うと、ターゲットの軌跡 (移動座標)情報を連続して取得することができます。有効にすると、カメラは検出したターゲットの座標情報をプッシュ送信します。無効にすると、カウントラインを通過したターゲットの軌跡をプッシュします。</p>
アラーム持続期間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>1 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、4.3.1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	<p>設定を保存します。</p>

※1:ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 **ローカル設定**」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、ラインクロスを検出エリアを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ラインクロス

検出設定 **エリア** スケジュール選択

12Mpix 360

検出ライン

 検出方向

エリアを描く クリア

保存

表示		説明
検出ライン	検出ライン	検出ラインを選択します。検出ラインは最大 4 パターン設定できます。
	検出方向	設定した検出ラインを通過する方向を設定します。 A → B、B → A、A ⇔ B
エリアを描く		検出ラインを画面上に描画します。
クリア		設定した検出ラインを削除します。
保存		設定を保存します。

ラインクロスのライン設定

- ① 検出ラインと検出方向を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でドラッグし検出ラインを引きます。
- ③ **クリア** をクリックすると、検出ラインが削除されます
- ④ **保存** をクリックし、検出ラインを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]はモーション検出、アラーム入力とイベントの各種検知機能での共通設定項目です。

4.3.1 項 モーション検知の「[スケジュール選択](#)」を参照してください。

4.4.3 領域に入る（エリア侵入検知）

指定したエリアに侵入する人や車両を検出します。検出のタイミングは、検出エリアを囲む線を、エリアの内側方向に跨いだ時です。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定領域に入ったときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 領域に入る

検出設定
エリア
スケジュール選択

☒ 有効
☐ 元の画像をSDカードに保存
☐ ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット
人間
車両
オートバイ/自転車

感度

50

50

50



☐ ロングコネクションでターゲット軌道をブッシュ
アラーム持続期間
20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ 写真をSDカードに保存
☐ SDカード録画
☐ メールを送信
☐ FTPファイル転送

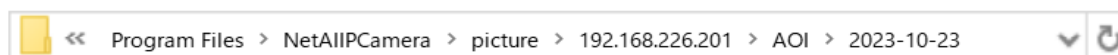
保存

表示	説明
有効	領域侵入による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 領域侵入を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。

元の画像を SD カードに保存	領域侵入を検出時に全景（第 1 ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
ターゲット画像を SD カードに保存	領域侵入を検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
検出対象	<p>領域侵入を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>※検出ターゲット選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間 ・車両(4 輪車かそれ以上の車輪数の車両) ・オートバイ/自転車（二輪車） <p>※感度設定について</p> <p>ターゲットの検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u></p> <p>人間：緑色枠</p> <p>車両：紫色枠</p> <p>オートバイ/自転車：水色枠</p> <p>設定したライン：青色線</p> <p><u>検出時</u></p> <p>ターゲット：黄色枠</p> <p>ライン：赤色線</p>
ロングコネクションでターゲット軌道をプッシュ	Long Pooling API を使うと、ターゲットの軌跡（移動座標）情報を連続して取得することができます。有効にすると、カメラは検出したターゲットの座標情報をプッシュ送信します。無効にすると、カウントラインを通過したターゲットの軌跡をプッシュします。
アラーム持続期間	アラームの持続時間を設定します。 1 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、4.3.1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	設定を保存します。

※1:ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 ローカル設定」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > AOI > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」にチェックを入れて有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、領域侵入の検出エリアを描画します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 領域に入る

検出設定 **エリア** スケジュール選択

12Mpix 360

2023-10-27 10:07:10 02:07:10

検出領域

1

エリアを描く

クリア

保存

表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
エリアを描く	検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むように 4 ～ 6 ポイントをクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

領域に入る エリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤のマーカを 4～6 ヶ所置き、線で繋ぎ検出エリアを作成します。
- ③ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ④ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]はモーション検出、アラーム入力とイベントの各種検知機能での共通設定項目です。

4.3.1 項 モーション検知の「[スケジュール選択](#)」を参照してください。

4.4.4 領域を出る（エリア退出検知）

指定したエリアから退出する人や車両を検出します。検出のタイミングは、検出エリアを囲む線を、エリアの外側方向に跨いだ時です。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定領域から出るときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 領域を出る

検出設定 エリア スケジュール選択

☒ 有効

☐ 元の画像をSDカードに保存

☐ ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット	感度
<input checked="" type="checkbox"/> 人間	<div><div></div></div> 50
<input checked="" type="checkbox"/> 車両	<div><div></div></div> 50
<input checked="" type="checkbox"/> オートバイ/自転車	<div><div></div></div> 50

☐ ロングコネクションでターゲット軌道をプッシュ

アラーム持続期間

20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力



☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

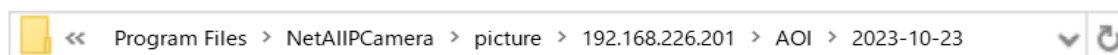
保存

表示	説明
有効	領域退出による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 領域退出を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。

元の画像を SD カードに保存	領域退出を検出時に全景（第 1 ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
ターゲット画像を SD カードに保存	領域退出を検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
検出対象	<p>領域退出を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>※検出ターゲット選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間 ・車両(4 輪車かそれ以上の車輪数の車両) ・オートバイ/自転車（二輪車） <p>※感度設定について</p> <p>ターゲットの検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u></p> <p>人間：緑色枠</p> <p>車両：紫色枠</p> <p>オートバイ/自転車：水色枠</p> <p>設定したライン：青色線</p> <p><u>検出時</u></p> <p>ターゲット：黄色枠</p> <p>ライン：赤色線</p>
ロングコネクションでターゲット軌道をプッシュ	Long Pooling API を使うと、ターゲットの軌跡（移動座標）情報を連続して取得することができます。有効にすると、カメラは検出したターゲットの座標情報をプッシュ送信します。無効にすると、カウントラインを通過したターゲットの軌跡をプッシュします。
アラーム持続期間	アラームの持続時間を設定します。 1 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、4.3.1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	設定を保存します。

※1:ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 ローカル設定」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > AOI > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」にチェックを入れて有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、領域退出の検出エリアを描画します。



表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
エリアを描く	検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むように 4 ～ 6 ポイントをクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

領域を出す エリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤のマーカーを 4～6 ヶ所置き、線で繋ぎ検出エリアを作成します。
- ③ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ④ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]はモーション検出、アラーム入力とイベントの各種検知機能での共通設定項目です。

4.3.1 項 モーション検知の「[スケジュール選択](#)」を参照してください。

4.4.5 エリア侵入検知（エリア内活動検知）

指定したエリア内で活動する人や車両を検知します。エリア内で静止している場合検知しません。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定したエリア内の活動を検出したときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ エリア侵入検知

検出設定
エリア
スケジュール選択

☒ 有効
☐ 元の画像をSDカードに保存
☐ ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット	感度
<input checked="" type="checkbox"/> 人間	<div><div></div></div> 50
<input checked="" type="checkbox"/> 車両	<div><div></div></div> 50
<input checked="" type="checkbox"/> オートバイ/自転車	<div><div></div></div> 50



☐ ロングコネクションでターゲット軌道をプッシュ
アラーム持続期間 20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ 写真をSDカードに保存
☐ SDカード録画
☐ メールを送信
☐ FTPファイル転送

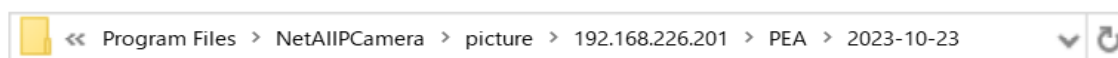
保存

表示	説明
有効	エリア侵入による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 エリア侵入を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
元の画像をSDカードに保存	エリア侵入による検出時に全景（第1ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカルPC※1またはSDカード※2に保存されます。

ターゲット画像を SD カードに保存	<p>エリア侵入による検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。</p> <p>ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。</p>
検出対象	<p>エリア侵入を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>※検出ターゲット選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間 ・車両(4 輪車かそれ以上の車輪数の車両) ・オートバイ/自転車 (二輪車) <p>※感度設定について</p> <p>ターゲットの検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u></p> <p>人間：緑色枠</p> <p>車両：紫色枠</p> <p>オートバイ/自転車：水色枠</p> <p>設定したライン：青色線</p> <p><u>検出時</u></p> <p>ターゲット：黄色枠</p> <p>ライン：赤色線</p>
ロングコネクションでターゲット軌道をプッシュ	<p>ターゲットの軌跡（移動座標）を永続的な接続を持つ API テスト ツールにプッシュします。有効にすると、システムはターゲットを検出するとターゲットの軌跡をプッシュします。無効にすると、システムはラインによるターゲット カウントをトリガーするときのみターゲットの軌跡をプッシュします。</p>
アラーム持続期間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>1 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、4.3.1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	<p>設定を保存します。</p>

※1:ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 **ローカル設定**」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、エリア侵入検知の検出エリアを描画します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ エリア侵入検知

検出設定 **エリア** スケジュール選択

1.2Mpix 360°

2024-07-10 03:10:10PM

検出領域

1

エリアを描く クリア

保存

表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
エリアを描く	検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むように 4～6 ポイントをクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

エリア侵入検出 エリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤のマーカを 4～6 ヶ所置き、線で繋ぎ検出エリアを作成します。
- ③ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ④ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]はモーション検出、アラーム入力とイベントの各種検知機能での共通設定項目です。

4.3.1 項 モーション検知の「[スケジュール選択](#)」を参照してください。

4.4.6 集密度（群衆密度）

指定したエリアの密度を検知します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定したエリアの密度に応じてアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 集密度

検出設定

エリア

スケジュール選択

☒ 有効

リフレッシュ周期

1秒

密度アラームの閾値

50%

アラーム持続期間

20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力



☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	集密度（群衆密度）による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 密度アラームの閾値を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
リフレッシュ周期	集密度（群衆密度）を検出する周期を設定します。 0.5 秒、1 秒、1.5 秒、2 秒から選択します。
密度アラームの閾値	アラームを出力する閾値（しきい値）を設定します。
アラーム持続期間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。

連携するアラーム出力	<p>以下の5つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真をSDカードに保存、SDカード録画、メールを送信、FTPファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、4.3.1の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	設定を保存します。

※1:ローカルPCに保存する場合は、「4.1.3 **ローカル設定**」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IPアドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SDカードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真をSDカードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、集密度（群衆密度）の検出エリアを描画します。



表示	説明
エリアを描く/作図終了	集密度（群衆密度）検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上をドラッグして描画します。 最初は黄色枠が中央に設定されています。クリアを押して黄色枠を削除してから作成します。 （黄色枠の中で検出します。検出領域は 1 か所設定できます。）
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

集密度（群衆密度）検出 エリア設定

- ① **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でドラッグして集密度（群衆密度）検出エリアを作成します。検出エリアは最大 1 か所設定できます。
- ② **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- ③ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ④ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]はモーション検出、アラーム入力とイベントの各種検知機能での共通設定項目です。

4.3.1 項 モーション検知の「[スケジュール選択](#)」を参照してください。


4.4.7 ヒートマップ

あらかじめ設定したエリア内の人の動線分布を色分けして表示します。

人の集まるエリアや動線などを色分け表示して可視化する機能です。※天井モードで動作する機能です。天井モードの切り換えは、「4.1.5 Fisheye パラメータ（魚眼パラメータ）」の設置状態で設定します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、検出対象を設定します。

表示	説明
有効	ヒートマップを有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。
検出対象	ヒートマップを検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。 ※検出ターゲット選択 ・人間 ※感度設定について ターゲットの検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。 ライブ画面上では、以下のように表示されます。 <u>通常時</u> 人間：緑色枠 設定したライン：青色線 <u>検出時</u> ターゲット：黄色枠 ライン：赤色線
保存	設定を保存します。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、ヒートマップ検出エリアを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ヒートマップ

検出設定 **エリア** スケジュール選択



検出領域 1

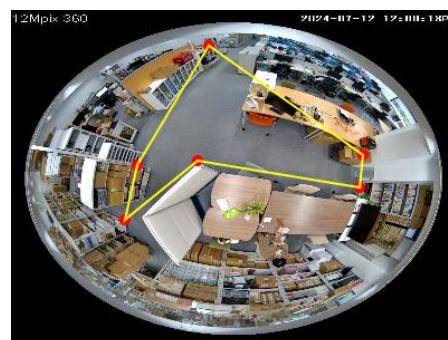
作図終了
クリア

保存

表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
エリアを描く	検出エリアを画面の上に描画します。 マウスで画面の上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むように 4～6 ポイントをクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

ヒートマップ エリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② エリアを描く をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤のマーカを 4～6 ヶ所置き、線で繋ぎ検出エリアを作成します。
- ③ クリア をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ④ 保存 をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]はモーション検出、アラーム入力とイベントの各種検知機能での共通設定項目です。

4.3.1 項 モーション検知の「[スケジュール選択](#)」を参照してください。

4.5 ネットワーク

TCP/IP、ポート、サーバ、ONVIF、DDNS、SNMP、802.1X、RTSP、RTMP、UPnP、Email、FTP、HTTP POST、HTTPS、P2P、QoS などのサブメニューがあります。

<div>  システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ Fisheye/カメラータ </div> <div>  画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 </div> <div>  アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ </div> <div>  イベント設定 ターゲットカウント リンクロス 領域に入る 領域を出る エリア侵入検知 集密度 ヒートマップ </div> <div>  ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加... </div> <div>  セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理 </div> <div>  メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ デバッグモード </div>	<div> 設定ホーム ▶ ネットワーク設定 </div> <div> ネットワーク設定 <ul style="list-style-type: none"> TCP/IP ネットワークを設定します。(IPアドレス、DNSサーバ、PPPoEなど) ポート HTTP、HTTPS、データ、RTSPなどのポート設定 サーバ 認証サーバを設定します。 ONVIF 統合プロトコルユーザーは、RTSPおよびOnvifプロトコルのログイン管理に適用されます。Onvifプロトコルの追加、変更、削除、およびクエリは、統合プロトコルのユーザーを操作しています。 DDNS DDNSサーバを設定します。 SNMP ネットワーク機器を監視してネットワーク障害の原因を把握します。 802.1X デバイスの認証モードを手動で選択できるようにします。 RTSP リモートビデオストリーミングを使用する場合はRTSPを設定します。 RTMP リモートビデオストリーミングのRTMP設定と構成。 UPnP ネットワークに接続する機器同士の接続を簡単にします。 Email メール設定を行います。 FTP FTPサーバを設定します。 HTTP POST デバイスからの通知やアラームなどを受信するために使用できるHTTPPOSTサーバをセットアップします。 HTTPS httpsはSSLを利用したhttp通信です。SSLは通信を暗号化し、安全に情報を取り扱うことができます。 P2P P2Pファンクションを有効にすると、デバイスID等を使用して、VMSやモバイル端末でインターネットからデバイスにアクセスできます。 QoS ネットワーク機器に QoSを実装することで、特定の通信を優先して伝送させたり、帯域幅を確保することができます。 </div>
---	--

4.5.1 TCP/IP

ネットワークの設定を行います。（IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、PPPoE など）

➤ IPv4 アドレス

IPv4 の設定方法


◆ 自動的に IP アドレスを取得する

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

◆ 以下の IP アドレスを使う

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを手動で設定・変更する必要があります。

 をクリックすると、IP アドレスが使えるのか(競合していないか)確認することができます。

 をクリックして、設定を保存します。

➤ IPv6 アドレス

IPv6 の設定方法

◆ 自動的に IP アドレスを取得する

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

◆ 以下の IP アドレスを使う

IP アドレス、サブネットプレフィックス長さ、ゲートウェイを手動で設定・変更する必要があります

➤ PPPoE 設定

編集

をクリックしてから「有効」にチェックを入れ、PPPoE を有効にします。

ISP(プロバイダ)から提供された、ユーザ名とパスワードを入力します。

WAN IP を取得すると、インターネットに接続できます。

保存

をクリックして、設定を保存します。

➤ IP 変更通知設定

デバイスの IP アドレスを変更すると、新しい IP アドレスが自動的にメールまたは FTP に送信されます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 **IP変更通知設定**

☒ メールを送信

Receiver Name	メールの送信先
<input type="checkbox"/> 佐藤	AA***@*****.jp
<input type="checkbox"/> 鈴木	BBB***@*****.jp
<input type="checkbox"/> 高橋	CCC***@*****.com

☒ FTPファイル転送

サーバ名	サーバアドレス
<input type="checkbox"/> FTP SERVER	172.***.***.3

保存

[メールを送信]にチェックを入れると、E メールによる通知が有効になります。

通知メールの送信先をリストから選択します。

※E メール通知の送受信に関する設定は、「4.5.11 **Email**」で事前に行う必要があります。

[FTP ファイル転送]にチェックを入れると、FTP サーバへのファイル転送が有効になります。

FTP サーバをリストから選択します。

※FTP サーバに関する設定は、「4.5.12 **FTP**」で事前に行う必要があります。

保存 をクリックして、設定を保存します。

4.5.2 ポート

HTTP、HTTPS、データ、RTSP のポート番号を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート	サーバー	ONVIF	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTP POST	HTTPS	P2P	QoS
HTTPポート	<input type="text" value="80"/>													
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>													
データポート	<input type="text" value="9008"/>													
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>													
ロングポーリングポート	<input type="text" value="8080"/> <input checked="" type="checkbox"/> 有効													
WebSocketポート	<input type="text" value="7681"/>													

表示	説明
HTTP ポート	HTTP プロトコルで制御を行うポートです。(初期値 : 80)
HTTPS ポート	HTTPS プロトコルで制御を行うポートです。(初期値 : 443)
データポート	カメラ制御を行うポートです。(初期値 : 9008)
RTSP ポート	RTSP プロトコル制御を行うポートです。(初期値 : 554)
ロングポーリングポート	Long Polling により HTTP でスマート検出データをプッシュ送信します。 (初期値 : 8080)
WebSocket ポート	Edge、Chrome (プラグインフリー) で映像を表示するための通信ポート です。(初期値 : 7681)
保存	設定を保存します。

をクリックして、設定を保存します。

4.5.3 サーバ

CMS/VMS の認証サーバにプッシュで接続する場合に設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート **サーバー** ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS P2P QoS

☐ 有効

サーバポート

サーバアドレス

デバイスID

 **編集**

サーバを設定します。

- ① **編集** をクリックしてから「有効」にチェックを入れ、サーバを有効にします。
- ② CMS/VMS の映像転送サーバの IP アドレスとオートリポート番号を確認します。

デフォルトのオートリポート番号は 2009 です。



ServerTrayUI

サーバ	状態	操作	ポート	設定
管理サーバ	実行中		6003/7001	設定
データベースサーバ	実行中			設定
設定サーバ	実行中		7002	適用
HTTPサーバ	実行中		8080	適用
映像転送サーバ	実行中		6006/2009	設定
録画サーバ	実行中			
アラームサーバ	実行中			
アクセス制御サーバ	実行中			
ビデオウォールサーバ	実行中			
映像分析サーバ	実行中			
映像転送サーバ	実行中			
アプリケーション・サーバ	実行中		6093	適用

サーバIPアドレス:
192.168.122.180
192.168.111.6

総実行時間:
6日5時間26分47秒

映像転送サーバ設定

ポート: 6006
オートリポート: 2009
OK キャンセル

- ③ 上記で確認したサーバポート/IP アドレス/デバイス ID を入力して **保存** をクリックして設定を保存します。デバイス ID は任意の数字です。
- ④ CMS/VMS の「デバイス管理→デバイスの追加と編集→追加されていないオートリポートデバイス」を開きます。

追加エンコードデバイス

かんたん追加 手動追加 オートリポート追加 追加されていないオートリポートデバイス

更新

<input type="checkbox"/>	デバイス名	ID番号	プロトコル	映像転送サ...
<input type="checkbox"/>	32	32	標準IPC/NVR/DVR	映像転送サ バー

映像転送サーバ選択 映像転送サーバ

グループ選択 Hytec

録画サーバ選択 録画サーバ

デバイスグループを追加 ☐ グループを自動で作成する

デフォルトパスワード OK 取消

- ⑤ CMS/VMS に未登録のデバイスが表示されていますので、左端の☐を有効にして、OK をクリックして CMS/VMS にデバイスを登録します。

4.5.4 ONVIF

ONVIF プロトコルで操作できるユーザを登録します。初期設定では Onvif ユーザは未登録ですので本機に Onvif プロトコルではアクセスできません。（この機能は、ONVIF プロトコルを装備したカメラのみ利用できます。）

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー **ONVIF** DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS P2P QoS

追加 変更 削除

インデックス	ユーザー名	ユーザー区分
1	admin	管理者

[追加]ボタンをクリックしてユーザを追加します。ユーザ名、パスワード、ユーザ区分を入力して[OK]をクリックします。ヒントに従ってパスワードを設定してください。

ユーザーの追加 ×

ユーザー名

パスワード

レベル

パスワードは、数字、特殊文字、大文字または小文字で構成できます。

パスワード確認

ユーザー区分

OK キャンセル

パスワードを変更する場合は、該当ユーザを選択して[変更]ボタンをクリックします。

ユーザを削除したい場合は、該当ユーザを選択して[削除]ボタンをクリックします。

注意

ユーザ名：**最大 15 文字** 英数字のみ、記号**不可**
 パスワード：**最大 16 文字** 英数字 と 記号**可**

4.5.5 DDNS

DDNS 設定方法

複数の DDNS サービスが登録されていますので好みのサービスを選択してください。
サーバタイプのプルダウンから DDNS サービスを選択して、ユーザ名、パスワード、ドメイン名を入力します。
これらの入力する情報は、各 DDNS サービスのウェブサイトで事前に登録しておく必要があります。

《例 1》 www.dvrdydns.com の場合

- ① IE アドレスバーに **www.dvrdydns.com** を入力し、DDNS ウェブサイトにアクセスしてください。

- ② [Registration（登録）] ボタンをクリックすると、以下のインタフェースに進みます。
DDNS アカウント情報（ユーザ名、パスワードなど）を設定し、[Submit（送信）] ボタンをクリックして、アカウントを保存します。

- ③ ドメイン名を作成し、[Request Domain（ドメインの要求）]をクリックします。

- ④ ドメイン名を要求すると、ドメイン名の情報がリストに表示されます。

- ⑤ DDNS 設定を開きます。編集 をクリックしてから有効にチェックを入れ、DDNS を有効にします。DDNS タイプは www.dvrddns.com を選択します。登録したユーザ名、パスワード、ドメイン名を入力し、[保存]をクリックします。

- ⑥ インターネットから本機にアクセスするには、ブラウザのアドレスバーに http://www.xxx.dvrddns.com:81 のような登録済みのドメイン名と HTTP ポートを入力します。「2.2 WAN」を参照してください。

《例 2》 www.autoddns.com の場合

www.autoddns.com は無償提供の DDNS サービスです。以下の手順で設定します。

- ① サーバタイプ:www.autoddns.com を選択します。

ユーザ名は任意の文字列を入力します。入力した文字列がドメイン名になります。

設定ホーム > ネットワーク設定 > 高度な設定

ポート サーバー ONVIF **DDNS** SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS P2P QoS

☒ 有効

サーバタイプ

ユーザー名

保存

- ② インターネットから本機にアクセスするには、ブラウザのアドレスバーに <http://ドメイン名:81> ドメイン名と HTTP ポート（例 http://hytecinter_test100.autoddns.com:81）を入力します。
「2.2 **WAN**」を参照してください。

4.5.6 SNMP（未サポート）

SNMP を設定します。

SNMP 機能は、カメラのステータスやパラメータ、アラーム情報を取得し、カメラをリモートで管理できます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート

サーバー

ONVIF

DDNS

SNMP

802.1X

RTSP

RTMP

UPnP

Email

FTP

HTTP POST

HTTPS

P2P

QoS

SNMP v1/v2

☐ SNMPv1を有効にする

☐ SNMPv2を有効にする

読み込み専用コミュニティ名

public

書き込み専用コミュニティ名

private

トラップアドレス

192. **. *. 201

トラップポート

162

トラップグループ名

public

SNMP v3

☐ SNMPv3を有効にする

ユーザー名のリード

public

セキュリティレベル

auth, priv

認証アルゴリズム

☒ MD5
 ☐ SHA

認証パスワード

秘密鍵アルゴリズム

☒ DES
 ☐ AES

秘密鍵パスワード

ユーザー名を書く

private

セキュリティレベル

auth, priv

認証アルゴリズム

☒ MD5
 ☐ SHA

認証パスワード

秘密鍵アルゴリズム

☒ DES
 ☐ AES

秘密鍵パスワード

SNMPその他の設定

SNMPポート

161

編集

➤ SNMP v1/v2

編集 をクリックしてから[SNMPv1 を有効にする][SNMPv2 を有効にする]にチェックを入れ、SNMP v1/v2 を有効にします。

SNMP v1/v2	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv1を有効にする	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv2を有効にする	
読み込み専用コミュニティ名	<input type="text" value="public"/>
書き込み専用コミュニティ名	<input type="text" value="private"/>
トラップアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/>
トラップポート	<input type="text" value="162"/>
トラップグループ名	<input type="text" value="public"/>

表示	説明
読み込み専用コミュニティ名	Read-only。SNMP による読み取り専用のコミュニティ名を入力します。
書き込み専用コミュニティ名	Read-write。SNMP による読み書き専用のコミュニティ名を入力します。
トラップアドレス	トラップ送信先 SNMP マネージャの IP アドレスを入力します。
トラップポート	トラップポートを入力します。
トラップグループ名	トラップのコミュニティ名を入力します。
保存	設定を保存します。

➤ SNMP v3

編集

をクリックしてから[SNMPv3 を有効にする]にチェックを入れ、SNMP v3 を有効にします。

SNMP v3	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv3を有効にする	
ユーザ名のリード	<input type="text" value="public"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="text" value="....."/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="text" value="....."/>
ユーザ名を書く	<input type="text" value="private"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="text" value="....."/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="text" value="....."/>

表示	説明
ユーザ名のリード	SNMP による読み取り専用のユーザ名を入力します。
ユーザ名を書く	SNMP による読み書き専用のユーザ名を入力します。
セキュリティレベル	ユーザ認証には 3 つのセキュリティレベルがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ auth, priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化あり。 ・ auth, no priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化なし。 ・ no auth, no priv : ユーザ名のみで認証。暗号化なし。
認証アルゴリズム	認証方式を MD5 または SHA から選択します。
認証パスワード	認証パスワードを設定します。
秘密鍵アルゴリズム	暗号化方式を DES または AES から選択します。
秘密鍵パスワード	暗号化パスワードを設定します。
保存	設定を保存します。

➤ SNMP その他の設定

SNMP ポートを設定して、**保存** をクリックします。

SNMPその他の設定	
SNMPポート	<input type="text" value="161"/>
<input type="button" value="保存"/>	

4.5.7 802.1X


802.1X を設定します。

有効にすると、カメラのデータを保護できます。カメラが IEEE802.1x で保護されたネットワークに接続されている場合、ユーザ認証が必要です。

この機能を使用するためには、802.1x プロトコルをサポートするスイッチにカメラを接続する必要があります。スイッチはローカルネットワークでデバイスを識別するための認証システムとして利用できます。

スイッチのネットワーク・インターフェースに接続されたカメラが、スイッチの認証に合格すると、ローカルネットワーク経由でアクセスできます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート	サーバー	ONVIF	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTP POST	HTTPS	P2P	QoS
<input type="checkbox"/> 有効														
プロトコルタイプ		EAP_MD5												
EAPOLバージョン		1												
ユーザー名														
パスワード													
パスワード確認													
 編集														

802.1X の設定方法

- ① 編集 をクリックしてから「有効」にチェックを入れ、802.1X 認証を有効にします。
- ② プロトコルタイプと EAPOL バージョンは、デフォルト設定でご使用ください。
- ③ ユーザ名とパスワードは、認証サーバに登録されているユーザ名とパスワードを入力してください。
- ④ 保存 をクリックして設定を保存します。

4.5.8 RTSP

RTSP を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X **RTSP** RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS P2P QoS

☒ 有効


ポート

アドレス

マルチキャストアドレス

第1ストリーム	<input type="text" value="239. ***. ***.0"/>	<input type="text" value="50554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
第2ストリーム	<input type="text" value="239. ***. ***.1"/>	<input type="text" value="51554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
第3ストリーム	<input type="text" value="239. ***. ***.2"/>	<input type="text" value="52554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
4ストリーム	<input type="text" value="239. ***. ***.3"/>	<input type="text" value="53554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
5ストリーム	<input type="text" value="239. ***. ***.4"/>	<input type="text" value="54554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
Six stream	<input type="text" value="239. ***. ***.5"/>	<input type="text" value="55554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
Seven stream	<input type="text" value="239. ***. ***.6"/>	<input type="text" value="56554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
Eight stream	<input type="text" value="239. ***. ***.7"/>	<input type="text" value="57554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
Nine stream	<input type="text" value="239. ***. ***.8"/>	<input type="text" value="58554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
音声	<input type="text" value="239. ***. ***.0"/>	<input type="text" value="50554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート

☐ 匿名ログイン許可 (ユーザー名およびパスワード不要)

 [編集](#)

[編集](#) をクリックしてから「有効」にチェックを入れ、RTSP を有効にします。

- ポート : 「4.5.2 ポート」の RTSP ポートと連動しています。
- アドレス : VLC プレーヤーなどで再生する時に使用する RTSP アドレスを表示します。

【例】 RTSP アドレス (ユニキャスト) 。IP アドレスが 192.168.1.226 の場合。

第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile1

第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile2

第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile3

第 4 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile4

第 5 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile5

第 6 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile6

第 7 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile7

第 8 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile8

第 9 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile9

- マルチキャストアドレス : マルチキャストアドレス、ポート番号を設定します。

【例】 RTSP アドレス (マルチキャスト) 。IP アドレスが 192.168.1.226 の場合。

第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile1?transportmode=mcast

第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile2?transportmode=mcast

第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile3?transportmode=mcast

第 4 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile4?transportmode=mcast

第 5 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile5?transportmode=mcast

第 6 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile6?transportmode=mcast

第 7 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile7?transportmode=mcast

第 8 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile8?transportmode=mcast

第 9 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile9?transportmode=mcast

カメラ起動時に、自動的に配信開始したい場合は、[自動スタート]をチェックします。

- [匿名ログインを許可する (ユーザ名またはパスワードは不要)] に、チェックを入れると RTSP 認証を省いて再生できます。

4.5.9 RTMP

RTMP を設定します。YouTube 配信に使用します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP **RTMP** UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS P2P QoS

☐ 有効

ストリーム形式: ☒ 第1ストリーム ☐ 第2ストリーム ☐ 第3ストリーム ☐ 4ストリーム ☐ 5ストリーム ☐ Six stream
☐ Seven stream ☐ Eight stream ☐ Nine stream

タイムアウト後に再接続する 秒

サーバアドレス

接続状態



編集 をクリックしてから「有効」にチェックを入れ、RTMP を有効にします。

表示	説明
ストリーム形式	YouTube 配信で使用するストリームを選択します。※ 1、※ 2
タイムアウト後に再接続する	設定した時間以内なら再接続します。
サーバアドレス	YouTube Studio でメモしたストリーム URL/ストリームキーを貼付けます。 例：rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2/abcd-efgh-ijkl-mnop-qrst
接続状態	接続完了の表示になれば YouTube との接続は完了しています。
保存	設定を保存します。

※1:ストリーム設定は「4.2.2 映像/音声」で設定します。通信回線の速度に応じて、最適な設定を行います。ビデオ圧縮は必ず、「**H.264**」を設定する必要があります。また、音声を有効に設定します。

※2:お使いのインターネット接続で安定して映像を転送できる品質に設定します。実際に配信する動きや音声でテストを行う必要があります。設定した解像度、フレームレート、ビットレートは YouTube が自動的に検出します。

Fisheye(F)	Panorama(P)	90 度 x4PTZ	90 度 x4 分割
------------	-------------	------------	------------

映像周波数 60Hz 時	IP CH1				IP CH2			
	1st	2st	3st	fps	1st	2st	3st	fps
	RTSP1	RTSP2	RTSP3	30	RTSP4	RTSP5	RTSP6	
Fisheye(F)	3000x3000	1440x1440	960x960	30				
	2160x2160	720x720	640x640	30				
	1080x1080	480x480	360x360	30				
Panorama(P)	4000x3000	1920x1080	1280x720	20				
	3840x2160	960x540	640x360	20				
	3200x1800	640x480		20				
	2560x1440			20				
F+P+120x3PTZ	3000x3000	1440x1440	960x960	15	4000x3000	1920x1080	1280x720	10
	2160x2160	720x720	640x640	15	3840x2160	960x540	640x360	10
	1080x1080	480x480	360x360	15	3200x1800	640x480		10
					2560x1440			
F+90x4PTZ	3000x3000	1440x1440	960x960	30	1280x720			15
	2160x2160	720x720	640x640	30				
	1080x1080	480x480	360x360	30				
F+90x4 分割	3000x3000	1440x1440	960x960	30	2560x1440	640x360	640x360	20
	2160x2160	720x720	640x640	30				
	1080x1080	480x480	360x360	30				

120 度 x3PTZ	90 度 x4PTZ
-------------	------------

映像周波数 60Hz 時	IP CH3		IP CH4		IP CH5	
	1st	fps	1st	fps	1st	fps
Fisheye(F)						
Panorama(P)						
F+P+120x3PTZ	RTSP7 1280x720	15	RTSP8 1280x720	15	RTSP9 1280x720	15
F+90x4PTZ	RTSP5 1280x720	15	RTSP6 1280x720	15	RTSP7 1280x720	15
F+90x4 分割						

4.5.10 UPnP

UPnP を使用すると LAN 経由で簡単にカメラにアクセスできます。

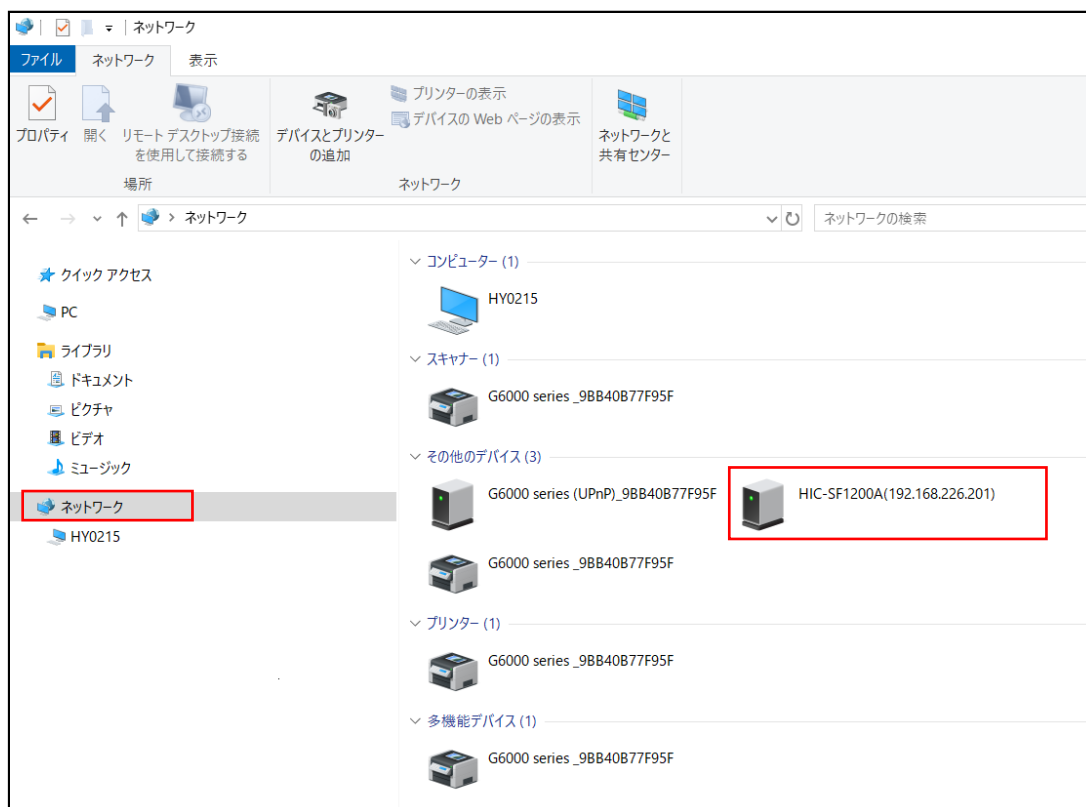
設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート	サーバー	ONVIF	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTP POST	HTTPS	P2P	QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効														
UPnP名		<input type="text"/>												
<input type="button" value="保存"/>														

UPnP の設定方法

- ① 有効をチェック図して、UPnP 名を入力し をクリックして設定を保存します。
- ② PC でエクスプローラを起動したあと、ネットワークをクリックすると、設定した UPnP 名のカメラが表示されます。

※事前に PC 側で「ネットワーク探索とファイル共有」を有効に設定しておく必要があります。



- ③ 表示されたカメラをダブルクリックするとブラウザが起動して、カメラに接続します。

4.5.11 Email

Email に関する設定を行います。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP **Email** FTP HTTP POST HTTPS P2P QoS

送信者

送信者アドレス

ユーザー名 ☐ 匿名ログイン

パスワード

サーバアドレス

安全な接続

SMTPポート

☐ 送信間隔(S) (10-3600)

受信者

 [Edit and Test](#)

➤ 送信者

送信者の E メールアドレス、SMTP サーバなどを設定します。

送信者

送信者アドレス

ユーザー名 ☐ 匿名ログイン

パスワード

サーバアドレス

安全な接続

SMTPポート [デフォルト](#)

☒ 送信間隔(S) (10-3600)

[クリア](#) [テスト](#)

送信者の設定方法

ISP から提供された E メールサービスの情報に従って入力します。

- ① **Edit and Test** をクリックしてから送信者の E メールアドレスを入力します。
- ② ユーザ名とパスワードを入力します。
- ③ サーバアドレスに SMTP サーバ情報を入力します。
- ④ 暗号化プロトコル SSL/TLS を選択します。
- ⑤ SMTP ポートを設定します。 **デフォルト** で初期値に戻ります。
- ⑥ E メールの送信間隔を設定します。

送信間隔にチェックを入れ 300 秒に設定した場合、300 秒に 1 通のメールが送信されます。300 秒の間に複数検出された場合、検出時間などをまとめて 1 通で通知します。添付ファイルの静止画は最初に検出した静止画のみを添付します。

- ⑦ **テスト** をクリックして、アカウントの接続テストを行います。

注 1 Yahoo や Gmail 等のフリーメールはご利用いただけません。ISP が提供するメールサービスをお使いください。

➤ 受信者

受信者メールアドレスに E メールアドレス、Receive Email Name に名前（例：佐藤）を入力し、

追加 をクリックしてリストに追加します。

削除する場合は、リストから削除するアドレスを選択し、**削除** をクリックしてリストから削除します。

受信者	
佐藤	satou@yahoo.co.jp
鈴木	susuki@yahoo.co.jp
高橋	takahashi@google.com

受信者アドレス

Receive Email Name

追加 **削除**

保存

- ⑤ **保存** をクリックして設定を保存します。


4.5.12 FTP

FTP サーバの設定を行います。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email **FTP** HTTP POST HTTPS P2P QoS

サーバ名	サーバアドレス	ポート	ユーザー名	パス
FTP_TEST	192.***.***.***	21	ftp****r	/

 **Edit and Test**

➤ FTP 追加/変更

FTP サーバを追加するには、**Edit and Test** をクリックしてから **追加** をクリックします。

登録済の FTP サーバを変更する場合は、**変更** をクリックします。

FTPを追加 ×


サーバ名

サーバアドレス

パス

ポート

ユーザー名 ☐ 匿名

パスワード 

OK **キャンセル**

表示	説明
サーバ名	FTP サーバの名前を入力します。
サーバアドレス	FTP サーバの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
パス	ファイルのアップロード先を設定します。
ポート	FTP サーバのポート番号を入力します。
ユーザ名/パスワード	FTP サーバのユーザ名とパスワードを入力します。 匿名にチェックを入れると、ユーザ名とパスワードの入力を省きます。
OK	ウィンドウを閉じます。(まだ保存されてません。)
保存	設定を保存します。

➤ テスト

テスト をクリックすると、選択している FTP サーバとの接続確認を行います。

➤ FTP 削除

削除 をクリックすると、選択している FTP サーバを削除します。

FTP 保存パス: /device MAC address/event type/date/time/

例:顔検出発生時のパス : FTP file path ¥00-18-ae-a8-da-2a¥VFD¥2021-01-09¥14¥

イベントによるファイル名の一覧 (※本機には無い機能も含まれています)

ファイル名	イベント	ファイル名	イベント
IP	IP アドレス	MOTION	モーション検出
SENSOR	アラーム入力	TRIPWIRE	ラインクロス(ライン超え)
PERIMETER	エリア侵入(エリア内活動)	AOIENTRY	エリア侵入
AOILEVE	エリア退出	PASSLINECOUNT	ライン通過カウント
CDD	群衆密度検出	SDFULL	SD カードフル
SDERROR	SD カードエラー		

テキストファイルの構成:

デバイス名: xxx mac: デバイス MAC アドレス イベントタイプ: イベント時刻

例:

device name: IPC mac: 00-18-ae-a8-da-2a MOTION time: 2021-03-16 12:20:07

4.5.13 HTTP POST

HTTP POST を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP **HTTP POST** HTTPS P2P QoS

☐ 有効

プロトコルタイプ API ▼

サーバアドレス 0.0.0.0

サーバポート 8082

ハートビート間隔 90 秒

オンライン状態 オフライン 更新

 編集

編集 をクリックしてから[有効]にチェックを入れ、HTTP POST を有効にします。

表示	説明
プロトコルタイプ	API 固定
サーバアドレス	HTTP POST サーバの IP アドレスを入力します。
サーバポート	HTTP POST サーバのポート番号を入力します。
ハートビート間隔	HTTP POST サーバの稼働状態を確認する間隔を設定します。 (範囲 30～120 秒)
オンライン状態	HTTP POST サーバの接続状態を表示します。
保存	設定を保存します。

上記のパラメータを設定した後、**保存** をクリックして設定を保存します。

カメラは自動的にサードパーティ製プラットフォームに接続します。

カメラが正常にプラットフォームに接続された後、スマートアラームがトリガーされると、カメラはプラットフォームにアラーム情報（HTTP 形式）を送信します。アラーム情報には、ターゲットの追跡座標、ターゲットの特徴、キャプチャされたオリジナル画像/ターゲット画像（キャプチャされた人物の写真、自動車の写真）などが含まれます。

4.5.14 HTTPS

HTTPS を設定します。HTTPS は Web サイトの認証を提供し、ユーザのプライバシーを保護します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST **HTTPS** P2P QoS

☒ 有効

☐ 無効にするHTTP (このオプションをチェックすると、Google / Firefoxに画像が表示されない場合があります！)

証明書のインストール C=US, ST=Some-State, O=embeddedsoftware 削除

属性

発行されました: C=US, ST=Some-State, O=embeddedsoftware, H=IPC,
 発行者: C=US, ST=Some-State, O=embeddedsoftware, H=Root CA,
 有効期限: 2021-03-19 03:18:30 ~ 2031-03-17 03:18:30

保存

有効にチェックを入れて、HTTPS へのアクセスを有効にし、**保存** をクリックして設定を保存します。

Web ブラウザを使用して、「https://IP アドレス:HTTPS ポート」にアクセスします。

《 例 : https://192.168.226.201:443 》

「無効にする HTTP」にチェックを入れると、HTTP ではアクセスできなくなるので https://IP アドレス:HTTPS ポートでアクセスする必要があります。

デフォルトで証明書がインストールされています。

デフォルトの証明書を使用しない場合は、**削除** をクリックして証明書を削除し、プライベート証明書を作成することもできます。3 種類のインストールタイプを選択して、各タイプで設定してください。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST **HTTPS** P2P QoS

☐ 有効

インストールタイプ ☒ 証明書に署名して直接インストールしてください。
☐ プライベート証明書を作成する
☐ 証明書要求の作成

証明書をインストールする ファイルの選択 ファイルが選択されていません インストール

保存

- 証明書に署名して、直接インストールしてください

インストールタイプ	<input checked="" type="radio"/> 証明書に署名して直接インストールしてください。 <input type="radio"/> プライベート証明書を作成する <input type="radio"/> 証明書要求の作成		
証明書をインストールする	ファイルの選択	ファイルが選択されていません	インストール
保存			

[ファイルの選択]ボタンをクリックして、インストールする証明書ファイルを選択してから、[インストール]ボタンをクリックして証明書をインストールします。
最後に[保存]ボタンをクリックします。

- プライベート証明書を作成する

インストールタイプ	<input type="radio"/> 証明書に署名して直接インストールしてください。 <input checked="" type="radio"/> プライベート証明書を作成する <input type="radio"/> 証明書要求の作成		
プライベート証明書を作成する	作成		
保存			

[作成]ボタンをクリックして、プライベート証明書を作成します。国(2文字のみ利用可能)、ドメイン(NVRのIPアドレス/ドメイン)、有効期限、パスワード、州(都道府県)、領域(地域)などを入力します。[*]は、必須項目です。次に、[OK]をクリックして設定を保存します。最後に[保存]ボタンをクリックします。

プライベート証明書を作成する		×
国	* 例:CN	
ドメイン	*	
有効期限	* 1	日
パスワード		
州/州		
領域		
組織		
単位		
Eメール		
OK		キャンセル

➤ 証明書要求の作成

インストールタイプ	<input type="radio"/> 証明書に署名して直接インストールしてください。 <input type="radio"/> プライベート証明書を作成する <input checked="" type="radio"/> 証明書要求の作成
証明書要求の作成	<div>作成 ダウンロード 削除</div>
作成した証明書をインストールする	<div>ファイルの選択 ファイルが選択されていません インストール</div>
<div>保存</div>	

[作成]をクリックして証明書要求を作成します。

証明書要求の作成

×

国

*

例:CN

ドメイン

*

パスワード

州/州

領域

組織

単位

E メール

OK

キャンセル

国(2文字のみ利用可能)、ドメイン(NVRのIPアドレス/ドメイン)、パスワード、州(都道府県)、領域(地域)などを入力します。[*]は、必須項目です。次に、[OK]をクリックして設定を保存します。

そうすると、[ダウンロード]ボタンがアクティブになりますので、クリックして、証明書要求ファイルをダウンロードし、署名のために信頼された証明機関に送信します。署名された証明書を受け取った後、証明書をデバイスにインポートします。上述の[証明書に署名して、直接インストールしてください]項で証明書をインストールしてください。

また、[削除]をクリックして、作成した証明書要求ファイルを削除できます。

4.5.15 P2P

この機能を有効にすると、WAN 経由でモバイル監視クライアントの QR コードをスキャンすることで、ネットワーク カメラにすばやくアクセスできます。QR コードは、「4.1.1 基本情報」にあります。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定															
ポート	サーバー	ONVIF	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTP POST	HTTPS	P2P	QoS	
<input checked="" type="checkbox"/> 有効															
<div>保存</div>															

※P2P を有効にすると upnp がデフォルトで有効になります。

4.5.16 QoS

QoS（Quality of Service）機能は、ネットワークアプリケーションごとに異なるサービス品質を提供するための機能です。

帯域幅が不足している場合、ルータやスイッチがデータストリームをソートし、優先順位に従って転送することで、ネットワークの遅延やネットワークの輻輳を解決します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート	サーバー	ONVIF	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTP POST	HTTPS	P2P	QoS
ビデオ/オーディオ DSCP	<input type="text" value="0"/>													
アラーム DSCP	<input type="text" value="0"/>													
マネージャ DSCP	<input type="text" value="0"/>													
保存														

表示	説明
ビデオ/オーディオ DSCP	0 ～63 の範囲でビデオ/オーディオの優先度を設定します。
アラーム DSCP	0 ～63 の範囲でアラームの優先度を設定します。
マネージャ DSCP	0 ～63 の範囲でマネージャの優先度を設定します。
保存	設定を保存します。

数値が大きいほど、優先度は高くなります。

4.6 セキュリティ設定

ユーザ、オンラインユーザ、ブロックと許可リスト、セキュリティ管理などのサブメニューがあります。

<div>  システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ Fisheye/パラメータ </div> <div>  画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 </div> <div>  アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ </div> <div>  イベント設定 ターゲットカウント ラインクロス 領域に入る 領域を出る エリア侵入検知 集密度 ヒートマップ </div> <div>  ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加... </div> <div>  セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理 </div> <div>  メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ デバッグモード </div>	設定ホーム ▶ セキュリティ設定 <div> セキュリティ設定 <ul style="list-style-type: none">  ユーザー ユーザーの追加、修正、削除します。(管理者アカウント: adminは削除できません。)  オンラインユーザー オンラインのユーザーを表示します。  ブロックと許可リスト 特定のIPアドレスまたはMACアドレスからのアクセスを許可またはブロックします。  セキュリティ管理 不正ログインを検出した時にデバイスをロックします。 </div>
---	--

4.6.1 ユーザ

ユーザの追加、変更、削除の設定を行います。

管理者アカウントの admin は削除できません。また、ユーザ名は admin から変更できません。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ ユーザー		
<div> 追加 変更 削除 安全質問 </div>		
インデックス	ユーザー名	ユーザー区分
1	admin	管理者

ユーザの追加方法

- ① **追加** をクリックすると、「ユーザの追加」がポップアップします。

ユーザの追加

ユーザー名

パスワード

レベル パスワードは、数字、特殊文字、大文字または小文字で構成できます。

パスワード確認

ユーザー区分 上位ユーザー ▼

☐ 全領域を選択

- ☐ リモートストレージの設定
- ☐ リモート画像設定
- ☐ リモートPTZコントロール
- ☐ リモートアラームサーバーの設定
- ☐ リモートインテリジェントイベント設定
- ☐ リモートネットワークの詳細設定
- ☐ リモートセキュリティ管理

OK キャンセル

- ② ユーザ名とパスワード(パスワード確認)は、1～15 文字の英数字で設定します。

注意

ユーザ名：**最大 15 文字** 英数字のみ、記号**不可**

パスワード：**最大 16 文字** 英数字 と 記号**可**

レベルは、パスワードの強度を示します。「4.6.4 セキュリティ管理」にある[パスワードセキュリティ](#)で設定したレベル以上の組合せが必要です。

- ③ ユーザ区分を選択します。
- ・ 管理者：すべての権限を持っています。（管理者を追加することはできません。）
 - ・ 上位ユーザ：「ユーザ」、「ブロックと許可リスト」、「バックアップと復元」、「アップグレード」以外、管理者と同じ権限を持っています。
 - ・ ノーマルユーザ：「ライブ」の表示と「検索」のみ可能です。設定の変更はできません。
- ④ リモートで操作できる項目をチェックします。
- ⑤ [OK]をクリックして、追加します。

上位ユーザとノーマルユーザの初期権限

システム設定	基本情報		○
	日付と時刻		○
	ローカル設定		○
アラーム設定	モーション検出	検出設定	×
		エリアと感度	○
		スケジュール	○
	異常		○
	アラーム入力		○
	アラーム出力		○
	ネットワーク設定		閲覧のみ
セキュリティ設定	ユーザ		○※
	オンラインユーザ		○

※ログイン中ユーザのパスワード変更

ユーザレベルと付与可能な権限

	上位ユーザ	ノーマルユーザ
ストレージ設定	○	×
画像設定（全項目）	○	○
PTZ コントロール	○	○
アラームサーバ設定	○	○
イベント設定	○	○
ネットワーク設定	○	×
セキュリティ設定	○※	×
バックアップと復元	○	×
再起動とアップグレード	○	×
ログ閲覧	○	○
音声インターホン（双方向音声通話）	○	○
プレビュー（ライブ）	○	○
再生（検索）	○	○
ユーザ管理	×	×

※ユーザ編集を除く、セキュリティメニュー

パスワードの変更方法

- ① **変更** をクリックすると、「ユーザの編集」がポップアップします。

- ② [新しいパスワード]にチェックを入れ、旧パスワードと新しいパスワードを入力し、OK をクリックします。
この項目はカメラのメニューにログインするときのパスワード設定です。レベルは、パスワードの強度を示します。


注意

パスワード：最大 16 文字 英数字 と 記号可

「4.6.4 セキュリティ管理」にある[パスワードセキュリティ](#)で設定したレベル以上の組み合わせが必要です。

- ③ [Onvif ユーザを変更する。]のチェックを外すと、Onvif 接続するときのパスワードは変更されません。「4.5.4 ONVIF」で設定するパスワードと設定内容は同じです。チェックを入れた場合、カメラメニューにログインするときのパスワードと Onvif 接続パスワードの両方が同時に変更されます。
- ④ リモートで操作できる項目を変更します。
- ⑤ [OK]をクリックして保存します。

ユーザの削除方法

- ① 削除するユーザを選択します。選択されているユーザは青くなります。
- ②  をクリックすると、削除を確認するメッセージをポップアップするので OK をクリックして削除します。

4.6.2 オンラインユーザ

本機にアクセスしているオンラインユーザを表示（IP アドレス）します。

管理者ユーザは、他のすべてのユーザを追い出す(キックアウト)ことができます。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ オンラインユーザー					
Index	クライアントアドレス	ポート	ユーザー名	ユーザー区分	
1	172.20.0.98	51873	admin	管理者	

4.6.3 ブロックと許可リスト

特定の IP アドレスからのアクセスを許可またはブロックします。

[アドレスフィルタリングを有効にする]にチェックを入れ、許可/ブロックの設定を行います。

IP アドレスフィルタの追加方法

- ① [次のアドレスをブロックする]または[次のアドレスを許可する]のどちらかを選択します。
 - ・ ブロック : リスト内のみブロックし、その他のデバイスは許可されます。
 - ・ 許可 : リスト内のみ許可し、その他のデバイスはブロックされます。
- ② IPv4 または IPv6 を選択し、アドレスを入力します。
- ③ **追加** をクリックすると、リストに表示されます。
- ④ **保存** をクリックして保存します。

IP アドレスフィルタの削除方法

- ① リストからアドレスを選択します。
- ② **削除** をクリックすると、選択しているアドレスを削除します。
- ③ **保存** をクリックして保存します。

4.6.4 セキュリティ管理

不正ログインを検出した時の対応を設定します。

➤ セキュリティサービス

[セキュリティサービス]タブを開き、不正ログインによるロック解除を防ぐことができます。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ セキュリティ管理

セキュリティサービス パスワードセキュリティ 認証する

☒ 不正ログインによるロックを有効

☐ メールを送信

ログアウト時間 3600 秒

保存

[不正ログインによるロックを有効]にチェックを入れると、ログイン試行に 6 回失敗するとロックされます。

ロックから **30 分後**または**カメラの再起動**によって、カメラは再度ログインすることができます。

[メールを送信]にチェックを入れると、通知をメールで受け取れます。送信先をチェックして選択します。

メールの送信先の設定は、「4.5.11 **Email**」で登録します。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ セキュリティ管理

セキュリティサービス パスワードセキュリティ 認証する

☒ 不正ログインによるロックを有効

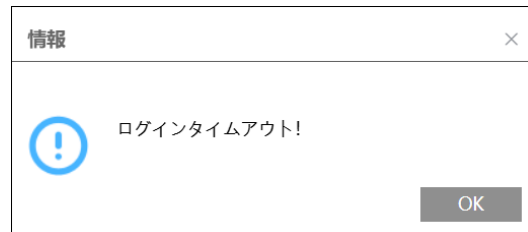
☒ メールを送信

Receiver Name メールの送信先

ログアウト時間 300 秒

保存

[ログアウト時間]で設定した時間が経過すると（Web ブラウザなどで設定時間操作されない場合）、自動的にログアウトされます。次に操作するまで画面はそのままですが、操作しようすると、タイムアウトメッセージをポップアウトで表示して、ログインウィンドウに移動しますので、再度ログインしてください。



➤ パスワードセキュリティ

[パスワードセキュリティ]タブを開き、パスワードのレベルと有効期限を設定します。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ セキュリティー管理	
セキュリティサービス	パスワードセキュリティ 認証する
パスワードレベル	弱い ▼
有効期限	永久 ▼
保存	

パスワードレベルは、パスワード変更で利用できる文字の種類と長さを設定します。

- 弱い : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」から 1 文字以上
- 中 : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」から 2 種類以上を組合わせて 9 文字以上
- 強い : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」の全種類を組合わせて 9 文字以上

有効期限 : 30 日、60 日、180 日、365 日、永久から選択します。

期限が切れるとパスワードの変更画面がポップアップします。

➤ 認証する

HTTP でアクセスする時の、認証方法を設定します。

認証方法は、“Basic”と“Token”から選択します。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ セキュリティ管理		
セキュリティサービス	パスワードセキュリティ	認証する
HTTP認証	Basic ▼	
		保存

4.7 メンテナンス

バックアップと復元、再起動、アップグレード、操作ログ、デバッグモードなどのサブメニューがあります。

<div>  システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ Fisheyeパラメータ </div> <div>  画像設定 画質調整 映像/音声 OSD ブライバシーマスク ROI構成 </div> <div>  アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ </div> <div>  イベント設定 ターゲットカウント ラインクロス 領域に入る 領域を出る エリア侵入検知 集密度 ヒートマップ </div> <div>  ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加... </div> <div>  セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理 </div> <div>  メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ デバッグモード </div>	<div> 設定ホーム ▶ メンテナンス </div> <div> メンテナンス <ul style="list-style-type: none"> バックアップと復元 システム構成のバックアップ/復元、または工場出荷設定へのリセットを行います。 再起動 カメラを再起動します。 アップグレード カメラのソフトウェアを更新します。 操作ログ 操作ログを表示します。 デバッグモード USBディスクまたはNFSをデバッグデバイスとして使用して、実行中のソフトウェアに関する詳細情報を取得してください </div>
---	--

4.7.1 バックアップと復元

カメラの設定情報のインポート（復元）とエクスポート（バックアップ）、工場出荷時への初期化を行います。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ バックアップと復元

設定のインポート

パス

ファイルの選択

ファイル...いません

設定のインポート

設定のエクスポート

設定のエクスポート

デフォルト パラメータの復元

設定を保持

☐ ネットワーク設定
☐ セキュリティ設定
☐ 画像設定

デフォルト パラメータの復元

工場出荷時の設定を復元

工場出荷時の設定を復元

➤ 設定のインポート（復元）

「ファイルの選択」をクリックして、バックアップファイルを選択します。**設定のインポート** をクリックして、設定を復元します。

設定のインポート

パス

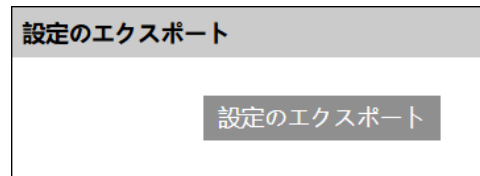
ファイルの選択

ファイル...いません

設定のインポート

➤ 設定のエクスポート（バックアップ）

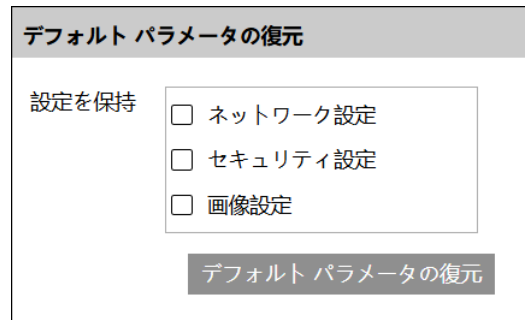
設定のエクスポート をクリックして、設定をバックアップします。（config.txt ファイルが生成されます。）



➤ デフォルトパラメータの復元

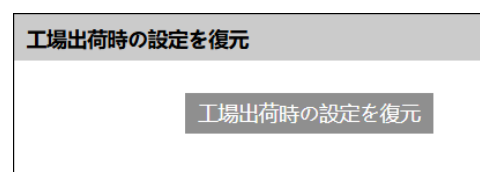
デフォルト パラメータの復元 をクリックして、設定を初期設定に復元します。

「設定を保持」で選択した項目は、復元されず、現在の設定を保持します。



➤ 工場出荷時の設定を復元

工場出荷時の設定を復元 をクリックして、全ての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。



4.7.2 再起動

カメラの再起動を行います。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ 再起動

再起動

再起動

再起動には1～5分かかります。正常に起動するとブラウザは自動的に再接続します。

定刻自動再起動

☐ 時刻の設定

保存

➤ 再起動

再起動 をクリックすると、パスワード入力画面がポップアップします。パスワードを入力するとカメラは再起動を行います。再起動には 1～5 分かかります。正常に完了すると、自動的に再接続、ログイン画面に戻ります。

再起動

再起動

再起動には1～5分かかります。正常に起動すると、ブラウザは自動的に再接続します。

➤ 定刻自動再起動

定期的に再起動を行います。

[時刻の設定]にチェックを入れると、自動的な再起動が有効になります。毎日または週に一度、決まった時間を指定します。

定刻自動再起動

☒ 時刻の設定

週

毎日

時間

15:07

保存

4.7.3 アップグレード

カメラのソフトウェアを更新します。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ アップグレード


現在のバージョンから以前のバージョンへのダウングレードを許可しないでください。
アップグレード中は電源を切らないでください。
Do not refresh or close this page during the upgrade.

ローカルアップグレード

パス

ファイルの選択

ファイルが選択されていません

アップグレード

バックアップとアップグレード


システム1: 正常 | システム2: 正常

Export Upgrade Log

Export Upgrade Log

➤ ソフトウェアのアップグレード方法

- ① [ファイルの選択]をクリックして、アップグレードファイルを選択します。
- ② **アップグレード** または **バックアップとアップグレード** をクリックして、ソフトウェアのアップグレードを開始します。正しいパスワードを入力するとアップグレードを開始します。**バックアップとアップグレード** をクリックした場合、設定をエクスポートしてからアップグレードが開始します。
- ③ アップグレード終了後、カメラは自動的に再起動します。

※ 現在のバージョンから古いバージョンへ戻さないでください。

※ アップグレード中はブラウザを更新・閉じたり、カメラをネットワークから切断したりしないでください。システム障害の原因になります。アップグレード後、10 分間は再度アップグレードしないでください。

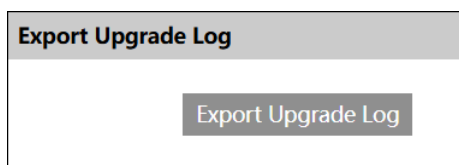
※ アップグレード中はカメラの電源を切らないでください。

※ アップグレード中は監視などの機能は動作しません。

※ アップグレードのリスクを減らすため、本機では 2 つのシステムを採用しています。1 つのシステムが正常にアップグレードすると、もう 1 つのシステムが同期します。アップグレード中に停電や、そのほかの理由で 1 つのシステムに障害が発生した場合でも、もう 1 つのシステムには影響を受けず、カメラは正常に動作します。

➤ **Export Upgrade Log（工場メンテナンス用）**

アップグレード エラーが発生した場合、技術者が問題分析して解決できるようにするため、アップグレードログをエクスポートすることができます。



4.7.4 操作ログ

ログの種類を選択、開始時間と終了時間を指定、**検索** をクリックすると、ログが表示されます。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ 操作ログ

第一区分 第二区分
 開始時間 終了時間 **検索** **エクスポート**

Index	時間	第一区分	第二区分	ユーザー名	ログインIP	ホスト名
1	2022-10-11 06:47:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
2	2022-10-11 06:47:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
3	2022-10-11 06:47:...	操作	ログアウト		192.168.226.189	
4	2022-10-11 06:46:...	情報	システム起動			
5	2022-10-11 06:46:...	操作	システム設定変更			
6	2022-10-11 06:46:...	操作	ログアウト	admin	192.168.226.189	
7	2022-10-11 06:46:...	操作	リブート	admin	192.168.226.189	
8	2022-10-11 05:35:...	操作	セキュアな設定変更	admin	192.168.226.189	
9	2022-10-11 05:34:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
10	2022-10-11 05:34:...	操作	ログアウト		192.168.226.189	
11	2022-10-11 05:33:...	操作	ログアウト	admin	192.168.226.189	
12	2022-10-11 05:32:...	操作	セキュアな設定変更	admin	192.168.226.189	
13	2022-10-11 05:21:...	操作	セキュアな設定変更	admin	192.168.226.189	
14	2022-10-11 05:20:...	操作	システム設定変更	admin	192.168.226.189	
15	2022-10-11 05:20:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
16	2022-10-11 05:20:...	操作	ログアウト		192.168.226.189	

1 / 3 20 View 1 - 20 of 46

ログの取得方法

- ① 第一区分、第二区分より、取得するログの種類を選択します。
- ② 開始時間と終了時間を設定し、検索するログの時間帯を指定します。
- ③ **検索** をクリックすると、指定時間内のログを表示します。
- ④ **エクスポート** をクリックして、ログをエクスポート・保存することができます。（eventLog.txt ファイルが生成されます。）

4.7.5 デバッグモード（工場メンテナンス用）

デバッグモードは、必要なシステムデータを記録および収集するために使用されます。

※※ デバッグモードは有効にしないでください。 ※※

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ デバッグモード

☐ デバッグモードを開く

デバッグレベル 普通

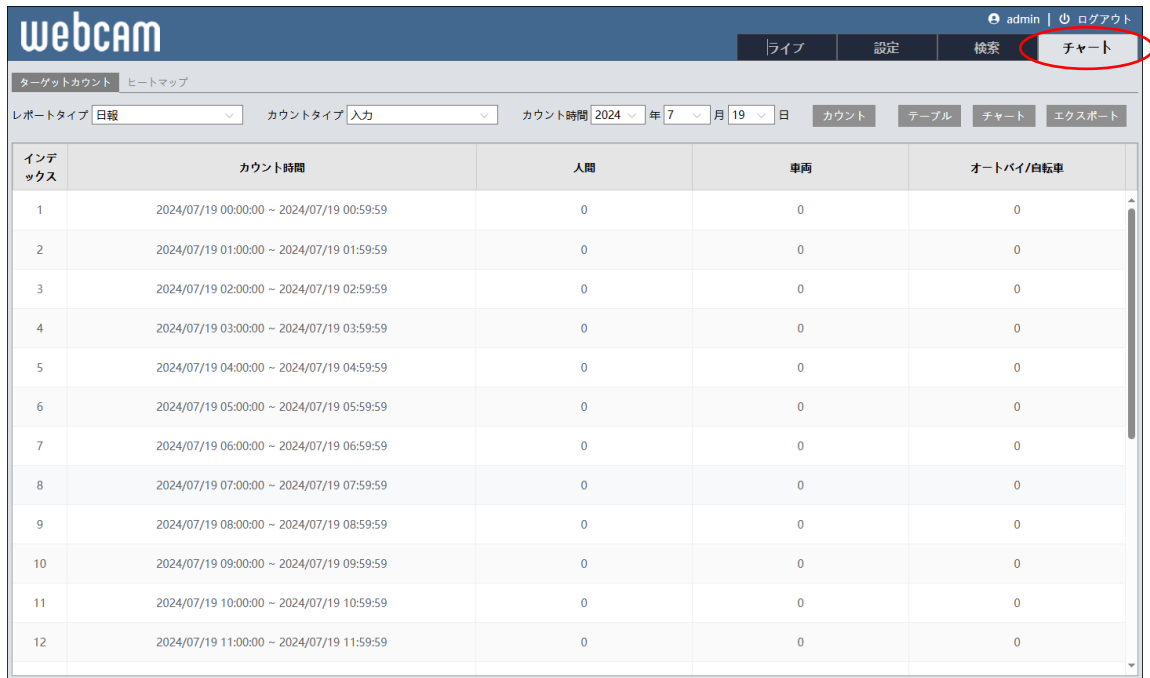
SDカードをダンプデバイスとして使用すると、SDカード関連サービスが利用できなくなります

保存

※SD カードを使用してシステムデータを収集すると、スナップショットや SD カード録画の保存には使用できません。カメラを再起動後にデバッグモードを無効にして SD カードをフォーマット後、スナップショットや SD カード録画に使用できるようになります。

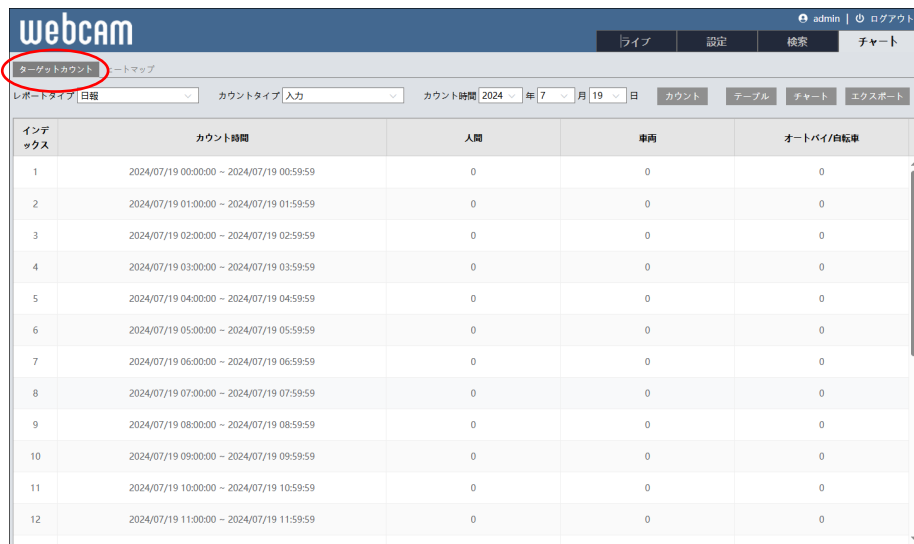
5. チャート

右上の[チャート]タブを開きます。



6.1 ターゲットカウント（ライン通過カウント）

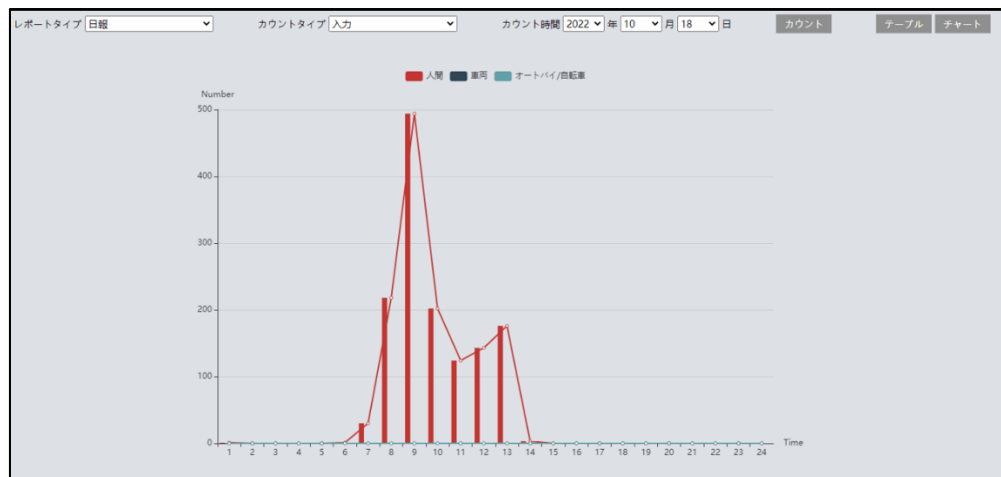
左上のタブから[ターゲットカウント]タブを選択します。



表示	説明
レポートタイプ	レポートする単位を設定します。 日報:1 日を時間単位で表示 週報:1 週間を曜日単位で表示 月報:1 月を日単位で表示 年報:1 年を月単位で表示
カウントタイプ	“入力（入る）”と“置き去り（出る）”を選択します。
カウント時間	ターゲットカウントの開始日時を設定します。
カウント	設定したレポートタイプやカウントタイプ、日時で再計算します。
テーブル	表形式で表示します。
チャート	図形式で表示します。

図の表示方法

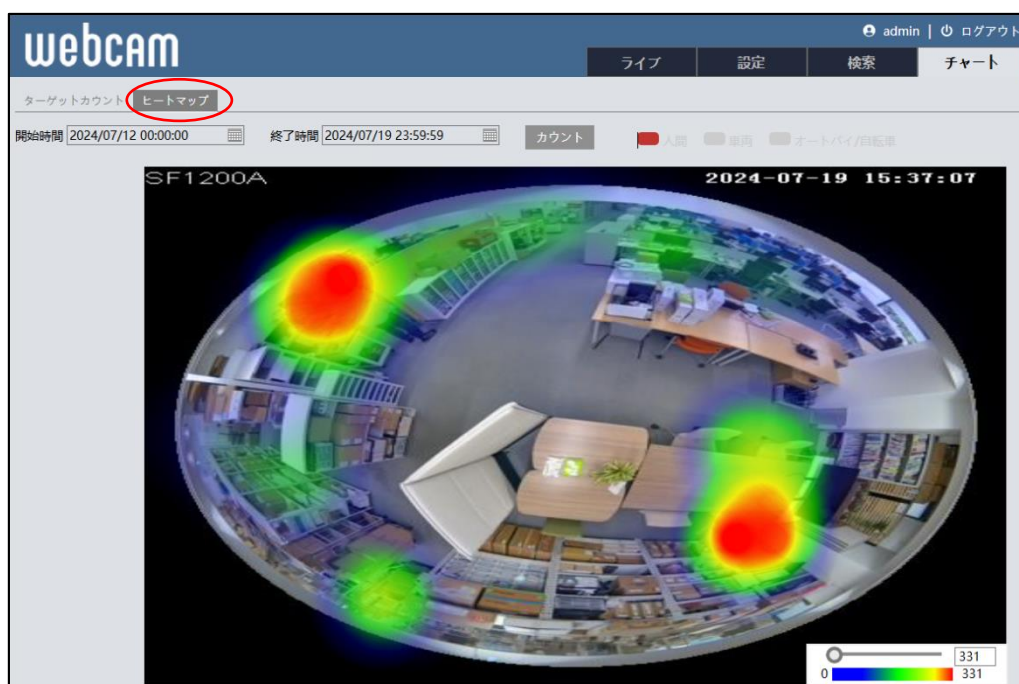
- ① [レポートタイプ]を選択します。
- ② [カウントタイプ]を選択します。
- ③ [カウント時間]で、カウントを開始する日時を設定します。
- ④ [カウント]ボタンをクリックして計算します。
- ⑤ [テーブル]または[チャート]をクリックすると表または図を表示します。



図の上部の[人間]、[車両]、[オートバイ/自転車]をクリックすることで表示・非表示を変更できます。

6.2 ヒートマップ

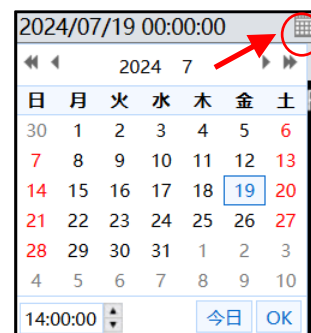
左上のタブから[ヒートマップ]タブを選択します。ターゲット（人間）の分布が色付きで表示されます。分布数が高い場所は赤で、低い場所は青で表示されます。



表示	説明
開始時間	ヒートマップ表示の開始時間を設定します。
終了時間	ヒートマップ表示の終了時間を設定します。
カウント <input type="button" value="カウント"/>	クリックすると開始～終了時間のターゲットの分布を計算します。
種別	カウント完了後に、人間、車両、オートバイ・自転車を選択して表示を切り替えます。 ※本機は車両、オートバイ・自転車のヒートマップ表示はできません。
感度 <input type="range" value="100"/>	検出最大値（赤色）の設定を変更します。

操作方法

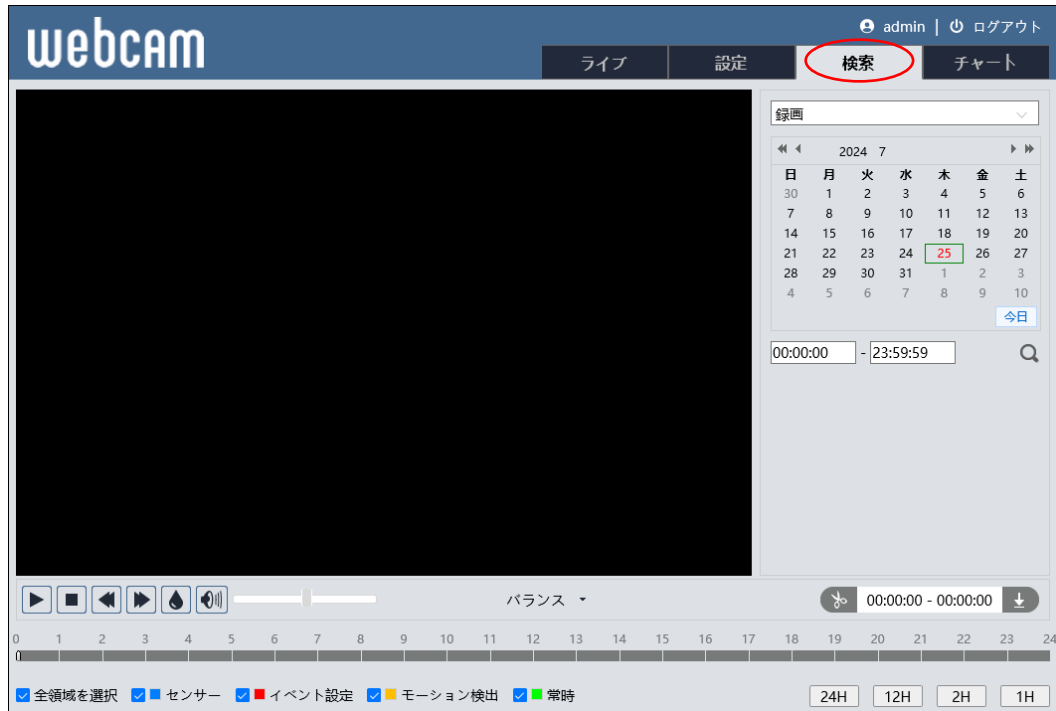
- ① [開始時間]を設定します。
- ② [終了時間]を設定します。
- ③ [カウント]をクリックして、再計算及び画面表示を変更します。
- ④ [人間]をクリックすると、ヒートマップを表示します。
- ⑤ 右下の[感度]のスライダを左右に動かす。または数値を手動で入力して赤色表示の数を調整します。



6. 検索

右上の[検索]タブを開きます。

ここでは、カメラ本体に取付けた SD カードに保存されている録画と写真を表示できます。



現在、Windows の仕様により、Internet Explorer を起動することができないことがあります。

SD カードに録画した映像を再生するときは、Internet explorer または edge の IE モードをご利用ください。録画解像度を低く設定しているときは edge でも再生可能です。

SD カードに録画した動画のデータをダウンロードするときは、Internet explorer または HCMS ソフトウェアをご利用ください。もし、Edge (IE モード) でダウンロードしたとき、初期設定の保存フォルダに録画ファイルが出来ないときは、保存フォルダを Windows のダウンロードフォルダなどに変更して試してください。

スナップショット画像は HCMS からは一切扱えません。HCMS については、営業担当またはサポートまでお問合せください。

6.1 録画検索

6.1.1 SD カード録画（動画）

SD カードに録画されているビデオは、ここで再生することができます。



録画検索画面のアイコンを説明します。

アイコン	説明	アイコン	説明
	再生/一時停止ボタン		停止ボタン
	スピードダウン		スピードアップ
	電子透かし表示		スピーカーON/OFF

検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“録画”を選択します。
- ② 検索したい日を選択します。
※録画データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 開始時間と終了時間を設定します。
- ④ をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する録画ファイルリスト内のファイルをダブルクリックすると再生を開始します。

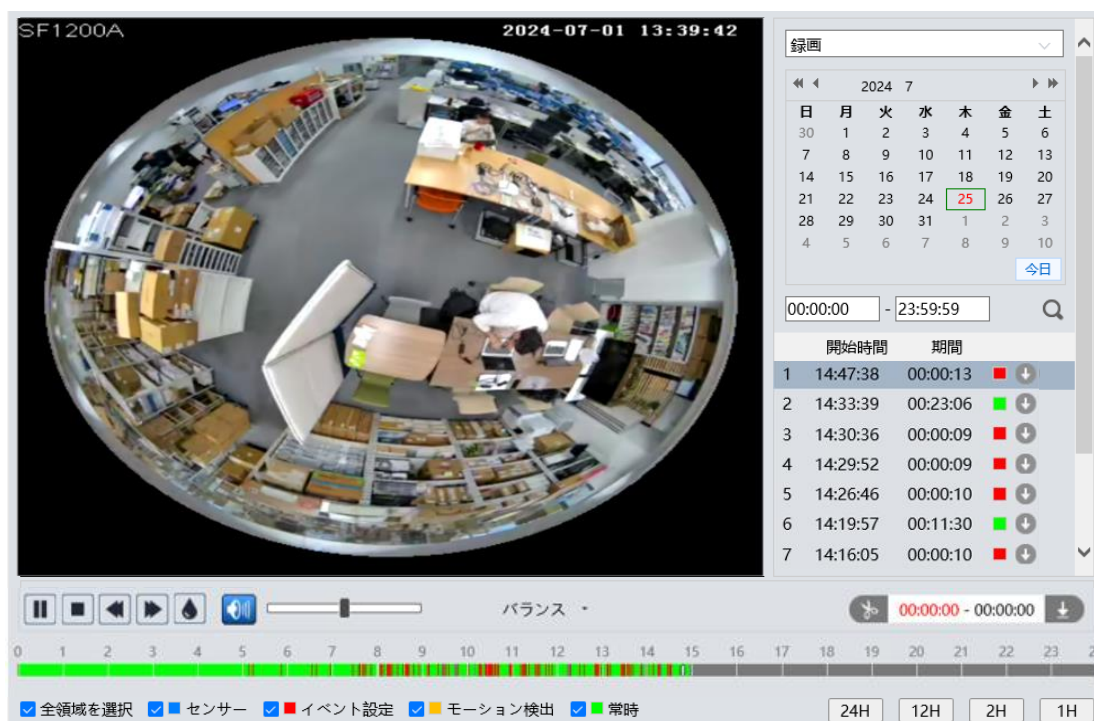
ダブルクリックで再生開始






検索後に表示する録画
ファイルリスト

- ⑥ タイムテーブルは 24H / 12H / 2H / 1H 形式で表示できます。

センサー(青)、イベント設定(赤)、モーション検出(橙)、常時録画(緑)で色分けされています。



ビデオクリップとダウンロード


- ① タイムテーブル上をクリックして、開始時間を選択します。
- ②  をクリックすると青色  に変わり、開始時間が設定されます。
- ③ 終了時間も①②と同様に行います。
- ④  をクリックして、PC にビデオファイルをダウンロードします。
- ⑤ ダウンロード中は、以下のような画面が表示されます。

設定：ダウンロード先の保存フォルダを指定 / パス：録画データをダウンロードしたフォルダを開く

キャンセル：ダウンロードの中止 / ON：ビデオを再生

リストクリア：ダウンロードリストの削除 / OFF：ダウンロード画面を閉じる

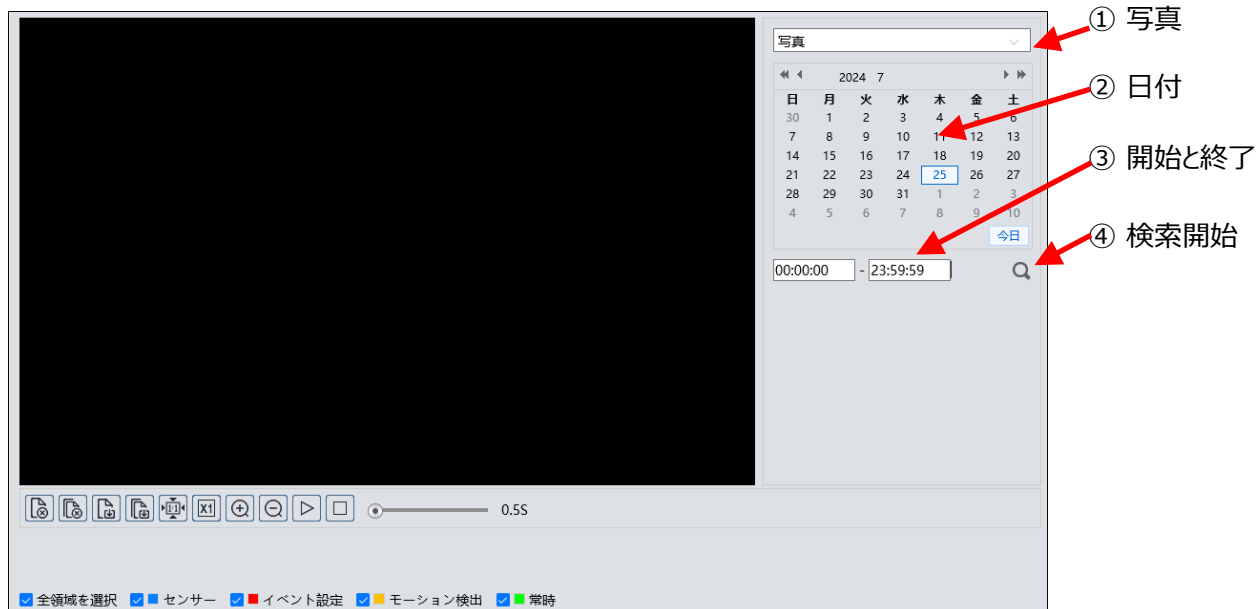
イン デッ ク ス		進捗	録画タイ プ	開始時間	終了時間	パス	操作
1	<div><div></div></div>	13%	カット	2024-07-25 11:17:59	2024-07-25 11:23:20	Record	キャンセル

- ※ ファイル横の  で、イベントごとにダウンロードすることもできます。

6.2 画像検索

6.2.1 SD カード画像（静止画）

SD カードに保存されている画像（静止画）は、ここで見るすることができます。



画像検索画面のアイコンを説明します。

アイコン	説明	アイコン	説明
	現在の画像を閉じる		すべての画像を閉じる
	現在の画像を保存		すべての画像を保存
	画面サイズに画像を調節する		実際の画像サイズ
	ズームイン/ズームアウト		スライドショー再生
	スライドショー停止		スライドショーの再生速度

検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“写真”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※画像データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 開始時間と終了時間を設定します。
- ④ をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する画像ファイルリスト内をダブルクリックして、保存された画像を表示します。

ダブルクリックで画像を表示

	時間	タイプ
1	13:38:48	■
2	13:38:42	■
3	13:38:37	■
4	13:38:32	■
5	13:38:27	■
6	13:38:21	■
7	13:38:16	■
8	13:38:11	■
9	13:38:06	■
10	13:38:01	■

< 1 2 >

エクスポート

検索後に表示する画像
ファイルリスト

7. 製品仕様

●HIC-SF1200A

製品名	HIC-SF1200A	
形状	12MP FISHEYE 360 度 全方位	
カメラ部		
撮像素子	1 / 1.7" 12MP CMOS SENSOR	
最低被写体照度	Color:0.01Lux@F2.0 AGC:ON / IR ON 時:0Lux	
赤外線 LED	実装、照射距離 = 10～20m（スマート調光対応）	
S/N 比	50dB 以上（AGC OFF 時）	
レンズ	1.65mm@F2.0 固定焦点レンズ （画角 水平 180 度/垂直設置、360 度/水平設置）	
DAY&NIGHT	自動 / 昼間 / 夜 / 時間設定	
露出調整	自動（シャッター・ゲイン）	
シャッター速度	自動（1 / 3～1 / 100,000）及びフリッカレス	
ホワイトバランス	自動 / 屋内 / 屋外 / マニュアル	
DNR（ノイズ除去）	OFF / ON (LEVEL0～255)	
WDR 機能	OFF / ON (LEVEL0～255)	
逆光補正(BLC / HLC)	OFF / BLC（エリア：上 / 下 / 左 / 右 / センター） / HLC	
画質調整	明度、コントラスト、色相、彩度、シャープネス	
画像鮮明化	OFF / ON (LEVEL0～255)	
設置モード選択	天井（下向き）、壁面（横向き）、机上（上向き）	
画像表示モード （天井、机上）	モード A	魚眼 360 度
	モード B	パノラマ（180 度 x 2 画面）
	モード C	魚眼 360 度 パノラマ（180 度 x 2 画面） 魚眼 360 度 + 3 PTZ（120 度 x 3 画面） パノラマ(180 度 x2 画面)+ 3 PTZ(120 度 x 3 画面)
	モード D	魚眼 360 度 3 PTZ(90 度 x4 画面)
	モード E	魚眼 360 度 4 分割（90 度 x 4 画面）※表示のみ操作不可

画像表示モード (壁面)	モード A	魚眼 360 度		
	モード B	パノラマ (180 度 x 1 画面)		
	モード C	魚眼 360 度 パノラマ (180 度 x 1 画面) 魚眼 360 度 + 3 PTZ (120 度 x 3 画面) パノラマ(180 度 x1 画面)+ 3 PTZ(120 度 x 3 画面)		
	モード D	魚眼 360 度 3 PTZ(90 度 x4 画面)		
	モード E	魚眼 360 度 4 分割 (90 度 x 4 画面) ※表示のみ操作不可		
その他の機能	ROI (8 エリア)、プライバシーマスク (4 エリア)、OSD (タイトル表示 / 時刻表示)、画像反転 (上下 / 左右)、SD カード録画			
スマート機能				
基本	モーション検知 異常検出 (ネットワーク接続、IP 競合、SD カードエラー)			
スマート検出	対象	人間、車両、バイク ※ 1		
	機能	ライン越え、エリア侵入・退出、エリア内活動 ライン通過カウント、群衆密度、ヒートマップ		
アラーム連携	SD カード録画、SD カード静止画保存、アラーム接点出力 FTP アップロード、E メール通知、ローカル録画、ローカル静止画保存			
ネットワーク部				
画像圧縮方式	H.265+ / H.265 / H.264+ / H.264 / MJPEG			
音声圧縮方式	G711A / μ			
インタフェース規格	ONVIF (PROFILE S)			
プロトコル	UDP、IPv4、IPv6、DHCP、NTP、RTSP、RTP、RTCP、RTMP、 ICMP、IGMP、FTP、PPPoE、DDNS、SMTP、SNMP、802.1x、 UPnP、HTTP、HTTPS、QoS、P2P			
ビットレート制御	CBR / VBR			
同時アクセス数	6			
フレームレート	1～30fps			
画像サイズ	IP CH1	第 1 ストリーム	画像表示モード A (最大 : 30fps)	3000x3000 2160x2160 1080x1080

		画像表示モード B (最大 : 20fps)	4000x3000 3840x2160 3200x1800 2560x1440
		画像表示モード C (最大 : 15fps)	3000x3000 2160x2160 1080x1080
		画像表示モード D (最大 : 30fps)	3000x3000 2160x2160 1080x1080
		画像表示モード E (最大 : 30fps)	3000x3000 2160x2160 1080x1080
	第 2 ストリーム	画像表示モード A (最大 : 30fps)	1440x1440 720x720 480x480
		画像表示モード B (最大 : 20fps)	1920x1080 960x540 640x480
		画像表示モード C (最大 : 15fps)	1440x1440 720x720 480x480
		画像表示モード D (最大 : 30fps)	1440x1440 720x720 480x480
		画像表示モード E (最大 : 30fps)	1440x1440 720x720 480x480
	第 3 ストリーム	画像表示モード A (最大 : 30fps)	960x960 640x640 360x360
		画像表示モード B (最大 : 20fps)	1280x720 640x360
		画像表示モード C (最大 : 15fps)	960x960 640x640 360x360

			画像表示モード D (最大 : 30fps)	960x960 640x640 360x360
			画像表示モード E (最大 : 30fps)	960x960 640x640 360x360
	IP CH2	第 1 ストリーム	画像表示モード A	無し
			画像表示モード B	無し
			画像表示モード C (最大 : 10fps)	4000x3000 3840x2160 3200x1800 2560x1440
			画像表示モード D (最大 : 15fps)	1280x720
			画像表示モード E (最大 : 20fps)	2560x1440
		第 2 ストリーム	画像表示モード A	無し
			画像表示モード B	無し
			画像表示モード C (最大 : 10fps)	1920x1080 960x540 640x480
			画像表示モード D	無し
			画像表示モード E (最大 : 20fps)	640x360
		第 3 ストリーム	画像表示モード A	無し
			画像表示モード B	無し
			画像表示モード C (最大 : 10fps)	1280x720 640x360
			画像表示モード D	無し
			画像表示モード E (最大 : 20fps)	640x360
	IP CH3	第 1 ストリームのみ	画像表示モード A	無し
			画像表示モード B	無し
			画像表示モード C (最大 : 15fps)	1280x720

			画像表示モード D (最大 : 15fps)	1280x720
			画像表示モード E	無し
	IP CH4	第 1 ストリームのみ	画像表示モード A	無し
			画像表示モード B	無し
			画像表示モード C (最大 : 15fps)	1280x720
			画像表示モード D (最大 : 15fps)	1280x720
			画像表示モード E	無し
	IP CH5	第 1 ストリームのみ	画像表示モード A	無し
			画像表示モード B	無し
			画像表示モード C (最大 : 15fps)	1280x720
画像表示モード D (最大 : 15fps)			1280x720	
画像表示モード E			無し	
ビットレート設定範囲	4000x3000 3000x3000		4,096kbps ~ 16,384kbps : H.264 3,072kbps ~ 10,240kbps : H.265	
	3840x2160 3200x1800 2160x2160 1440x1440		3,072kbps ~ 10,240kbps : H.264 2,048kbps ~ 8,192kbps : H.265	
	2560x1440		2,048kbps ~ 8,192kbps : H.264 1,536kbps ~ 7,168kbps : H.265	
	1920x1080		1,024kbps ~ 6,144kbps : H.264 768kbps ~ 4,096kbps : H.265	
	1280x720 1080x1080 960x960 720x720		512kbps ~ 4,096kbps : H.264 256kbps ~ 2,048kbps : H.265	
	960x540,640x640 640x480,640x360 480x480,360x360		256kbps ~ 2,048kbps : H.264 128kbps ~ 1,024kbps : H.265	
その他機能	オンラインユーザ表示、ユーザレベル（管理者 / ユーザ）、IP アドレス			

	フィルタ、パスワード保護、不正ログインロック、Edge / Chrome / FireFox 接続 (※2)、CMS / VMS 接続、モバイルアプリ接続
外部インタフェース	
音声	入力 : 1 系統 (LINE) または内蔵マイクロフォン 出力 : 1 系統
アナログ映像出力	BNC CVBS 1.0Vp-p (NTSC / PAL) (※2)
アラーム IN/OUT	入力 : 1 系統 / 出力 : 1 系統 ※無電圧接点制御 接点容量 : AC125V 1A 以下、DC24V 1A 以下 最小電流 : 10mA 最小電圧 : DC5V
SD カードスロット	Micro SD / SDHC / SDXC (最大 256GB サポート)
イーサネット	RJ-45 (10 / 100BASE-T)
シリアル制御	RS485 PELCO-D/P
電源入力コネクタ	DC +12V (Φ2.1mm 標準 DC ジャック)
一般	
電源	DC +12V (±10%) / PoE IEEE802.3af
消費電力	IR LED OFF / AI OFF(ON) = 4.1W (DC12V / 340mA) IR LED ON / AI OFF(ON) = 7.9W (DC12V / 660mA)
運用温度	-30℃～+60℃ (湿度 : 0%RH～95%RH)
寸法	130 (φ) x 46.3 (H) mm (突起部含まず)
防塵 / 防水性能	IP67
耐衝撃構造	未対応
重量	516g
製品保証期間	1 年間

※注 1 : 車両 / バイクの検出は、壁面取付けモード時のみ有効

※注 2 : Edge / Chrome / FireFox 接続では Main ストリームでのライブ映像表示、SD カード録画のダウンロードはできません。Edge の IE 互換モードでの運用を推奨します。

Edge の IE 互換モードでも SD カード録画映像のダウンロードができない場合は、CMS ソフトウェア : HCMS をお使いください。HCMS については、営業担当またはサポート窓口にお問い合わせください。

※注 3 : CVBS 出力による全ての運用はサポートしておりません。

8. 困ったときには

本製品の使用中に何らかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

◆パスワードを忘れたときの対処方法

- リセットボタンを操作して初期化する。

※ デフォルト IP : 192.168.226.201 / ユーザ名 : admin / パスワード : 123456

★カメラのリセットボタンを押して工場出荷状態に戻す方法（HIC-SF1200A の場合）

- ① 黒いカバーを外す。（磁石で固定されています。）

黒いカバーを外したら +ドライバーで白いカバーを外す。ネジは 2 か所あります。

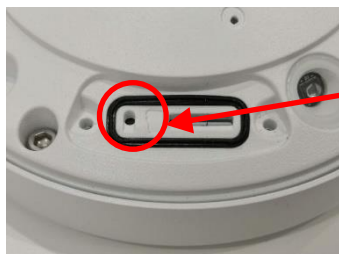


黒いカバーを外す（磁石で固定）



白いカバーを外す（ネジ 2 か所）

- ② リセットスイッチを 10 秒以上長押しする。

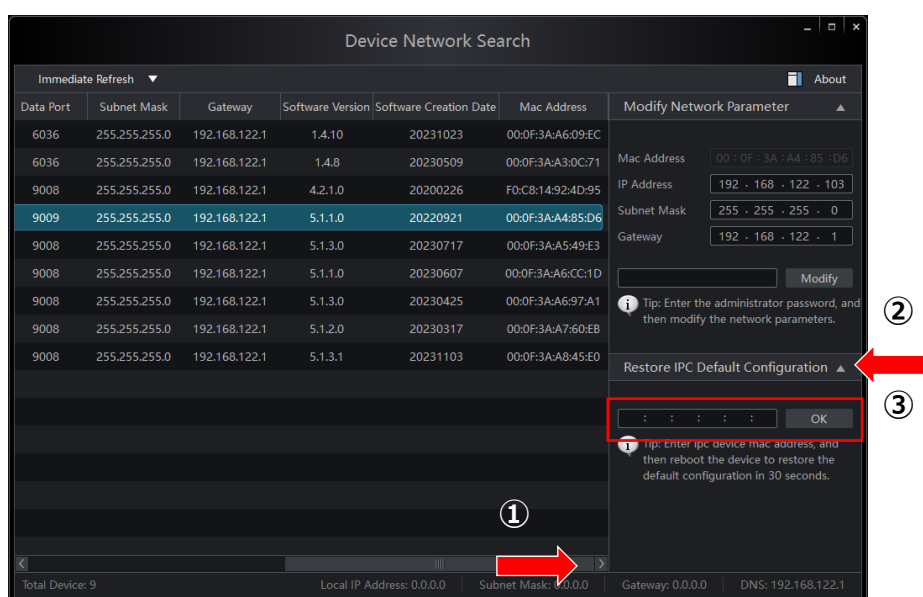


10 秒以上長押しする。
※強く押しすぎないように注意

- ③ カメラが再起動して初期値に戻ります。
- ④ 白いカバーと黒いカバーを元通りに取付けます。

- IP Tool で初期化する。


- ① 下段のスクロールバーを右に操作して Mac アドレスを表示させます。
- ② Restore IPC Default Configuration▼をクリックして、Mac アドレス入力 BOX を表示します。
- ③ Mac アドレスを入力して OK をクリックします。
- ④ OK をクリックしたら、30 秒以内に電源を OFF→ON します



◆本機から YouTube Live 配信設定手順

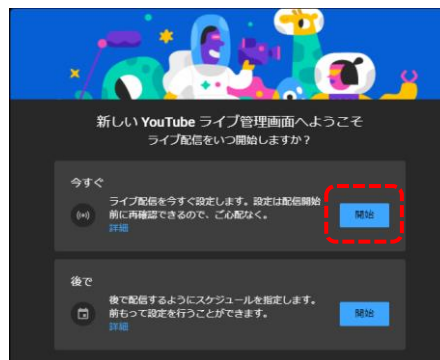
- (1) YouTube を開いて Google アカウントでログインします。



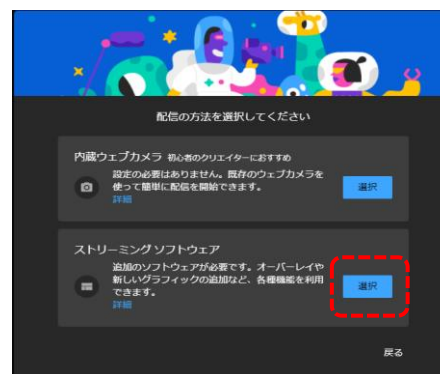
- (2)  をクリックして、「ライブ配信を開始」をクリックします。 ※チャンネルの確認をまだ行っていない場合は、画面の指示に沿ってチャンネルの確認を完了させます。ライブ配信が最初に有効になるまで、最大 24 時間かかることがあります。



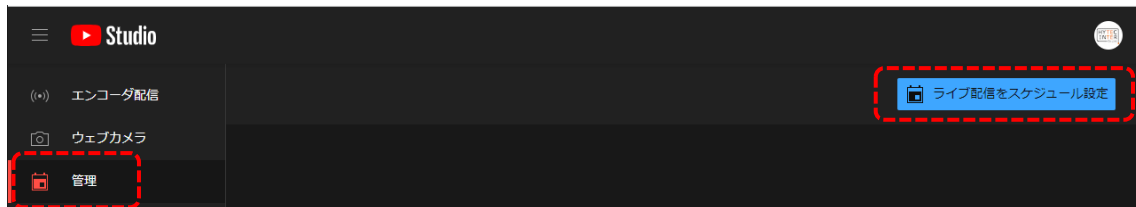
- (3) 「新しい YouTube ライブ管理画面へようこそ」が表示されたら、今すぐ「開始」をクリックします。



- (4) 「配信方法を選択してください」が表示されたら、「ストリーミングソフトウェア」を選択します。



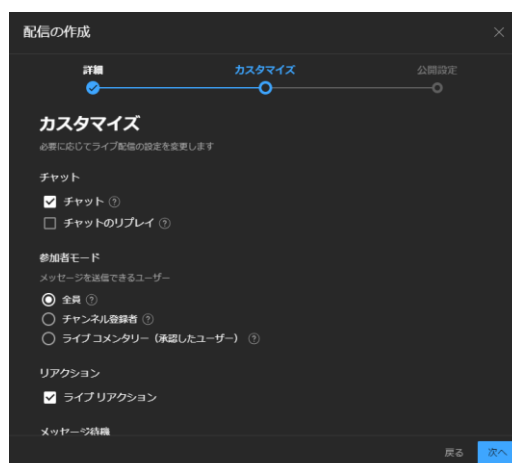
- (5) YouTube Studio の画面が開くので、「管理」をクリック後、「ライブ配信をスケジュール設定」をクリックして、ライブ配信のスケジュールを設定します。



- (6) 詳細を設定します。配信のタイトルを入力します（必須）。下にスクロールして「視聴者」を設定します。その他の項目は必要に応じて設定し、「次へ」をクリックします。



- (7) カスタマイズを設定します。設定が完了したら「次へ」をクリックします。



- (8) 公開設定を設定します。設定が完了したら「完了」をクリックします。



- (9) エンコーダ配信の画面にて、ストリーム URL とストリームキーをコピーします。



rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2/**abcd-efgh-ijkl-mnop-qrst**
後ほど使用しますので、ストリーム URL とストリームキーは/で区切って、
メモ帳などに記録しておいてください。

(10) カメラに YouTube 配信に使用するストリームを設定します。

ストリーム設定は「4.2.2 映像/音声」で設定します。通信回線の速度に応じて、最適な設定を行います。ビデオ圧縮は必ず、「H.264」を設定する必要があります。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 映像/音声

映像 音声

チャンネルID IPチャンネル1

インデックス	ストリーム名	解像度	フレームレート	ビットレートタイプ	ビットレート (Kbps)	ビデオ品質	フレーム間隔	ビデオ圧縮	プロファイル
1	第1ストリーム	3000x3000	30	CBR	6144	中	120	H264	High Profile
2	第2ストリーム	1440x1440	30	CBR	4096	中	120	H264	High Profile
3	第3ストリーム	960x960	30	CBR	2048	中	120	H264	High Profile

(11) カメラのネットワーク設定 (RTMP) に YouTube Studio でメモしたストリーム URL/ストリームキーを設定して保存します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS P2P QoS

☒ 有効 (H264のみをサポート)

ストリーム形式: ☒ 第1ストリーム ☐ 第2ストリーム ☐ 第3ストリーム

タイムアウト後に再接続する 秒

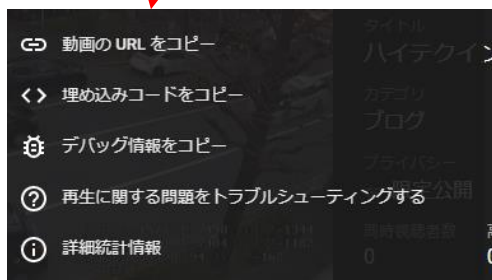
サーバアドレス

接続状態

rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2/**abcd-efgh-ijkl-mnop-qrst**
 Youtube Studio でメモしたストリーム URL/ストリームキーを貼り付ける。

保存した後に「接続完了」の表示になれば YouTube との接続は完了です。

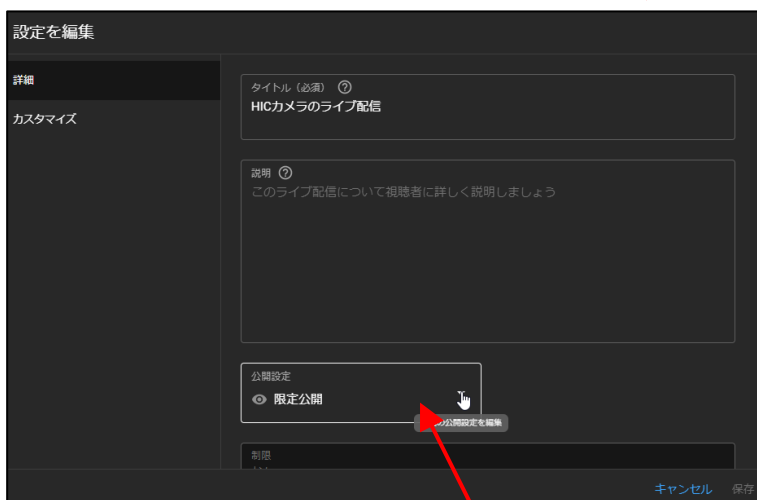
- (12) カメラからの RTMP 接続が正常に行われている場合、ライブ配信が開始され、以下のような画面となります。ライブ配信を終了したい場合は、画面右上の“ライブ配信を終了” ボタンをクリックします。



ボタンをクリックすると、動画リンクを取得出来ます。



動画リンクをコピー



- ・限定公開（リンクを知っている人だけが見れる）
 - ・非公開
 - ・公開（誰でも見られる）
- が選択出来ます。

◆本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか。
- 電源には、適切な電圧が供給されているか。
- 正しいポートに、電圧が供給されているか。

◆RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は入っているか。
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか。

◆IE ブラウザ経由でデバイスを接続できない

以下の点を確認してください。

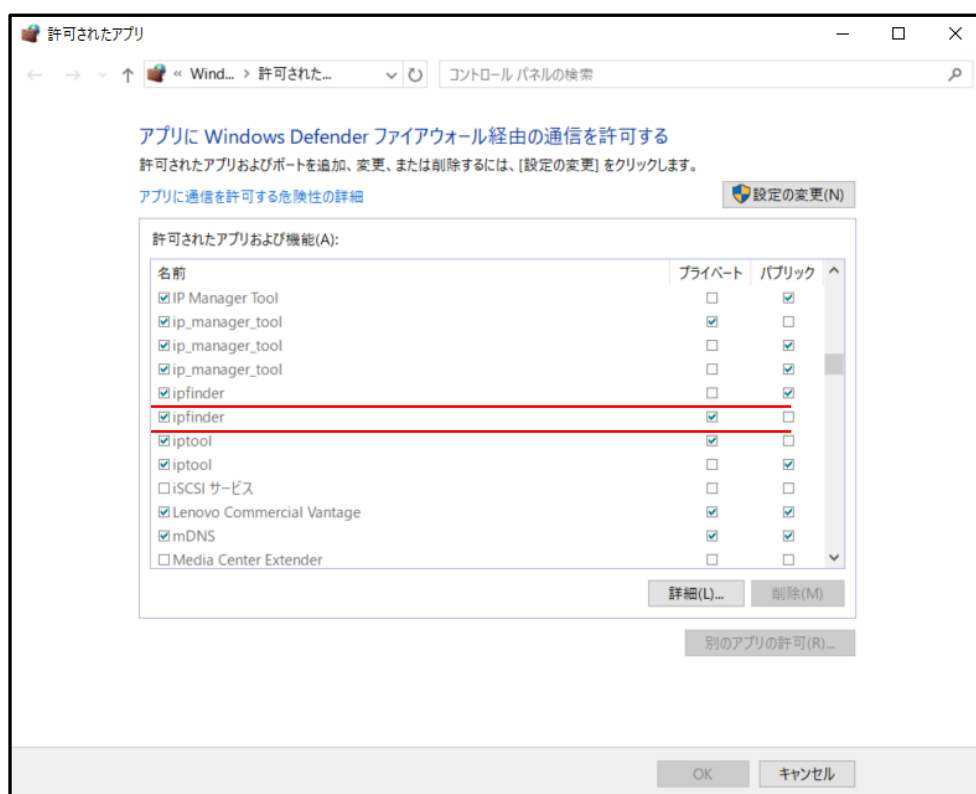
- ネットワークが正しく接続されていることを確認してください。
- IP が利用できない可能性(IP の競合など)があります。有効な IP にリセットしてください。
- Web ポート番号の設定を変更した、或いは変更された。管理者に連絡して、正しいポート番号を取得してください。

※ 上記の 3 つの理由以外の場合、IP-Tool でデフォルト設定に戻します。

デフォルト IP : 192.168.226.201 / サブネットマスク : 255.255.255.0

◆IP-Tool でデバイスを見つけれない

- コンピュータのウイルス対策ソフトウェアが原因である可能性があります。終了して、デバイスを再度検索してください。
- スタート→設定→更新とセキュリティ→Windows セキュリティ→ファイアウォールとネットワーク保護→ファイアウォールによるアプリケーションの許可、に移動し IP-Tool がプライベート、パブリックの両方で許可されているか確認してください。
許可されていない場合は、「設定の変更」をクリックして許可してください。



◆プラグインをインストールしたが Edge の IE 互換モードで映像を表示できない。

- C++ (MSVC) ランタイム ライブラリがインストールされていない場合、プラグインが正常に動作しません。
IP Tool をインストールすると、必要な C++ (MSVC) ランタイム ライブラリがインストールされます。

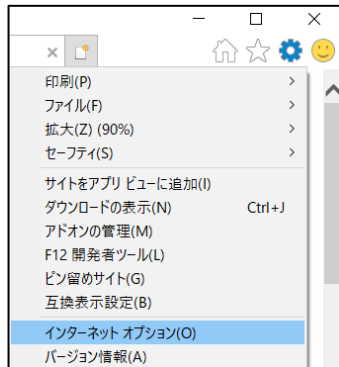
◆プラグインをアンインストールしたい

- プラグインをアンインストールしたい、或いは、一度アンインストールして再インストールしたい場合は、スタート→設定→アプリ→アプリと機能、に移動してアンインストールします。
対象のアプリは、NetAPCamera、NetAIIPCamera、NetAIHotIPCamera、などです。

◆IE が ActiveX コントロールをダウンロードできない

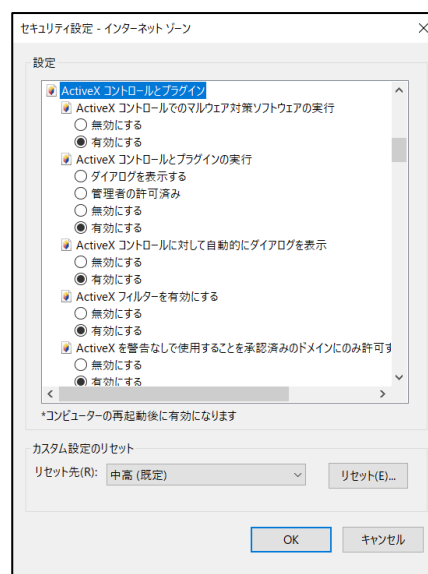
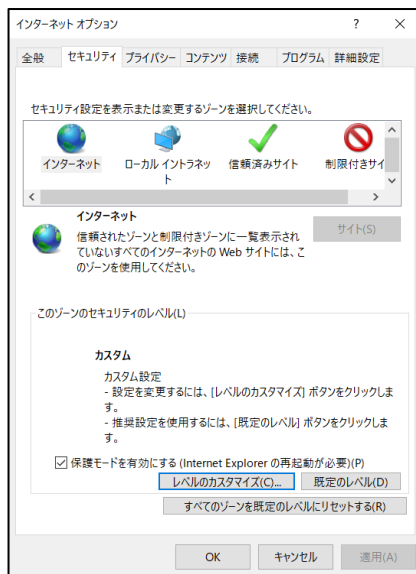
- IE ブラウザが ActiveX をブロックしている可能性があります。以下のように試してください。

- ① IE ブラウザを開きます。右上のツール  → インターネットオプションをクリックします。



- ② [セキュリティ]タブの[レベルのカスタマイズ]を選択します。(左図)

- ③ 「ActiveX コントロールとプラグイン」下の、すべてのサブオプションを有効にします。(右図)



- ④ OK をクリックして、設定を終了します。

- 他のプラグインまたは ActiveX がアンチウイルスブロックされています。アンインストールするか閉じてください。

◆音が聞こえない

- マイクなどの音声出力デバイスが正しく接続されていることを確認してください。
- 音声出力デバイスの音声出力レベルを確認してください。
- 設定メニューの、画像設定→映像/音声で音声が有効になっているか確認してください。
- 設定メニューの、画像設定→映像/音声で、LIN ボリュームを調整してください。

9. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。
 - 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
 - 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます
 - 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
 - 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせていただきます。
（修理できない場合もあります）
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社 カスタマサポート

受付時間： 平日（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く） 9:00～17:00

TEL： 0570-060030

問合せフォーム：

https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html

